

府中市 スポーツ推進委員会会報

No.51（令和 5 年度）

府中市教育委員会
府中市スポーツ推進委員会

目 次

会報第 51 号発刊によせて スポーツ推進委員の活動によせて	教育長 酒 井 泰 …… 1
会報第 51 号発刊によせて 府中の未来へ向けて	文化スポーツ部長 佐 藤 直 人 …… 2
会報第 51 号発刊によせて ともにつむぐまちづくり	会長 瀬戸口 幸 則 …… 3
令和 5 年度スポーツ推進委員会活動概要 「地域に密着した事業展開」	副会長 大 竹 ひとみ …… 4
第 27 回みんなのスポーツ d a y 概要 笑顔のみんなのスポーツ d a y	実行委員長 鴻 巣 裕 司 …… 5
令和 5 年度事業部活動概要 事業部活動報告	事業部長 小谷田 恵 理 …… 6
令和 5 年度総務部活動概要 研修部活動報告	研修部長 元 山 薫 …… 6
令和 5 年度総務部活動概要 総務部活動報告	総務部長 石 田 宜 久 …… 7
令和 5 年度パラスポーツ P T 活動概要 「ボッチャ交流会」	チーフ 中 川 一 郎 …… 7
令和 5 年度活動報告 現状維持という相対的マイナス	石 田 宜 久 …… 8
令和 5 年度活動報告 令和 5 年度を振り返って	井 上 由佳子 …… 9
令和 5 年度活動報告 アダプテッドスポーツ	大 竹 ひとみ …… 10
令和 5 年度活動報告 ボッチャとニュースポーツ	岸 優 子 …… 11
令和 5 年度活動報告 令和 5 年度スポーツ推進委員活動報告	木 村 健 二 …… 12
令和 5 年度活動報告 7 年目の活動と見えた新たな課題	鴻 巣 裕 司 …… 13

令和5年度活動報告	
ポストコロナの陸上競技大会	古 口 時 治 …… 14
令和5年度活動報告	
スポーツ推進委員 7年目活動報告	小谷田 恵 理 …… 15
令和5年度活動報告	
スポーツで街への愛着を	下 島 博 美 …… 16
令和5年度活動報告	
スポーツ推進委員 3年目	鈴 木 英 俊 …… 17
令和5年度活動報告	
大事なことは	瀬戸口 幸 則 …… 18
令和5年度活動報告	
「軽スポーツ大会」	中 川 一 郎 …… 19
令和5年度活動報告	
令和5年度を振り返って思うこと	中 島 順 子 …… 20
令和5年度活動報告	
「楽しむ！」	成 田 フサイ …… 21
令和5年度活動報告	
スポーツ推進委員としての3年目の活動報告	濱 田 輝 之 …… 22
令和5年度活動報告	
みんなのスポーツ d a y	深 津 康 人 …… 23
令和5年度活動報告	
一年をふりかえって	元 山 薫 …… 24
令和5年度活動報告	
スポーツとの関わり	吉 岡 大 翼 …… 25
令和5年度活動報告	
ニュースポーツと生涯スポーツ	渡 邊 朋 子 …… 26

事業実施報告書

府中市スポーツ推進委員会新任委員研修	元 山 薫 …… 31
ボッチャ教室	古 口 時 治 …… 31
内部研修（ラリーテニス）	岸 優 子 …… 32
第 32 回市民スポーツ・レクリエーションフェスティバル ボッチャ	小谷田 恵 理 …… 32
かけっこ教室（夏）「走るって楽しい♪」	鴻 巣 裕 司 …… 33
らくらく歩こうノルディックウォーキング術～ノルディックウォーキング体験講習会～	小谷田 恵 理 …… 33
内部研修「ボッチャ講習会」	中 島 順 子 …… 34
ボッチャ教室	深 津 康 人 …… 34
令和 5 年度 コミスポ協力者研修会（ボッチャ研修会）	元 山 薫 …… 35
ちょこっとスポーツ体験会	濱 田 輝 之 …… 35
三市交流研修会	岸 優 子 …… 36
らくらく歩こうノルディックウォーキング術～ノルディックウォーキング体験講習会～	渡 邊 朋 子 …… 36
かけっこ教室（春）「走るって楽しい♪」	吉 岡 大 翼 …… 37

研修等参加報告書

関東スポーツ推進委員研究大会群馬大会	鴻 巣 裕 司 …… 38
東京都 令和 5 年度 初任者講習会	下 島 博 美 …… 38
令和 5 年度 ニュースポーツ研修会	元 山 薫 …… 39
令和 5 年度 課題別研修会	井 上 由佳子 …… 39
令和 5 年度 東京都スポーツ推進委員研修会「広域地区別研修会（第 9 ブロック）」	瀬戸口 幸 則 …… 40
第 64 回全国スポーツ推進委員研究協議会 青森大会（全体会）	石 田 宜 久 …… 40
第 64 回全国スポーツ推進委員研究協議会 青森大会（第 1 分科会）	瀬戸口 幸 則 …… 41
第 64 回全国スポーツ推進委員研究協議会 青森大会（第 2 分科会）	石 田 宜 久 …… 41
令和 5 年度東京都市町村ボッチャ大会審判講習会	石 田 宜 久 …… 42
地域スポーツ支援研修会	渡 邊 朋 子 …… 42
令和 5 年度 管外研修	下 島 博 美 …… 43

事業等活動報告書

明星高等学校ボッチャ交流会	下 島 博 美 …… 44
第 5 回府中市ボッチャ大会（令和 5 年度東京都市町村ボッチャ大会予選）	石 田 宜 久 …… 44
第 15 回 WaiWai フェスティバル ボッチャ体験会	岸 優 子 …… 45
けやき教室	大 竹 ひとみ …… 45
令和 5 年度障がい者成人教室「あすなろ学級」ボッチャ体験会	大 竹 ひとみ …… 46
令和 5 年度東京都市町村ボッチャ大会	石 田 宜 久 …… 46
府中市民協働事業 第 53 回府中市民桜まつり	石 田 宜 久 …… 47

編集後記

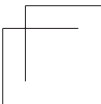
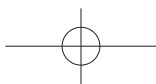
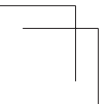
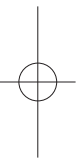
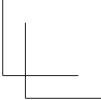
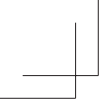
スポーツ推進委員会資料

令和5年度委員会の活動概要	1
定例会	1
常任委員会	2
研修部会	3
事業部会	3
総務部会	3
パラスポーツPT	3
令和5年度実施事業の結果一覧	4
社会体育指導者育成事業	4
市民スポーツ教室事業	5
受託事業（レクリエーション事業）	5
その他事業	6
スポーツの生活化推進事業	7
指導者派遣事業	7
スポーツ推進委員派遣等事業	8
府中市における市民スポーツの普及経過	9
府中市スポーツ推進委員に関する規則	14
府中市スポーツ推進委員会規約	16
府中市スポーツ推進委員会規約細則	19
令和5年度府中市スポーツ推進委員名簿	21

資料

社会体育奨励事業	1
市民体育大会	1
スポーツ大会	2
レクリエーション事業等	2
トップチーム等連携事業	3
スポーツタウン府中発展事業	3
パラスポーツ普及推進事業	3
郷土の森総合体育館スポーツ活動運営事業	4
郷土の森総合体育館指導者付き一般公開	4
地域体育館スポーツ活動事業	5
自主事業の概要	5
夏休み指導者付き一般公開	6
指導者付き一般公開	6
運営協議会委託事業	6
体育関係団体主催事業（補助事業）	7
全国大会等出場補助事業	8
表彰関係	8
体育施設の利用状況	9
1 野球場 2 サッカー場 3 陸上競技場 4 庭球場 5 プール等	

6 ゲートボール場 7 運動広場 8 体育館	
学校開放利用状況	14
1 校庭 2 体育館	
府中市体育施設等整備の経過	17



スポーツ推進委員の活動によせて

教育長 酒 井 泰

平素よりスポーツ推進委員の皆様には、府中市民のスポーツ活動の発展と充実にご尽力いただいておりますことを、心より感謝申し上げます。

本市では、「スポーツタウン府中の発展」という基本理念の実現に向けて、令和 4 年度から令和 11 年度までを計画期間とする「第 2 次府中市スポーツ推進計画」に基づき、スポーツ施策の推進に取り組んでおります。

新型コロナウイルス感染症の扱いが変わったことにより、少しずつ以前の状況に戻ってきてはおりますが、この間の影響を受け、市民のスポーツ実施率は減少傾向にあります。市民がスポーツを身近に感じ、健康で元気に過ごせるよう、スポーツ活動の機会の充実が一層求められている中、スポーツ推進委員の皆様には、広い知識と豊かな経験を基に、本市のスポーツ振興のコーディネーターとして、市民のスポーツに対するニーズを把握するとともに、スポーツへの関心を高める役割を担っていただいております。皆様方のご尽力に、重ねて感謝申し上げます。

さて、昨年は、ラグビーワールドカップ 2023 が開催され、本市でもパブリックビューイングを実施したほか、大会後には、本市を活動拠点とするトップチームに所属する日本代表選手による報告会を開催し、市内外から約 5 千人の来場がありました。

今年は、パリ 2024 オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。市内の小・

中学校では、これまで、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会後のレガシーを大切にしながら、共生社会の実現等に向けた様々な取組を行ってきました。例えば、パラリンピック競技のアスリートを講師としてお招きしたパラスポーツの体験活動では、アスリートがプレーする姿に接するとともに、実際に体験することで、子供たちのパラスポーツへの関心が高まることにつながりました。また、障害のある方への理解が深まるきっかけともなったと思います。学んだことをいかして、今年のオリンピック・パラリンピック競技大会では、一層熱い応援ができるのではないのでしょうか。

子供たちがスポーツを身近に感じ、その楽しさを実感することで、健全に成長していくことができます。また、性別や障害の有無などにかかわらず運動に親しむことで、生涯にわたってスポーツに親しむ態度の育成や、障害者理解にもつながるものと考えています。

スポーツ推進委員の皆様方におかれましては、今後とも本市のスポーツ振興と子供たちの健やかな成長のため、更なるご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

府中の未来へ向けて

文化スポーツ部長 佐藤 直人

平素よりスポーツ推進委員の皆様におかれましては、府中市のスポーツ活動の充実と発展にご尽力いただくとともに、本市の様々な事業へのご協力や地域での活動を通じ、市民との橋渡し役としてご貢献をいただき、心より御礼申し上げます。

さて、令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置づけられ、コロナ禍以前のようなスポーツ活動やイベントの実施が可能となり、スポーツタウン府中の取組が本格的に再始動し、充実を図ることができた一年であったと感じています。

8月には、日本郵政株式会社とスポーツ振興による地域活性化に関する協定を締結し、スポーツを通じた地域の活性化に向けた新たな取組を始めました。その一環として府中駅伝競走大会では、ゲストチームとして日本郵政グループ女子陸上部に出場していただき、読売ジャイアンツ女子チームなどのトップチーム関係の方々の出場も加わり、大会を大いに盛り上げていただきました。

また、11月にはラグビーワールドカップ2023の日本代表報告会をけやき並木通りで開催しました。当日は大変多くの市民が参加し、東芝ブレイブルーパス東京、東京サントリリーサンゴリアスの両チームの代表選手の大会での健闘を称えていただきました。

さらに、都内初の女子野球タウンに認定されたことを踏まえ、女性にやさしい競技環境の整備を通じて、誰もが使いやすい施設にするため、市民球場のトイレ及び更衣室の改修

工事を行いました。改修に当たってはクラウドファンディングを実施し、趣旨に賛同いただいた市内外の方々からご支援をいただきました。

これらの取組は、市民をはじめ、トップチームや民間事業者などと連携・協働し、市民の交流促進や地域における連帯感を生み出し、本市のスポーツ文化を未来へとつなげる取組になったものと考えています。

スポーツ推進委員の皆様には、明星高校におけるボッチャ交流会の指導者での参加やその後の市主催事業での連携など、地域での協働の輪を広げていただくとともに、手話通訳士の方の協力の下、聴覚障害者の方々とのボッチャ交流会も開催いただきました。ボッチャを通じた障害者スポーツの普及については、東京2020大会のレガシーとして広く市民に定着しており、今年のパリ2024大会、来年の東京2025デフリンピックを契機にさらに推進され、誰もが一緒にスポーツを楽しめる機会が広がることを願っています。

令和6年4月1日には、市制施行70周年を迎えました。市制施行100周年となる30年後の未来を見据え、スポーツタウン府中の更なる発展に向けて、これまでの取組に磨きをかけてまいりたいと考えています。

スポーツ推進委員の皆様におかれましては、多岐にわたる本市のスポーツ行政にご協力いただいておりますことに改めて感謝を申し上げますとともに、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申しあげ、ご挨拶といたします。

ともにつむぐまちづくり

会 長 瀬戸口 幸 則

日頃より府中市スポーツ推進委員会事業に対しまして、ご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

令和 5 年は、5 月に新型コロナウイルス感染症が 5 類となり、コロナ禍前の日常が戻ってきた年でした。

4 年を超える非日常の状態は長く、辛いものでした。この経験は、今後発生するかも知れない非日常に生かされなければならないと思います。

令和 6 年元旦に発生した能登半島地震では、多くの方が亡くなられたり被災されたりしました。謹んでお悔やみ、お見舞いを申し上げます。

阪神淡路大震災や東日本大震災など大きな地震による被害は、甚大なものがあります。被害に遭うたびに被災後の復旧、復興には、経験や知恵が生かされてきました。

しかしながら、今回の能登半島地震では、地形的な課題が原因で復旧に時間を要することになってしまいました。一日も早い復旧、復興が進むことを切に願っております。

令和 6 年は、パリ 2024 オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される年です。その他にも世界規模のスポーツ大会が多く予定されています。

令和 7 年には、府中市も会場となりますが、東京 2025 デフリンピックも開催されます。

日本の選手の活躍が期待されています。選手が活躍されることで、スポーツがより身近

に感じられ、スポーツをするきっかけになると捉え、活動していければと考えています。

令和 6 年度は、スポーツ推進委員の委嘱期間替えの年ではありませんでしたが、委員の追加の募集が行われました。

委員の定数は、人口規模や行政から求められる役割により、各地区で様々ではありますが、新任の委員を加え 23 名体制でスタートすることができました。

令和 6 年 4 月に、府中市は、市制施行 70 周年を迎えました。市内各所で記念事業が催されていますが、委員会の担う事業にも「市制施行 70 周年記念事業」の冠が付いたものもあります。

キャッチコピーは、「歴史が息づく。未来が芽吹く。」で、確かな歴史を希望が持てる未来へつなげていくということだそうです。記念誌のタイトルは、「ともにつむぐまち」となっており、ともにつむぎ、未来へつむいでいくということだそうです。スポーツを通してともにつむぐまちづくりができるよう努力を重ねたいと考えています。

今後もスポーツを市民の方々へ広めていくための様々な事業展開を、皆さまと共に積極的に進めてまいりたいと考えておりので、ご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

会報第 51 号をお届けいたします。ご参考にしていただけるものがあれば幸いです。また、委員会事業に対するご意見、ご要望をいただければ幸甚に存じます。

「地域に密着した事業展開」

副会長 大竹 ひとみ

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症（コロナ）が落ち着き、コロナ前に近い状態で事業を実施できた。

メイン事業として、7月；「市民スポーツレクリエーションフェスティバル ボッチャ（スポ・レクボッチャ）」、9月；東京都スポーツ推進委員研修会広域地区別研修会（第9ブロック）、10月；みんなのスポーツday（みなスポ）を実施した。

スポ・レクボッチャは、総合体育館での開催で冷房設備は整っていたが近年の気温上昇等の影響があり熱中症対策を十分に行うよう参加者に注意を促し実施した。

第9ブロックは、調布市が担当市で各市の発表原稿を動画作成し提出という企画の為、30秒チャレンジ等で配信の動画を組合せて編集し、府中らしさを駆使した素晴らしい発表動画を作成して当日の発表に挑んだ。また、コロナ禍以降中止されていた飲食を伴う情報交換会が4年ぶりに開かれ久しぶりに他市との交流が深められた。

みなスポは、市内6館の地域体育館をスポーツの日に無料開放している。コロナ禍の影響で実施できなかった期間や、全館に於いて定員を設けて事前申し込みの二部制を取り参加人数の調整をしたこともあったが、今年度はコロナ前に近い状況下で実施できた。あいにくの雨天の為、屋外での種目が中止されたことは残念だったが各館に於いて盛り上がっていたとの報告があり、運営協議会との協力事業として地域に密着した事業のひとつとなっている。また、府中市が「地域活性化に関する協働協定」を締結し

ている明星中学校・高等学校に連携事業の一環として高校生にみなスポ事業でボランティア協力して頂いた。

事業部は、市民と直接触れ合う機会の多い事業を展開しており、人通りの多いけやき並木に面したフォーリス前広場で「ちょこっとスポーツ体験」を開催ニュースポーツ体験会等の事業を実施した。また、例年は陸上競技場で実施していた「かけっこ教室」を雨天時に備えて地域体育館での開催を試み新たな展開で実施した。

研修部は、三市合同（国分寺市・小金井市・府中市）研修の担当市として、日本ラウンドネット協会より講師を招きラウンドネットを実施した。また、管外研修として東京都多摩障がい者スポーツセンターの改修後の施設見学と車椅子バスケットボールの体験を実施した。

総務部は、会報の編集やちゅうスポだよりの発行を委員会では縁の下での力持ち的役割を担い、コロナ禍で中止していた飲食を伴う歓送迎会を4年ぶりに開催し、マスクを外し退任委員や新任委員とは勿論のこと事務局との親睦も深められた。

パラスポーツプロジェクトチームは、あらゆる事業にボッチャを取り入れ、障害への理解及びパラスポーツの啓発活動を実施した。

以上の活動以外に委員は、各文化センター圏域コミュニティ協議会に属しスポーツの生活化事業に携わりスポーツ推進のために活動している。今後も資質向上に努め地域に密着した事業展開を進めて行きたい。

笑顔のみんなのスポーツday

実行委員長 鴻 巣 裕 司

令和 5 年 10 月 9 日、スポーツの日に府中市内の各地域体育館（白糸台・押立・栄町・日吉・本宿・四谷）で「第 27 回みんなのスポーツ d a y」が開催しました。このイベントは、市民の健康促進とスポーツへの理解と関心を深めることを目的としており、無料で開放された体育館で多くの人々がスポーツに親しむ機会となりました。

当日は残念ながら雨模様でしたが、それでも前年度の 2 倍以上となる約 1,000 人の方々が来館し、パラスポーツで大人気のボッチャや、府中生まれのラリーテニス、年齢・体力に関わらず初めての方も楽しめるニュースポーツを体験し、交流を楽しむことができました。これは、コロナ禍で開催された前年度と比較して大幅な増加であり、その成功は大いに喜ばしく励みになるものでした。

さらに、各体育館では特別企画も実施されました。今年は大学や高校の協力を得て、チアリーディング、ダブルダッチ、ソングリーディング、新体操、ダンスなどのデモンストラーションや体験コーナーが設けられました。また、府中市を活動拠点とするプロのラグビーやフットサルチームにもご協力をいただき、観客に「見て」「感じる」体験を提供しました。これらの特別企画は非常に好評で、多くの人々がこれらを楽しみに来館しました。

このイベントは、大きなケガや事故もなく、全員が気持ち良い汗を流し、参加者、協力者の皆様が笑顔で楽しむことができて、和やか

な雰囲気の中で幕を閉じました。「みんなのスポーツ d a y」は、市民のスポーツ参加意識や健康意識を高めるだけでなく、市内のスポーツ団体や学校との連携や交流を深める素晴らしい機会ともなりました。

今後もこのようなイベントを定期的に行き、府中市をスポーツのまちとして発展させていきたいと考えています。市民の皆様の健康とスポーツへの関心を深めるために、スポーツの力をまちの力に活かしていけるよう、これからも「みんなのスポーツ d a y」を続けていきます。

事業部活動報告

事業部長 小谷田 恵理

令和5年度は前年度と同様の事業を開催し、各事業の前には事業部会を開き、委員皆で意見交換をしてきました。

【ボッチャ教室】

5月（栄町体育館）10月（押立体育館）2回開催。参加者が少なくゲームを多く体験。参加者を増やすために告知方法、告知時期の検討が必要だと思う。

【かけっこ教室】

8月 夏季開催のため空調設備がある白糸台体育館で開催。講師の方の工夫で参加した子供達は走ることを楽しんでた。

3月（市民陸上競技場）雨天時は日吉体育館での開催を予定したが、当日は陸上競技場で開催でき最後はチームに分かれトラックをリレー形式で走り盛り上がった。

【らくらく歩こうウォーキング教室】

9月、3月（市民陸上競技場）2回開催。
日本ノルディックウォーキング協会の上級インストラクターに講師を依頼し、ポールを使用した全身運動が出来る、ノルディックウォーキングを体験。参加者からは回数を増やしてほしいとの嬉しい声があった。

【府中寒歩】

2月（都立府中の森公園）
寒い時期でも外に出て身体を動かすきっかけになるように、都立府中の森公園にてノルディックウォーキングを体験。

【ちょこっとスポーツ体験】

2月 けやき並木フォーリス前広場、フォルマ光と風の広場にて気軽にできるスポーツの紹介と体験。

研修部活動報告

研修部長 元山 薫

令和5年度は、新任委員を含め7名で新たにスタートいたしました。以下の研修を実施しました。

【内部研修】

6月 手軽にできることを考慮したテニス系のニュースポーツ。府中生まれのラリーテニスを実際に体験研修しました。

10月 講師に関東ボッチャ協会の宮坂氏を招き、ボッチャ大会前のルールの確認を座学、試合を通し研修しました。

【三市交流研修会】

2月 府中市担当の三市交流研修会を日吉体育館で行いました。ニュースポーツ「ラウンドネット」を研修しました。基礎知識、ゲーム進行などについての講義後、ゲーム体験をした。ネットとボールがあればどこでもできるニュースポーツ。実際に試合体験することで、小金井市・国分寺市の委員と交流し有意義な研修となりました。

【管外研修】

3月 国立市にある東京都多摩障害者スポーツセンターで館内見学、種目体験をしました。体験種目として、車椅子バスケットボールを体験しました。

今後もスキルアップのためのボッチャ、ラリーテニスの研修や、ニュースポーツ体験等の企画をしていきたいと思います。

総務部活動報告

総務部長 石田 宜久

1. 歓送迎会

任期替えともあり、現任委員と事務局 19 名と 7 名の送別者、5 名の歓迎者を迎え、総勢 31 名にて 4 月 28 日に木曽路府中店にて開催。これまで数年コロナ禍にて開催ができておらず、交流の機会が奪われてきたこともあり、久々に開催でき愉快適悦あつという間の 2 時間となった。

2. 暑気払い

9 月 9 日の調布市で開催された「広域地区別研修会」後に開催。歓送迎会時よりは緊張もほぐれ、委員と事務局相互親睦を深める場となった。

3. ちゅうスポだより発行

9 月と 3 月にそれぞれ第 49 号と第 50 号を発行。原稿の依頼、校正を行った。「みんなのスポーツ day」「ノルディックウォーキング」「かけっこ教室」など、コロナ禍による縮小開催が解かれ、フルスペックでの開催となった様子を掲載した。

4. その他

1 月には新年会の開催と、コロナ禍で開催できていなかった交流・親睦の場を多く設けることができた。ホームページの更新も総務部に課せられたタスクではあるが、慣れないシステムともあり更新と HP のあり方の検討に悪戦苦闘。多くの委員から希望が出されている、ワーキングアプリやサイトの導入検討など、次年度に持ち越しとなる。また、府中市スポーツ推進委員会のロゴの作成を本年度開始。次年度早々には新しいロゴのお披露目と、各所で使えるように準備を整えていきたい。

「ボッチャ交流会」

チーフ 中川 一郎

ボッチャは、ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツでパラリンピックの正式種目でもある。ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ 6 球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競い合う競技である。

ルールが解りやすいのもボッチャのいいところで、聴覚に障害のある方と一緒に楽しめると考えた。

府中市で手話を勉強されているサークル団体があり、「てとて」、「かんたん」の手話サークル団体へ手話通訳者と会員のみなさまに競技への参加依頼、当事者の方と一緒に参加していただいた。

当日は団体戦を開催、ボッチャ交流会はコロナ禍前から数回実施されていることもあり競技内容を理解されている方も多く、短い時間ではあったが、楽しく有意義な時間となった。当事者の方々に参加していただいた事はとても良かったと思う。

今回の交流会だけではなく今後一人でも多くの当事者の方がスポーツや各競技に参加できる場の提供ができればと考える。

現状維持という相対的マイナス

石田 宜久

COVID-19 の 5 類感染症移行により日常生活が元に戻りつつある中、スポーツ推進委員は地域の課題を十分に把握し、その課題に即した活動を目指していかなければならない。そんな事をふと思い、「#スポーツ推進委員」と検索してみると、様々な地区の委員会でポッチャをはじめモルックなどのイベントや教室が頻繁に行われていることに気がつく。いずれもユニバーサルスポーツであり、共生社会に向けての一步を踏み出しているのだと感じる。振り返ってみれば、本年度の広域地区別研修会第 9 ブロックでのテーマも「誰でもできる新しい運動」であった。これは同時に、ユニバーサルスポーツを普及・推進するのと同時に、認知度を高めるチャンスでもあると思っている。

ここで一つの課題とぶつかる。各委員の知識の「新陳代謝」だ。高齢化により活動休止を余儀なくされた会があるという話も耳にするが、同時に活動に関わる知識も同じだ。「温故知新」という四字熟語がある。「温故」-古きを訪ねること が、それらを活かしつつ「知新」-新しきを知る という意味である。また「古き良き」として扱われる「伝統」と一般的に言われる現象にも、必ずしも「そのまま残っている」という意味ではない。現代社会でも残っているその根拠には、常に過去の歴史に学びながら、未来に向けてそれらを変化させるための努力が積み重ねられてきているからに他ならない。

今、世界や日本で高まる重要な取り組み

「リスクリング」。日本では「学び直し」と誤解されている部分も多いが、正しくは今求められるスキルの大幅な変化に適応する為、役立つ知識やスキルを取得する事を言い「再開発」とも言える。近年では世界的にキーワードとなっており、日本も国の政策として推進されている。

では、スポーツ推進委員の「リスクリング」は何から始めれば良いのか？もちろん、先に記載した通り、新しくスポーツを学ぶのも一つではあるが、まずは一歩目として業務上でのコミュニケーションや情報共有、業務の効率化の要となるデジタルツールの使い方ではないだろうか。現代においてはオンライン上での情報収集や情報発信を行っていないのは、致命的な欠陥である。実施していない企業は実質上社会から除外される。スポーツ推進委員会も同様だと言えるが、残念ながらほとんどの委員会で行われていないのではないだろうか。それは府中市も含まれるが。資料やデータを関わる全ての人に共有され、一元管理するには、個人がパソコンのローカル上で管理しているのではなく、クラウド上での管理が欠かせない。もちろん実際問題として、一元管理される方がセキュリティ上もメリットが多い。これだけでも業務の効率化を図ることができる。そもそも本業と併せての活動は時間がないという委員が多い中、活動を続けてもらうための一つの支援策ではないだろうか。

令和5年度を振り返って

井 上 由佳子

令和5年は、スポーツ界にとって激動の年だった。ワールド・ベースボール・クラシック（WBC）での日本代表のチームや日本人選手の活躍に、興奮、感動し、新型コロナの5類移行、様々な場面で歓声が戻りスポーツの盛り上がりが見られた。スポーツ推進委員（スポ推）の活動においてはコロナ前と同じように事業が盛んに実施された。その中でも担当をさせていただいた「みんなのスポーツ day（みなスポ）」について、触れて書いてみたいと思う。

10月の実施に向け、各体育館担当のスポ推と運営協議会（運協）の担当者、体育館指導員が中心となり、6月より準備が進められた。特別企画の内容、体育館で実施する種目の決定、当日ご協力をいただく方々への連絡など、準備期間は長いようで短く、開催当日を迎えた。みなスポは、スポーツの日に誰でも気軽にスポーツに親しんでいただくことを目的として開催されていることもあり、体育館毎に実施内容が異なり、特別企画に特色があることが魅力の一つでもあると感じている。また、地域の方々へのスポーツに親しむきっかけづくりや地域交流の場として必要な事業であると感じている。

当日は悪天候で来場者数の心配があったが、近隣にお住いの小学生やご家族など多くの方々にご来場いただいた。午前と午後2つの特別企画をしたことで、依頼をした学生たちにとっては経験の場となり、来場いただいた方々には「知る」「見る」「触れる」といった特別の時間になった。特別企画に参加するた

めに自身の道具を持参する小学生、純粋にスポーツに親しむなど、年齢関係なく有意義な時間を過ごしている様子が見られ、無事に事故や怪我なく終えることができホッとした。来場者の中には、今回初めて老人ホームの方々の楽しむ姿もあった。今回、事業の担当をとおして、スポ推と運協の関わり、スポーツ施策を活発化させる役割について、考えるきっかけを個人的にいただいた。アフターコロナだからこそ改善できた事業内容、よりよい事業の実施に向けて、課題があると感じた。

今後も様々な事業をとおして、スポ推の役割を考えながら活動をしていきたいと思う。



写真：ダブルダッチの様子

アダプテッドスポーツ

大 竹 ひとみ

2023 年 5 月より新型コロナウイルス感染症は感染症法上の位置付けが 5 類感染症に移行され季節性インフルエンザ等と同様に感染者の外出制限がなくなり、屋内で推奨されてきたマスクの着用も個人の判断となったことでコロナ禍の為これまで開催できずにいた様々な事業が実施できるようになった。

そのひとつに調布市で開催された令和 5 年度東京都スポーツ推進委員研修会「広域地区別研修会（第 9 ブロック）」（以下、第 9 ブロック）があった。

第 9 ブロックの内容は、「誰でもできる新しい運動」をテーマとした各市の動画での発表をもとに講師（筑波大学准教授 澤江幸則氏）からの講評、質疑応答と展開された。

講師の澤江氏は発達障害のある子どもや青年のための運動やスポーツに取り組む実践的研究者であり、好評の中には「アダプテッドスポーツ」というワードが何度も出てきていた。澤江氏の講評を聞いているうちに、十数年前の新人委員だった頃受講したある研修を思い出した。その研修はスポーツコーディネーター研修での「障害者指導」についてというもので、参加者に障害がある場合には周囲がその障害を理解し、指導者は参加者に対する接し方に留意しコミュニケーションを大切にすることで多くの人にスポーツを楽しんでもらう為のプログラミングについてだったように記憶している。そんな微かな記憶を振り返っているうちに第 2 部の情報交換会の会場へ移動することになった。

コロナ禍のため昨年までは飲食を伴う情報交換会は開催できなかったのだが、4 年ぶりに行われた会食を兼ねての情報交換会では幸運にも澤江氏と同じテーブルに配置され、グラスを片手にざっくばらんにお話しさせていただき以前自分が受講したアダプテッドスポーツ研修についても話すことができた。障害者スポーツについて膨らんだ話の中で、澤江氏もかつては私と同じ児童発達支援の現場に居られたと聞き親近感が湧き、現在の私の職場同様に当時の現場でも低予算の中で運動用具や感覚遊具を身近にある物で代用し手作りしたといった話でさらに盛り上がった。

いろいろな運動やスポーツの場面の中で、これが無ければできない、ここでなければできないなどという事ではなく、身近にある物や別の物で代用し他の場所に適応性があって順応できれば良いのである。事前のアダプテッド・4 つの工夫（物、場所、人、ルール）をすることにより、どんな状況下でも柔軟な対応とプログラミングすることで「いつでも、どこでも、いつまでも、誰でも」スポーツを楽しんでもらうことができるということ、指導者はアダプティブに!!ということを出せた第 9 ブロックであった。

経験値が高くなった分だけ応用力が増すのかと思いきや歳を重ねる毎に拘りは強くなり、頭も身体も硬くなる一方の今日この頃、せめて心だけは和^{やわら}かく柔軟に!! 順応し適応性のあるアダプテッドスポーツを参考に今後の委員会活動に活かしていきたいものである。

ボッチャとニュースポーツ

岸 優 子

スポーツ推進委員も6年目に入り、活動の流れや形式がようやく分かりつつあった1年であった。6年と言っても中3年はコロナ禍に入り、活動らしい活動は大きくしていなかった様に感じる。特に強く感じたのは、推進委員としての地域の繋がり的重要性を実感し、自ら動いて発信する大切さを学んだ。また続いていた繋がりが無くなってしまうという危機感も経験した。確かに我々の役割も常にアップデートが必要なのかもしれない。娘の学校も伝統を重んじる傾向があり、制服は我々昭和の時代から変わらなかったが、来年から今時の制服に変わるそうだ。時代は常に進化しているのに、時が止まったまま何も変わらず過ぎていくのは時代錯誤なのかもしれない。そう考えると今まで通りの形式でこのまま続けていくのか、少しずつでもアップデートして新しいものに取り組むべきなのか答えは見えてくる。

去年は久々にボッチャ大会に参加した年でもあった。ここ数年は会社の行事と日程が重なり参加が難しかったが、日程を変更してもらい当日は参加できた。ボッチャの審判はかなり久しぶりだったので、ボッチャ講習会に参加して挑んだが、強豪チームに「こっちの球の方が近いと思うので計測してみてください。」と自分が指示した球ではない方を言われたりで、焦ってしまうことも多々あったが、無事終えて疲労感と安堵感と充実感が残った活動であった。また自身の知識を増やしていくために、次年度は審判資格を習得したいと

思っているので、有言実行になるように努めていきたい。

ボッチャの活動も継続しつつ、新たなニュースポーツを広めていきたいと思わせる1つがモルックだ。モルックとは、フィンランドのカレリア地方の伝統的なキイッカというゲームを元に開発されたスポーツであり、誰でも出来る簡単なルールで老若男女楽しめるものである。ルールは至って簡単。12本の1から12点の点数が表示されているスキットルにモルックという棒を投げ、倒れたスキットルの得点を加算していき、先に50点ピッタリの得点になったほうの勝ちというシンプルだが頭も使うスポーツである。

初めてモルックを体験したのは、一昨年小金井市主催で行われた三市交流会であり、スキットルを倒した時のあの清々しい音が脳裏から離れないでいる。ニュースポーツを年に1つのペースで広めていけば、飽きることもなく事業も広まるのではないかと感じた1年であった。そのための情報収集、体験を通じて市民の皆さんにもニュースポーツを進めていきたいと強く感じると共に、アップデートして進化し続ける推進委員でありたいと思う。

令和5年度スポーツ推進委員活動報告

木村 健二

今年度からスポーツ推進委員として府中市より委嘱された早々に会社から新潟県への赴任発令があったが、幸い継続できることになった。

毎月の定例会参加が困難な中、なるべく週末の行事には参加するように心掛けた。

障害者との交流、ボッチャの普及、各文化センター行事への参加について活動報告させていただく。5月に陸上競技場にて開催された軽スポーツ大会では数百人に参加いただき、車いすレースやパン食い競争、大玉転がし、玉入れ等のプログラムを実施。競技によっては百人を超える大規模になり会場が盛り上がった。準備においては車いすをゴールからスタートへ何往復も戻すという力仕事を担う要員の充実も必要と感じた。物理的な対応について反省を踏まえ次回への改善へ繋げていく。また、競技場所への移動、整列等の障害者へのお願いの仕方について先輩方からご教示いただき、勉強になった。上から目線ではなく、相手の捉え方を最大限汲めるように接していきたいと思う。

次にボッチャ普及のためボッチャ教室を開催。栄町体育館、押立体育館にて実施。実施日が学校行事等と重なっていた関係もあって参加人数が主催者側よりも少ないこともあった。参加人数を増加させるために工夫が必要だと思われる。参加人数が少ないながらも家族での参加、友達からボッチャを勧められたと言って初めて参加された方もいた。ルールを覚えていただくことが最重要課題であるが、

スポーツ推進委員も一緒にゲームを行うことで一体感を味わうことができた。スポーツ推進委員も講師を招き、研修会を行ったことで審判として自らもレベルアップをしていきたい。12月2日（土）の府中市ボッチャ大会が総合体育館で行われた。当日午前中からコート設営を入念に準備後、32チームにより開催。親子三代、小学生、高齢者と様々な年齢層が参加したことで会場は盛り上がった。スポーツ推進委員が主審、副審を担当した。個人としては研修会等の成果もあり、ジャッジ等のトラブルは特段なく終了した。

最後に地域文化センター行事への参加についてであるが私は武蔵台文化センター圏域コミュニティ協議会（武蔵台コミ協）の担当となった。武蔵台コミ協ではグラウンドゴルフ大会、文化祭、大運動会へ参加した。グラウンドゴルフ大会では参加者が高齢者のみであったが全員が楽しまれた様子であった。文化祭ではこま回し、ヨーヨー作りに携わらせていただいた。昭和の遊びが次世代へも受け継がれることを願う。大運動会においては近隣の中学校とも連携し、参加いただいたことで地域一体感を感じることができた。

色んな形で地域の方々と関わる機会があり、自分自身も勉強になることが多々あった。

7年目の活動と見た新たな課題

鴻 巣 裕 司

推進委員としての活動7年目を終え、コロナ禍を乗り越え、新たな日常が見えてきた一年が終わりました。今年度は新たに5人の新人スポーツ推進委員を迎え入れ、多様な視点と新鮮なエネルギーを活動に取り入れ、事業を実施することができたのが令和5年度のスポーツ推進委員の活動となりました。

主な活動を振り返ってみると、最初は『ボッチャ』。これまでの普及推進活動に加えて、わかりやすさと触れる機会を作ることに力を入れました。オリジナルレクリエーションスポーツ紹介動画サイト『府中市やってみスポーツ』では、ボッチャのルールを紹介動画を作成し、府中市ボッチャ大会では運営サポート、審判を行い、ボッチャの楽しさ、魅力を広く伝え、自分のレベルアップができました。また、小学3年生から6年生を対象にした『かけっこ教室』では、走ることを楽しみながら学ぶ機会を提供しました。子供たちのとても楽しそうな笑顔が素晴らしかったです。それは子供たちが走ることの満足度を高めることを考え、それを形にできる講師陣に助けられたのが大きいです。また熱中症対策を考慮し、初めて空調の効いた体育館で開催しました。これまでは屋外で、天候を気にしながら運営していた真夏のスポーツ推進活動に、会場を工夫することで新たな可能性を発見しました。

さらに、『ノルディックウォーキング』では体験会を開催し、参加者の健康増進に寄与しました。ノルディックウォーキングは、全

身運動であり、健康維持に効果的です。この体験会を通じて、参加者にその効果を実感してもらうと同時に、申し込みの多さ、参加者の声からニーズがあることが分かりました。また『みんなのスポーツday』では、市民が一堂に会してスポーツを楽しむ機会を提供しました。ボッチャや様々なニュースポーツの体験コーナーも設け、そして大学・高校の協力を得てチアリーディング、ソングリーディング、新体操、ダンスを、そして府中に活動拠点を置くプロチームのラグビー、フットサルを「見て」「感じて」「体験する」ことでこれらのスポーツの普及にも一役買いました。

今年度のスポーツ推進委員たちは、各々の専門性を活かし、活動に新たな風を吹き込んでくれました。そして私に新たな視点を提供してくれて、わずかな時間の中で活動の質を高めることを考えるきっかけになりました。

これらの活動を通じて、スポーツを次世代につなぐうえでコミュニケーション力の向上やIT化の必要性を改めて感じました。新たな時代に対応するためには、これらの課題に取り組む必要があります。新年度は、これらの課題に取り組みつつ、新たな取り組みにもチャレンジしていきたいと思います。

令和5年度の活動は、新たな挑戦の年となりました。新たなスポーツの普及、新たな取り組み、新たな課題への取り組み。これらの経験を活かし、新年度も市民のスポーツライフの充実に寄与していきたいと思います。

ポストコロナの陸上競技大会

古 口 時 治

令和5年5月に、新型コロナウイルス感染者の減少に伴い、感染症法上の位置づけが5類に移行され、日常生活に戻りました。

私の周りでも、3年ぶり、4年ぶりという言葉が、たくさん聞かれました。

私が、ライフワークとして行っている陸上競技審判（日本陸上競技連盟公認審判員）の大会への委嘱も、5月以降、増加してきました。9月以降の陸上競技シーズンは、ほとんどの土曜日、日曜日は陸上競技大会に審判として委嘱され、参加しました。参加した主な大会を紹介します。東京マラソン大会、青梅マラソン大会、箱根駅伝大会（東京箱根間往復大学駅伝競走大会）予選会、箱根駅伝大会、江東シーサイドマラソン大会、奥多摩溪谷駅伝競走大会、豊島区駅伝競走大会、調布市民駅伝競走大会、府中駅伝競走大会等に参加しました。

何の制限のない、ポストコロナの陸上競技大会に、審判として参加して、強く印象に残ったことを書きます。

各大会とも観客が多くなったことです。特に、令和6年1月2・3日に開催された箱根駅伝大会においては、私が担当した駅伝コースの両側の歩道が通行できなくなるほどの観客が集まりました。コロナ禍で開催された令和4・5年の大会では、私たち審判も観客に対し応援自粛を呼びかける程でした。また、観客の皆さんからの声援が多く聞かれました。大会終了後のインタビューや新聞記事で、選手のほとんどが、声援が力になったと答えて

いました。優勝した大学が新記録を出したのも、声援のおかげだと、私は思っています。

さて、話が変わりますが、私が陸上競技審判員として活動を始めて、10年が経過しました。これほど長く活動できたのは、テレビ中継での駅伝、マラソン、陸上競技大会では体験できない、選手の息遣い、足音、走るスピードで起こる風等を実感できるからです。これからも体に気を付けて、続けていきたいと思っています。

スポーツ推進委員 7 年目活動報告

小谷田 恵 理

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行となったことから、各種イベントがコロナ禍前のように実施できるようになり、それにより市民の皆さんとお会いし、顔を合わせて会話をし、共に過ごすことの大切さを実感できる一年になりました。

私たちスポーツ推進委員は府中市から委嘱され各種事業を企画、運営し市民の皆さんへ日々の健康増進や体力維持、体を動かすことへのきっかけづくりを目標として活動しています。そのひとつが「ボッチャ」です。府中市ではパラリンピックの正式種目である「ボッチャ」を普及しています。「ボッチャ」は年齢や性別、障害のあるなしにかかわらず、すべての人が一緒に競い合える競技です。私たち推進委員は市と共に、より多くの市民の皆さんに「ボッチャ」を体験していただけるように一年を通してイベントを開催しています。

市民スポーツ・レクリエーション大会としての「スポ・レクボッチャ大会」や、優勝、準優勝チームが市町村大会に出場する「府中市ボッチャ大会」です。またそれぞれの大会の前には「ボッチャ教室」を開催し、それに伴い市民の皆さんに、よりわかりやすく楽しんで体験していただくために「関東ボッチャ協会」から講師を招き、審判員としての試合の進め方やルールを学んでいます。これにより今年度の「ボッチャ」関連のイベントでは昨年度よりレベルアップした審判が出来ていたと思いますが、推進委員一人ひとりが自信

をもって審判が出来るように引き続き研修を行っていくことが必要だと思います。

様々なイベントを企画するにあたり、9月に開催された東京都スポーツ推進委員研修会「広域地区別研修会（第9ブロック）」に講師として招かれた筑波大学体育系准教授、澤江幸則氏の講話はとても印象深く心に残り以後のイベントの企画の参考になりました。

そのひとつは「トライアル&エラー」です。今回の研修のテーマは「誰でもできる新しい運動」でしたが、各市の発表は「試行錯誤」を繰り返し工夫し、障害のある方、お年寄り、子供達それぞれが楽しく簡単に体を動かすことができる運動を紹介していました。その「試行錯誤」のきっかけになる考え方のキーワードがふたつめの「アダプテッドスポーツ」という言葉です。「モノ、ヒト、コト、場所」を工夫し、心身に障害を持つ方、性別や年齢、体力、スポーツ経験の有無などにかかわらず誰でも気軽に参加して楽しむことが出来るように、ルールや用具を工夫し適合（adapt）させたスポーツの総称だそうです。澤江氏は参加されなかった方のことも考えていく必要があるとおっしゃっていました。何故参加できなかったのか（しなかったのか）先ほどの「モノ、ヒト、コト、場所」というキーワードを軸に考え、ひとりでも多くの方に体を動かす楽しさを体験してもらうことを令和6年度の目標のひとつにしたいと思います。

スポーツで街への愛着を

下 島 博 美

週に1回もスポーツを行っていないとの回答が62.8%と府中市民向け調査での結果です。健康志向の高まりから、スポーツの意識は高まっているものの、まだかかわりは50%にも達しておりません。スポーツにかかわる機会の充実がまだ必要です。スポーツは、地域の人々が一緒になって楽しめる活動の一つです。スポーツを通じて、地域の人々が交流を深め、地域の魅力を再発見することができます。地域への愛着を深める事ができます。

街に愛着を強める方法として、まず「地域のスポーツチームに参加する」です。地域のスポーツチームに参加することで、地域の人々と交流を深めることができます。また、スポーツチームに所属することで、地域の人々と共に目標に向かって努力することができます。次に「地域のスポーツイベントに参加する」です。地域のスポーツイベントに参加することで、地域の人々と交流を深めることができます。また、地域の文化や歴史を知ることができます。

次に「地域のスポーツ施設を利用する」地域のスポーツ施設を利用することで、地域の人々と交流を深めることができ、地域の魅力を再発見することができます。

最後に「地域のスポーツについて調べる」です。地域のスポーツについて調べることで、地域のスポーツについての知識を深めることができます。このような事から、スポーツを通じて競技としてに加えて、楽しむスポーツを体験しながらスポーツへのかかわりと、地

域へのかかわりを深めて行く事が出来ます。府中市は環境的にも緑地が多くスポーツ施設も多く、さらには、トップチームの活動拠点が複数チームある全国でも稀な地域です。特にラグビーにおいては国内最高峰リーグのチームである、東京サントリーサンゴリアスと東芝ブレイブルーパス東京の2チームがあり、国内で2チームもあるのは府中市だけであり、世界的にみても希少な事です。このようにスポーツへの環境が恵まれている地域でもあり、スポーツへのかかわりにも恵まれている府中市です。週に1回もスポーツを行っていない方やかかわりの少ない方に、わかりやすく・丁寧に・その情報を伝える機会を多く行う事を目的として、私は令和5年度よりスポーツ推進委員となり委嘱期間の1年目が終了しました。

スポーツ推進委員は、市におけるスポーツ推進のためスポーツ実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行うことが期待されています。市民が気軽に参加できるスポーツイベントを地域から発信し、地元の活性化、健康促進、コミュニティ形成などの効果も期待できます。

この委嘱期間1年目の経験を通して、コロナ禍明けの生活習慣や社会変化により今後の社会の変化に対応した、スポーツへの携わり方を推進していき、スポーツへの携わりとスポーツ好きの方を多くし、よって街への愛着をスポーツの力で強くしていきたくスポーツ推進委員として活動していきます。

スポーツ推進委員3年目

鈴木 英俊

令和5年度は新型コロナの位置付けが2類から5類に移行、これにより生活も新型コロナ前の日常に戻りスポーツ界でも多くの大会・競技・イベント等が開催され、観客の制限も撤廃し全てのスポーツ大会・イベント等に直接足を運んで観ることが出来るようになりました。

そのような中、スポーツ推進委員会の令和5年度の事業・イベント等も新型コロナ前の積極的な事業展開及び活発な活動が出来たと思います。その上でスポーツ推進委員としての令和5年度の事業・イベントの実施・参加状況をいくつか紹介します。

住吉文化センター圏域コミュニティ協議会【地域納涼祭り】では、久しぶりに模擬店もたくさん出店し、そのお陰もあり前年を大きく上回る来場者で賑わいと活気があふれ、地域の方々の笑顔をたくさん観ることが出来て非常に良かったと思います。ただ協力者の人手不足を若干感じました。

広域地区別研修会【第9ブロック】では、テーマ「誰でもできる新しい運動」を元に各市の取り組みを発表しパネリストによる質疑応答が行われました。中でも印象に残ったのが調布市の「テーマに沿った優れたアイデア性、フレイル予防に効果大」を感じさせる取り組みでした。また第2部では情報交換会が行われ、各市の推進委員とのコミュニケーションをはかることが出来て有意義な時間を過ごすことが出来ました。

内部研修【ボッチャ講習会】は、ボッチャ

協会から専門の講師を招き審判要員の確保&レベルアップを目的に実施しました。座学で基本的ルールの再確認、その後チームに分かれての実践（審判目線）、講師の豊富な経験から様々なケースを学び充実した内容となりました。このような機会の定期開催と実践が審判のレベルアップに必ず繋がるものと考えます。

四谷体育館【みんなのスポーツday】は4年ぶりの新型コロナ前と同レベルでの取り組みで実施したことで多くの来場者で溢れ賑わいました。中でも特別企画の府中西高ダンス部の実演では「躍動感あふれる迫力」のあるダンスを披露していただき、観客席が足りなくなるほど大盛況でした。今後も「みなスポ四谷」の目玉企画にしても良いと感じました。全体を通しては若干の課題は残りましたが、地域の協力者のおかげで準備段階から終了まで手際の良い対応とスピード感ある動きで来場者の方々にたいへん喜んで頂けました。

この他にも本年度は色々な事業展開やイベント等を開催し、我々スポーツ推進委員がほぼフル活動出来た1年だったと思います。これから更に進む高齢化社会において健康寿命を延ばす・健康増進に対する取り組みが重要となります。生活習慣病の予防として「軽い運動」を継続的に行うことが効果的とあります。市民の誰もが「日常的に楽しめるスポーツ」によって長くアクティブに生活できる為の“お役立ち活動”に注力したいと思います。

大事なことは

瀬戸口 幸 則

新型コロナウイルス感染症が、5 類となった令和 5 年度は、コロナ禍以前の状況に戻りつつも、依然として感染のリスクに配慮しなければならない年でした。その中でも、数多くの会議やイベントが開催され、コロナ禍以前の忙しさが戻ってきたような 1 年でした。

令和 6 年 2 月 10 日に開催された、令和 5 年度地域スポーツ支援研修会（市町村部）（東京都、一般社団法人東京都スポーツ推進委員協議会共催）に参加しました。

2025 年に東京都で開催される、第 25 回夏季デフリンピック競技大会（東京 2025 デフリンピック）を控え、デフスポーツの理解と地域におけるろう者への接し方を考える機会として、研修会テーマが設定されました。

講義のテーマは、「ろう者とのコミュニケーションとデフスポーツの紹介」で、サブタイトルが「～デフアスリートと共に～そして彼らの想いを聴こう～」でした。サブタイトルは、案内や資料には掲載がなく、当日のスクリーンに映し出されたものでした。

講師は、長年、ろう学校・特別支援学校で教員をされ、現在は、亜細亜大学経営学部特任准教授をされている橋本一郎氏と 3 名のデフリンピックメダリスト、手話通訳者の方々でした。橋本講師は、非常にご多忙な方だそうで、都スポ協の新島会長の「貴方でなければならい」という懇願により、講師を受けられたとの話がありました。

オープニングが手話で始まり、どのような研修会になるのか、戸惑いを感じましたが、

講師のキャラクターは人を引き込む力が強く、2 時間があっという間に過ぎてしまいました。

簡単な手話の実技やデフリンピックにまつわるクイズありの研修会でした。

講師は、ろう者を障がい者とは呼ばないと話され、考えさせられる一言でした。聞こえないだけではパラリンピックには出場できない、スタートランプなどの補助装置による出場にも苦労があるなど、ろう者のアスリートの置かれたスポーツ環境の話もありました。

「聴く」の「聴」は、「耳」「+」「目」「心」からなっており、目や心を使って「きく」ことを意味しているとの話に思わず納得してしまいました。このような気付かされる話がたくさんあり、とても充実した研修を受講できました。また、手話通訳者のまるでろう者が話しているかのような流暢な通訳には感心させられました。

東京 2025 デフリンピックでは、府中市も会場となります。競技会場となることは、それなりの「力」があることと思いますが、会場となることが目的でなく、ろう者にとっての施設の整備や気遣い、心配りを伴う環境の整備も必要だと感じました。ろう者だけでなく、共生社会、多様性が求められる時代に即した、誰もが楽しめるスポーツの機会、さすが「スポーツタウン府中」と言われる大会にすることが、開催に当たってとても大事なことでないでしょうか。

「軽スポーツ大会」

中 川 一 郎

令和 5 年 5 月に市民陸上競技場で、「みんなで楽しむ軽スポーツ大会」が開催された。

私自身の初参加は 20 年以上前になる。軽スポーツ大会は、日頃運動する機会の少ない障害のある方が軽スポーツを楽しむ機会として、当時から多くのボランティアの協力の元、盛大に行われていた。私が初めて経験した軽スポーツ大会では、趣向を凝らして企画された競技が行われていた。例えば、目隠しをして（視覚障害の方はそのまま）楽器の音に案内されてゴールまで進む競技、絵カードと商品を合わせてゴールする買い物競争、団体や施設ごとに普段車イスを使っている方もいない方も全員が車イスで走行する車イスリレーなどがあったと記憶している。

体育大を卒業後、障害者福祉分野に就職したばかりの私にとって、肢体・視覚・聴覚・知的などの障害特性を他の障害の方や障害のない方が体感しつつ共にスポーツとして楽しむ企画は、新鮮でもあり、こういう「スポーツ」の活用の仕方、楽しみ方もあるという発見をした。競技スポーツ中心に携わっていた学生時代の経験とは一味も二味も違い、スポーツの深みをまた一つ知ることができたな・・・と感じたことを覚えている。

ただ今はどうだろうか？10 年前の会報を読み返してみて、軽スポーツ大会が発展しているだろうか、コロナ禍の影響があったとしても参加人数の減少だけではなく、競技内容に変わりがないまま続けられている状況の中で「みんなが楽しむ軽スポーツ大会」になっ

ているか疑問ではあるが、今も昔？

社会もスポーツも変化と進化を続けていて、いつか「みんなが楽しむ軽スポーツ大会」が障害の有無や高齢者やというくくりではなく、それぞれが楽しめるスポーツを体験し合い、楽しく理解を深める場へと更にバージョンアップさせたいものである。みんなで楽しむ軽スポーツ大会に限らず、みんなのスポーツ day も誰もが参加できる内容が課題となるだろう。

令和5年を振り返って思うこと

中 島 順 子

スポーツ推進委員になって5年、新型コロナウイルスの影響で様々なスポーツ活動が停滞した時期を乗り越え、コロナ禍が落ち着き日常が戻ってきました。中止もしくは規模が縮小されていたイベントが元通りにできるようになり、これまで我慢してきた分あらためて「する」ことも「見る」こともスポーツは楽しいという純粋な喜びを感じます。スポーツ推進委員になったおかげで、世代の違う人達との交流やつながりが増えました。ボッチャやラリーテニスなど知らなかった競技と出会い、スポーツとは何かを深く考えるきっかけになりました。

「非認知能力」という言葉を知っているでしょうか。最近では大手の学習塾が広告の文言に使用したり新聞の紙面でも取り上げられているので、どこかで耳にしたことがあるかもしれません。読み書きや知能指数（IQ）などテストで測定可能なものが認知能力と定義されるのに対して、忍耐力・自制心・意欲や自信・協調性・社交性など、客観的な数値では測定できない能力の総称が「非認知能力」です。デジタル化が進み AI（人工知能）時代ともいわれる昨今の世の中で、AI に負けないために人間だからこそ求められるコミュニケーション能力として注目され関心が高まっています。他人と関わり合いながら生きていく上で大切な力ですが、この「非認知能力」を育み伸ばすためには学校の詰め込み勉強よりもスポーツが適しているそうです。誰でも押しつけられると嫌になるものですが、遊びの延長でもあるスポーツならおもしろ

い！やりたい！と単純に自発的に思えるからでしょう。さらに体を動かせば心もすっきりする、たとえ上手でなくてもそれなりに楽しめるし誰かと一緒ならもっと楽しいと本能的にわかっているからです。

少し前に思わぬケガで右足を骨折し松葉杖を使用する経験をしました。ギプスで固定され安静を余儀なくされましたが、じっと座っているのが苦痛で、自由に動けることがどれほど有難いかを実感しました。松葉杖で歩く際のちょっとした段差の怖さを身をもって体験し、ハンデのある方々の不便さや気持ちを察する貴重な経験でしたが、久しぶりのスポーツジムで体を動かし汗をかけた爽快感、心配してくれた仲間との再会時の笑顔の交流は忘れません。このようにスポーツの目的・意義は体力増進だけでなく人とのつながりを増やし「非認知能力」も鍛えられ、大げさにいえば生きている喜びが2倍にも3倍にも大きくなるのです。

今後もスポーツタウン府中の発展のため、市民の皆様が元気で健康的な生活を送るにはどうしたらスポーツを身近に感じ日常生活に取り入れてもらえるか、いかにスポーツの楽しさを伝えられるか、自分にできることを模索していきたいと思います。

「楽しむ！」

成 田 フサイ

昨年の会報で、「スポーツはたくさんの力を生むものだと思う。だからこそ、スポーツ推進委員で行うイベントは、スポーツをする市民を増やすことが目的だけではなく、子どもたちの夢のスタート地点であつたり、地域全体を活性化させる何かに繋がっていくものであつたり、もっと視野を広げていくことが必要なかと思う。どんなことがそういうものに繋がるのかを考え、行動できる次年度としていきたい。」と書いたが、果たしてそれができたであろうか？

今年度は事業のメイン担当ではなく、サポートとして参加することが多かった。軽スポーツ大会、かけっこ教室、けやき教室、みんなのスポーツdayやWaiWai フェスティバルなどに参加したが、どのイベントも終わるとホッとしたというよりも、「あ～楽しかった！」と、参加者とともに楽しんだものばかりだった。（もちろん、スポーツ推進委員としての立場を忘れずに）

その中で、けやき教室では「ラリーテニス」を生徒と一緒に行ったが、上手にボールを返す子もいれば、毎回ホームラン！と打ち上げてしまう子もいて、個々において、教え方やなげるボールを変え、目の前の一人のことを考えながらやることで、ラリーが続くようになった。終わったら、「また来るね」と言ってくれた子の笑顔。本当に楽しかったんだなと感じるほどの笑顔に、こちらこそ楽しませてもらえてありがたいと嬉しかった。

技術やルールを教えることは大事なかもしれないが、まずはそのスポーツを「楽しむ」、その時間を「楽しむ」ことが大事かなと思った。そして、自身もそのスポーツを「楽しむ」。けっこう、いろんなことを楽しくやる性格であるが、改めて「楽しむ」ことの大切さを教えてもらえた年だった。

また、様々なイベントを通して、個々のスポーツ推進委員の「力」に驚かされた。人前で話が上手な方、資料作り、作業のまとめが丁寧な方、面白い発想のできる方、子どもたちと接する際にこうするといいかアドバイスをくれる方など個々をみるとすごい！人たちの集まりだと感じた。

異職種の集まるスポーツ推進委員だからこそ、個々の得意分野や長所を生かしたイベントがもっともっとできるのではないかなと思う。次年度も私なりにできることを精一杯やり、精一杯スポーツを楽しみ、スポーツ推進委員の使命を果たしていきたい。

スポーツ推進委員としての3年目の活動報告

濱 田 輝 之

スポーツ推進委員（スポ推）としての活動を始めてから3年目が終わった。

1期目の2年間は新型コロナの影響で、多くのイベントが延期や中止または縮小されたの実施であったが、3年目の令和5年度からは感染症分類が2類から5類に変更になったことにより、少しずつ新型コロナ前の規模で実施できるようになった。

その中の一つは、「やってみスポーツボッチャ」の動画撮影に参加することができたことである。これまで、見るだけの立場であったが、作成する立場として実際に現場で参加できたことは非常に貴重な経験となった。

また、春の明星高校でのボッチャ講習会では、多くの生徒たちがボッチャに対して積極的かつ真剣に取り組んでいたが、この時の成果が秋の「みんなのスポーツday」（みなスポ）での生徒達のボランティア活動への参加に繋がったのではないかと思われた。

令和5年度の活動の中で自分自身として最も大きな経験は、10月9日に実施されたイベントであるみなスポの実行委員であった。

今回の報告は、このみなスポ実行委員としての活動経緯を中心に報告したいと思う。

みなスポには、令和4年度に当日のみの協力者として参加していたので、事前の準備段階からのコーディネーションは経験がないため、実行委員として何時、何から手を付けたら良いのか、また、何時迄に何を準備しておかなければならないのかの手順を示した資料がないことから、前年度の報告書だけを頼り

に準備作業しなければならなかったことは非常に不安に感じた。

まず、困ったのは特別企画団体の選定であった。前年度の令和4年度は新型コロナの影響で、特別企画団体への協力要請がなかったため、候補となる団体への足掛かりのない状態であった。過去に担当した実行委員から、候補として東京外国語大学チアリーディング部への連絡先を紹介してもらったが、この宛先では連絡がつかず、結局、チアリーディング部のホームページからメールでの依頼を行うことになった。しかし、一度は連絡が取れたものの、その後何度連絡しても先方からの回答がないため、コミュニケーションの取り方に不安を感じながら経過していった。

次に不安だったのは、運営協力者の少なさであった。日吉体育館はサポートがほとんど得られず、令和5年度も前年と同様に2名の協力者のみであり、現状の人員で円滑に実施できるか不安であった。

しかし、その後、チアリーディング部での連絡担当窓口が変更になってからは、迅速な応答となり、また、実施日直前にボッチャの運営協力者として10名の明星高校の生徒さん達の参加確定により、結果的に当日は円滑な運営が可能となった。

これらの今回の経験から、実施するイベントには、スポ推の過去の経験の有無によらず、初めてでも安心して実施できるような体制をつくるための手順書と、より速い準備作業が必須と考えられた。

みんなのスポーツday

深 津 康 人

今年のみんなのスポーツdayは、あいにくの雨の開催となり来場者がどのくらい来てくれるのか不安になる集合時間だった。開催準備は毎年協力してくださる運営協議会の方々が持ち場の準備をスムーズに行い、リハーサルまで出来、開会の時間となった。心配していた通り開会は参加者が少ないスタートとなった。

今年の種目は7種目で行った。

スピードガンは、例年多くの子供が並ぶ人気種目だが今年は少し待てばできる状況でリピーターが多く記録更新を狙って挑戦していた。親子での参加者は子供に負けじと頑張る親御さんの姿があり盛り上がっていた。

輪投げは、参加者によって投げる距離を幼児は盤のそばから、中学生は5mからとし、年齢・能力に応じて行った。幼児の引っかかった時の笑顔が最高だった。親子でチャレンジして点数を競い合ったり、ビンゴで勝負して盛り上がっていた。

マグネットダーツも同様に参加者によって投げる距離を幼児は持ち上げてボードのそばから、中学生は2.37mからとし、年齢・能力に応じて行った。子供たちは力一杯投げてしまうので弾かれたり、逆に弱すぎて届かなかったりしていたが楽しんでいた。

カローリングは、12m離れたところにポイントゾーンの中心を作ってゲームを行った。対戦ゲームを行い合計点で勝敗を決めていた。小学生は力加減が難しいのかポイントゾーンにはなかなかいかず点数を取るところまでい

かなかった。どちらかがポイントゾーンに近いかで勝ち負けを決めることもあった。何度もやるうちに上達していったのだが、押立体育館の床が、水平でなくカローリングが不規則に変化することもあり笑いを誘っていた。

トランポリンは人気種目で列を作って待っている、空いている種目をスタッフが紹介して混雑の緩和を心掛けていた。はじめは膝の使い方、手を降るタイミングがつかめない子たちも何度もチャレンジしていくうちに上達していった。

ラリーテニスも人気種目でコートを半面ずつ使い少しでも多くの人ができるようにして時間制限を設けて行った。

特別企画は、ラグビーのブレイブルーパス東京のスタッフによるパスターゲットをお願いした。当日は、スポーツの日で多くのイベント出演依頼があったのと早い順に選手を派遣したそうでこちらには選手は参加出なかった。市内のラグビー関係者に協力依頼をしてパスターゲットの前にパスの仕方を指導してもらってからパスターゲットにチャレンジし、「リーチ」の掛け声をかけたりして気分を盛り上げてやっていた。

全体的には、雨の影響で参加者は少なかったが参加された人たちは楽しそうにプレーされていた。

最後に押立体育館は運営協議会の方々の協力が絶大で、マンパワーの凄さを感じるとともに感謝申し上げます。

一年をふりかえって

元山 薫

今年度は、新たに東京都スポーツ推進委員協議会（都スポ協）正社員となり、研修委員会に配属されました。

自主事業ニュースポーツ研修

7月「ラウンドネット」四谷スポーツスクエア B2F 多目的ホール。発祥国はアメリカで、中央に置いた直径 1 メートル程のネットに 2 対 2 でボールを打ち合うスポーツです。アメリカなどでは、スポーツ前のアップで行うこともあり、ネットとボールがあればどこでもできるスポーツです。

課題別研修

8月「公立中学校における部活動の地域連携・地域移行について」グループディスカッション四ツ谷主婦会館プラザエフ 9F 会議室。東京都で「部活動検討委員会」が立ち上がり、推進目標として令和 7 年末までに、都内公立中学校等で、地域や学校の実態に応じて地域連携・移行に向けた取り組みです。グループディスカッションでは、地域によってはすでに少し移行しているところもあり、生徒が部活動をしたいのに、指導者がいない、指導者がいるが、生徒が集まらず廃部になる部活もあるとききました。部活動ではないが、小学校のプール指導も学校ではなく、スイミングスクールでの指導に移行している市もあるらしいです。上手に地域連携・移行していければ、その為に専属の指導できる指導者の登録も必要なのではと感じました。社員になり他市委員と情報交換や研修会に参加し良い経験ができ、学ぶことができました。

委員としては、「みんなのスポーツ day」の本宿体育館の担当でした。昨年のコロナ明けの半日開催から、一日開催になりました。体育館指導員、運営協議会の会長も替わり、コロナ禍でやっていなかった為に、すべてが一からでしたが、特別企画の東京女子体育大学新体操競技部 46 名の演技の後、体験コーナーでは子ども達の笑顔がたくさん見られました。明星高等学校のお手伝いもあり、ボッチャ体験も好評でした。皆さんの協力で雨にも関わらず多くの家族連れが体育館に足を運んでいただけました。

担当の西府文化センター圏域コミュニティ協議会では、10 月の家族運動会で、準備体操として方言バージョンラジオ体操第一を今年も行いました。今の子どもたちは、ラジオ体操を学校でもしないとの事なので、頑張って続けていきたいです。11 月のゲートボール体験会は、親子での参加者が多く、子ども達の集中力がすごく参加者もあきらめることなく、頑張って最後までプレーしていました。

研修部としては、三市交流研修会が府中市担当でした。都スポ協のニュースポーツ研修会で体験した「ラウンドネット」を紹介できて良かったです。これからも、色々なニュースポーツを紹介、体験していきたいです。

スポーツ推進委員として、ボッチャ審判のレベルもアップしていきたいです。

スポーツとの関わり

吉岡大翼

スポーツ推進委員として活動した1年を振り返ると、スポーツへの関わり方が大きく変化し幅を広げた年であった。

いままでのスポーツとの関わりは、

1. 競技者として、水泳の練習をし、大会へ出場し競技力を向上させること。
2. コーチやインストラクターとして、競技に取り組んでいる人、初心者・入門から始めた人にレッスンを通して、対象者の目標を支えること。
3. アスレティックトレーナーとして、全国大会やオリンピックでメダル獲得や上位成績を目指すアスリートをサポートすることが軸となりスポーツと関わってきた。

その中での変化としては、令和5年7月に福岡で行われた世界水泳選手権に代表トレーナーの1人として参加できたことだ。

アスリートやコーチ、トレーナーだけでなく、関わる人すべてが ONE TEAM で金メダルを目指し、日本水泳連盟の目標である『センターポールに日の丸を』を達成でき、アスリートやコーチと共に感動で涙も流した。多くの人が関わる TEAM JAPAN の力になれたことは今後のスポーツ活動に大きな糧となることだろう。

令和5年からはスポーツを【する】人が中心の活動の他に【みる】人、【支える】人とスポーツ推進委員の事業を通して関わり、いままで行ったことがないスポーツ、観たこと

しかないスポーツ、初めて聞くスポーツと多岐にわたり様々なスポーツを体験することができた。そして、同じ地域に住む方たちともスポーツを通じて交流することもできた。

一方でスポーツから離れている人や、コロナ禍において離れてしまった人を、どのようにしてスポーツ活動に参加してもらうのかなど、告知方法や周知、参加促進へと繋がる事業運営の改善をしなければならない課題もみえてきた。

令和6年にはパリ2024オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される。世界的なスポーツイベントの盛り上がりだけでなく、府中市もスポーツ推進を通して、スポーツの持つエネルギーや魅力が、よりいっそう地域スポーツ活動やコミュニティの活性化に繋げ、さらなる活力あるスポーツタウン府中になることに尽力していきたい。



ニュースポーツと生涯スポーツ

渡 邊 朋 子

今年度は、委員会の活動を通じて、新たな経験をさせていただきました。

「ボッチャ」、「ラリーテニス」、「ノルディックウォーキング」、何れも初心者や体力に自信の無い方にも楽しめる、素晴らしいスポーツです。幼稚園・学校、職場や施設など、出前教室を行うと、更に広がって行く可能性を感じました。

同時に広報の必要性を感じました。「平和な未来ある社会のために、スポーツは欠かせないもの」、というイメージ作りとして、テレビ・ラジオ・新聞・広報誌などのマス（mass 大衆）広告と、SNS による広告を取り入れ、こう言ったニュースポーツを観る・魅せる演出があれば良いのにと感じました。

スポーツの楽しみ方には、「する」と「観る」があります。「する」スポーツにおいては達成感、協力することの大切さを感じます。一方、家族で参加する、ファミリーレジャーとしての楽しみ方、応援する、その過程や結末のドラマに感動する、そんな楽しみ方もあります。委員になってみて、スポーツをする人も観る人も、一緒に楽しめる場の提供が、こんな身近にあったのだなとわかりました。「市民スポーツ・レクリエーションフェスティバル」、「みんなのスポーツ day」、「Wai Wai フェスティバル」、府中市とスポーツ推進委員とで、様々な試みが、長い年月行われてきたことに感謝して、今後はこれらの行事や大会、教室のサポートに入らせていただこうと、気持ちを新たにしました。

さて話は変わりますが、高齢化社会に向けて、フレイル予防の試みとして、生涯スポーツ、無酸素運動（筋力トレーニング）の勧めを書きます。

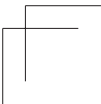
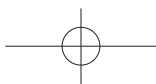
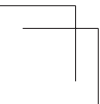
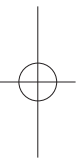
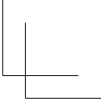
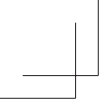
身体に痛いところや不調があると、スポーツはおろか、人生を楽しめません。治療方法として、①薬、②手術の他に、③運動療法があるのをご存じでしょうか。

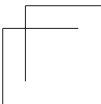
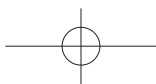
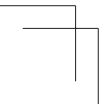
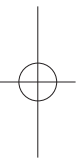
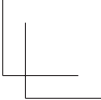
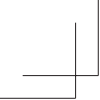
日本は医療保険制度が充実しているので、痛くなってからどこかへ行くという国民性が根強かったのですが、コロナを経て変わりつつあります。スポーツジムが流行り、予防の運動意識が芽生えてきています。

「身体（筋肉）の機能は適度に使えば発達し、使わなければ、萎縮（退化）し、過度に使えば障害をおこす。」これは「ルーの法則」と言って、生理学の古典的な法則です。

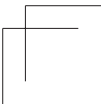
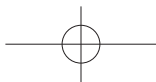
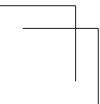
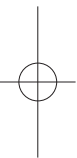
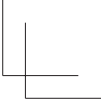
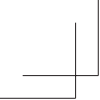
人間は、生きている限り、有酸素運動（ジョギングなどのように酸素を消費して脂質や糖質を燃やす運動）と無酸素運動（短時間に強い力をかける運動、筋力トレーニング）が必要不可欠なのです。動かなければ、筋肉も毛細血管も退化し、立って歩くことはおろか、体温を維持することも出来ない、医療費が膨大な額になってしまいます。

有酸素運動はなじみがあるのですが、無酸素運動については、マイナスイメージをお持ちではないでしょうか。生涯スポーツとして無酸素運動が理解され、府中市民の健康寿命を延ばしてもらいたい。私は、そんな活動も出来たらいいなと思っています。





事業実施報告書・研修等参加報告書 及び事業等活動報告書



事業実施報告書

報告者（元山 薫）

提出日 令和5年5月31日

事業名	府中市スポーツ推進委員会 新任委員研修	事業の評価 (該当欄に○印を記入 該当のない場合は－を記入)					
目的・目標	府中市のスポーツ推進委員としての役割、活動の基礎知識を学ぶ、自覚を持って市民に接し、今後の活動に役立ててもらうことを目的に開催する。	所見	評価項目	十分	ほぼ十分	普通	やや不十分
実施日時	令和5年5月16日（火）19時00分～21時00分	企画について	目的・目標は適切だったか		○		
会場	府中駅北第2庁舎 3階会議室		曜日・時間・期間は適切だったか		○		
担当スポーツ推進委員	元山 研修部長		事前の打ち合わせは十分であったか		○		
指導者	府中市スポーツタウン推進課 山本係長 スポーツ推進委員会 瀬戸口会長、ポッチャ指導 石田総務部長		地域社会との連携は良かったか				－
参加状況	下島委員・吉岡委員・渡邊委員・深津副会長 大久事務職員・三枝事務職員	参加者について	コメント				
事業の概要	(簡潔に記入)		対象者・人数は適切だったか			○	
・事業の雰囲気	資料の準備が不十分で、バタバタしてしまった。ポッチャは、映像が見れず体験だけだった。		事業の目的・目標が理解できたか			○	
・評価できる点	前半は、山本係長、瀬戸口会長からスポーツ推進委員の位置づけ、役割、活動について資料（ハンドブック含む）で勉強をした。基本的な内容は、理解できたと思う。後半のポッチャは、石田総務部長に指導してもらい実際に体験した。		技術は身についたか			○	
・次回への改善点	新人研修は早めにできたほうが良いと思う。時間が今回短かった。もう少し時間が必要。資料は当日配布ではなく、事前に用意しておければ良かったと思う。	指導者について	準備・整理運動を理解し実施したか			○	
・その他			コメント	全員参加予定で日程調整したが、参加できない委員がいた。			
			説明はわかりやすく適切であったか		○		
			指導方法、内容は適切であったか		○		
		安全について	指導者の数、位置は適切であったか		○		
			参加者に対する配慮は適切であったか		○		
			コメント	時間がたりなかった。			
			企画段階を含め安全について考慮したか			－	
		施設について	既往症・健康状態をチェックしたか			－	
			参加者の体力にあった活動をさせたか		○		
			気象状況などを考慮したか		○		
			コメント				
		施設・ついで	実施前に施設をチェックしたか			－	
			施設・用具のチェックをしたか			－	
			施設の管理責任者を把握していたか			－	
			施設・用具の破損をチェックしたか			－	
		コメント					
			ポッチャの映像が、機械が動かず見れなかった。				

事業実施報告書

報告者（古口 時治）

提出日 令和5年5月28日

事業名	ポッチャ教室	事業の評価 (該当欄に○印を記入、該当のない場合は－を記入)					
目的・目標	ポッチャを通して障害者スポーツへの理解を深め、障害のあるなしに関わらず一緒にスポーツを楽しんでもらうことを目的とする。	所見	評価項目	十分	ほぼ十分	普通	やや不十分
実施日時	令和5年5月28日（日）10時00分～11時30分	企画について	目的・目標は適切だったか	○			
会場	栄町体育館		曜日・時間・期間は適切だったか	○			
担当スポーツ推進委員	古口 時治		事前の打ち合わせは十分であったか	○			
指導者	府中市スポーツ推進委員		地域社会との連携は良かったか	－			
参加状況	委員：石田、井上、大竹、岸、木村、鴻巣、小谷田、下島、中島、濱田、本山、吉岡、渡邊、事務局：山本係長、大久、三枝	参加者について	コメント				
事業の概要	(簡潔に記入)		対象者・人数は適切だったか	○			
・事業の雰囲気	参加者が11名と少なかったが、参加した皆さんが積極的に練習、ゲームを実施していた。また、3月まで委員であった山田さんと吉野さんが参加してくれて、ゲームを盛り上げてくれました。		事業の目的・目標が理解できたか	○			
・評価できる点	実技開始前に映像を使い、ポッチャのルール、道具、投げ方等を説明した。映像も分かり易く参加者も熱心に見ていました。また、新委員及び事務局の方々が積極的に会場準備、練習、ゲームに参加しルール理解を深めていた。		技術は身に付いたか	○			
・次回への改善点	栄町体育館には駐車場がなく物品搬入に苦労していたため、次回開催時は駐車場のある体育館を会場としたい。	指導者について	準備・整理運動を理解して実施したか	○			
・その他	特になし		コメント				
			説明はわかりやすく適切であったか	○			
			指導法、内容は適切であったか	○			
		安全について	指導者の数、位置は適切であったか	○			
			参加者に対する配慮は適切であったか	○			
			コメント				
			企画段階を含め安全について考慮したか	○			
		施設について	既往症・健康状態をチェックしたか	○			
			参加者の体力にあった活動をさせたか	○			
			気象状況などを考慮したか	○			
			コメント				
		施設・ついで	実施前に施設をチェックしたか	○			
			施設・用具のチェックしたか	○			
			施設の管理責任者を把握していたか	○			
			施設・用具の破損をチェックしたか	○			
		コメント					

事業実施報告書

報告者（岸 優子）
提出日 令和5年6月25日

事業名	内部研修（ラリーテニス）	事業の評価 (該当欄に○印を記入、該当のない場合は－を記入)						
		所見	評価項目	十分	ほぼ十分	普通	やや不十分	不十分
目的・目標	府中生まれのラリーテニスを体験して、楽しさを共有。身近にあるスポーツだが、触れ合う機会も少ないので、認知度向上とコミュニケーション作り	企画について	目的・目標は適切だったか	○				
実施日時	令和5年6月25日（日）		曜日・時間・期間は適切だったか	○				
会場	郷土の森総合体育館 第一体育室		事前の打合わせは十分であったか			○		
担当スポーツ推進委員			地域社会との連携は良かったか	○				
指導者	瀬戸口委員	参加者について	コメント					
参加状況	瀬戸口 元山 井上 岸 中島 濱田 渡邊 各委員（合計7名）		対象者・人数は適切だったか	○				
事業の概要	（簡潔に記入）		事業の目的・目標が理解できたか	○				
・事業の雰囲気	当日は実際ラリーテニスをされている中のコート一面を体験会として借用。 体育館の中は活気があり、大変賑わっていた。		技術は身に付いたか	○				
・評価できる点	瀬戸口会長の座学から始まり、資料も用意してくれていたので一から学ぶことができた。	安全について	準備・整理運動を理解して実施したか	○				
・次回への改善点	今回参加されてない委員の方達に、またこのような機会があればコミュニケーションを図る目的で参加を促したい。		コメント	委員会委員同士の声掛け、技術面のアドバイスなどがあり楽しめた				
・その他			説明はわかりやすく適切であったか	○				
			指導法、内容は適切であったか	○				
		施設・用具について	指導者の数、位置は適切であったか	○				
			参加者に対する配慮は適切であったか	○				
			コメント					
			企画段階を含め安全について考慮したか		○			
		安全について	既往症・健康状態をチェックしたか			○		
			参加者の体力にあった活動をさせたか	○				
			気象状況などを考慮したか	○				
			コメント					
		施設・用具について	実施前に施設をチェックしたか	○				
			施設・用具のチェックしたか	○				
			施設の管理責任者を把握していたか	○				
			施設・用具の破損をチェックしたか		○			
		安全について	コメント					
			説明はわかりやすく適切であったか	○				
			指導方法、内容は適切であったか			○		
			指導者の数、位置は適切であったか	○				
		安全について	参加者に対する配慮は適切であったか		○			
			コメント					
			企画段階を含め安全について考慮したか	○				
			既往症・健康状態をチェックしたか	○				
		安全について	参加者の体力にあった活動をさせたか	○				
			気象状況などを考慮したか	○				
			コメント					
			実施前に施設をチェックしたか	○				
		施設・用具について	施設・用具のチェックをしたか	○				
			施設の管理責任者を把握していたか	○				
			施設・用具の破損をチェックしたか	○				
			コメント					

事業実施報告書

報告者（小谷田 恵理）
提出日 令和5年7月13日

事業名	第32回市民スポーツ・レクリエーションフェスティバル ボッチャ	事業の評価 (該当欄に○印を記入 該当のない場合は－を記入)						
		所見	評価項目	十分	ほぼ十分	普通	やや不十分	不十分
目的・目標	市民一人ひとりのスポーツレクリエーション活動の振興に資すること	企画について	目的・目標は適切だったか	○				
実施日時	令和5年7月8日（土） 13時20分～16時30分		曜日・時間・期間は適切だったか	○				
会場	郷土の森 総合体育館 第一体育室		事前の打合わせは十分であったか	○				
担当スポーツ推進委員	石田委員		地域社会との連携は良かったか					
指導者	石田・井上・大竹・鴻巣・小谷田・岸・木村・古口・下島・鈴木・成田・濱田・元山・コミスポ3名	参加者について	コメント					
参加状況	18チーム、68名（スポーツ推進委員チームを含む）		対象者・人数は適切だったか		○			
事業の概要	（簡潔に記入）		事業の目的・目標が理解できたか		○			
・事業の雰囲気	対戦中、ナイスプレイにはお互いに拍手をしたり、参加者は楽しんでゲームをしていた。		技術は身に付いたか		○			
・評価できる点	前回同様、調整時間を設けたため、全体的に落ち着いて運営できた。	安全について	準備・整理運動を理解し実施したか	○				
・次回への改善点	推進委員の審判のレベルに向上が必須と感じた。		コメント	小学生が多く、小学生から大人と勝負したいとの希望もあった				
・その他	参加チームを増やすための周知方法を考える必要があると思った。		説明はわかりやすく適切であったか	○				
			指導方法、内容は適切であったか			○		
		安全について	指導者の数、位置は適切であったか	○				
			参加者に対する配慮は適切であったか		○			
			コメント					
			企画段階を含め安全について考慮したか	○				
		安全について	既往症・健康状態をチェックしたか	○				
			参加者の体力にあった活動をさせたか	○				
			気象状況などを考慮したか	○				
			コメント					
		施設・用具について	実施前に施設をチェックしたか	○				
			施設・用具のチェックをしたか	○				
			施設の管理責任者を把握していたか	○				
			施設・用具の破損をチェックしたか	○				
		安全について	コメント					
			説明はわかりやすく適切であったか	○				
			指導方法、内容は適切であったか			○		
			指導者の数、位置は適切であったか	○				
		安全について	参加者に対する配慮は適切であったか		○			
			コメント					
			企画段階を含め安全について考慮したか	○				
			既往症・健康状態をチェックしたか	○				
		安全について	参加者の体力にあった活動をさせたか	○				
			気象状況などを考慮したか	○				
			コメント					
			実施前に施設をチェックしたか	○				
		施設・用具について	施設・用具のチェックをしたか	○				
			施設の管理責任者を把握していたか	○				
			施設・用具の破損をチェックしたか	○				
			コメント					

事業実施報告書

報告者（ 鴻巣 裕司 ）

提出日 令和5年9月7日

事業名	かけっこ教室「走るって楽しい ♪」	事業の評価 (該当欄に○印を記入 該当のない場合は―を記入)						
目的・目標	スポーツの基本である、走る技術と練習方法を学び、走ることの楽しさを体感してもらい、今後のスポーツ活動に役立てることを目的に実施する。	所見	評価項目	十分	ほぼ十分	普通	やや不十分	不十分
実施日時	令和5年8月24日（木）①午前10時～正午 ②午後1時～3時	企画について	目的・目標は適切だったか	○				
会場	府中市立白糸台体育館 体育室		曜日・時間・期間は適切だったか			○		
			事前の打ち合わせは十分であったか	○				
担当スポーツ推進委員	鴻巣、濱田委員、吉岡委員、小谷田委員、渡辺委員、吉岡委員、石田委員、成田委員、鈴木委員		地域社会との連携は良かったか	○				
指導者	Grow Sports講師	コメント	次回への改善点を考慮して、曜日について普通とした					
参加状況	小学3・4年生（男子 16人、女子 13人） 小学5・6年生（男子 3人、女子 3人）	参加者について	対象者・人数は適切だったか	○				
			事業の目的・目標が理解できたか	○				
事業の概要	(簡潔に記入)	指導者について	技術は身についたか	○				
			準備・整理運動を理解し実施したか	○				
・事業の雰囲気	子供たちの楽しんでいる笑顔を見ることが出来たので、目的は達成できていると思われると同時に、私がスポーツ推進委員になって、こんなに子供たちと一緒に走ったのは初めてであった。	コメント						
・評価できる点	空調完備の体育館で、初の開催で、初の室内でのかけっこ教室を行うことが出来た。	安全について	説明はわかりやすく適切であったか	○				
			指導方法、内容は適切であったか	○				
・次回への改善点	5、6年生の参加者が少なかった。原因を検討したところ ①夏休み終了間際の開催、②暑さへの懸念、③夏休み宿題への対応、等が原因として上がった。 次回開催時には、開催時期、広報内容を検討して行いたい。	施設について	指導者の数、位置は適切であったか	○				
			参加者に対する配慮は適切であったか	○				
・その他	運営マニュアルを作成中。写真撮影をした方は事務局へデータを送ってください。	安全について	コメント					
			企画段階を含め安全について考慮したか	○				
・評価できる点	参加者の年齢や経験の有無を踏まえ、それぞれに適切な対応ができていました。	安全について	既往症・健康状態をチェックしたか	○				
			参加者の体力にあった活動をさせたか	○				
・次回への改善点	参加者を増やすために、開催日や季節を再考する必要があると考えました。	安全について	気象状況などを考慮したか	○				
			コメント					
・その他	申込時に既往症の有無の項目を増やしてほしいと思います。	施設について	実施前に施設をチェックしたか	○				
			施設・用具のチェックをしたか	○				
・その他	申込時に既往症の有無の項目を増やしてほしいと思います。	施設について	施設の管理責任者を把握していたか	○				
			施設・用具の破損をチェックしたか	○				
		コメント						

事業実施報告書

報告者（ 小谷田 恵理 ）

提出日 令和5年10月3日

事業名	らくらく歩こうノルディックウォーキング術 ～ノルディックウォーキング体験講習会～	事業の評価 (該当欄に○印を記入 該当のない場合は―を記入)							
目的・目標	年代や性別を問わず、体力に自信のない方や運動の苦手方でも自分のペースで楽しめるノルディックウォーキングを通じて、参加者の健康増進や体力維持、ストレス解消等につなげる。	所見	評価項目	十分	ほぼ十分	普通	やや不十分	不十分	
実施日時	令和5年9月22日（金）10時～12時	企画について	目的・目標は適切だったか	○					
会場	府中市民陸上競技場		曜日・時間・期間は適切だったか			○			
			事前の打ち合わせは十分であったか	○					
担当スポーツ推進委員	鴻巣・小谷田・石田		地域社会との連携は良かったか			○			
指導者	日本ノルディックウォーキング協会上級インストラクター 齋藤由美子・インストラクター 吉松久美子	参加者について	コメント						
			対象者・人数は適切だったか			○			
事業の目的・目標が理解できたか			○						
技術は身についたか			○						
参加状況	7人	参加者について	準備・整理運動を理解し実施したか	○					
			コメント						
事業の概要	(簡潔に記入)	指導者について	説明はわかりやすく適切であったか	○					
			指導方法、内容は適切であったか	○					
指導者の数、位置は適切であったか	○								
参加者に対する配慮は適切であったか	○								
・評価できる点	参加者の年齢や経験の有無を踏まえ、それぞれに適切な対応ができていました。	安全について	コメント						
			企画段階を含め安全について考慮したか	○					
既往症・健康状態をチェックしたか						○			
参加者の体力にあった活動をさせたか			○						
・次回への改善点	参加者を増やすために、開催日や季節を再考する必要があると考えました。	安全について	気象状況などを考慮したか		○				
			コメント						
・その他	申込時に既往症の有無の項目を増やしてほしいと思います。		施設について	実施前に施設をチェックしたか	○				
				施設・用具のチェックをしたか	○				
施設の管理責任者を把握していたか	○								
施設・用具の破損をチェックしたか				○					
		コメント							

事業実施報告書

報告者（ 中島 順子 ）

提出日 令和5年11月1日

事業名	内部研修「ボッチャ講習会」	事業の評価 (該当欄に○印を記入 該当のない場合は―を記入)					
目的・目標	府中市のボッチャの普及のため、審判ができるスポーツ推進委員を増やすことを目的とし、そのために基本的ルールを再確認し、審判の精度を上げることを目標とする	所見	評価項目	十分	ほぼ十分	普通	やや不十分
実施日時	令和5年10月21日（土） 15時半～17時半	企画について	目的・目標は適切だったか		○		
会場	市民陸上競技場 審判員室		曜日・時間・期間は適切だったか			○	
担当スポーツ推進委員	研修部		事前の打ち合わせは十分であったか			○	
指導者	千葉県ボッチャ協会 宮坂 昇氏		地域社会との連携は良かったか				
参加状況	推進委員:石田、大竹、岸、木村、下島、鈴木、瀬戸口、成田、濱田、元山、渡邊、中島 事務局:目黒課長、山本係長、大久、三枝	参加者について	コメント 内容や日程等が二転三転してしまった				
事業の概要	(簡潔に記入)		対象者・人数は適切だったか		○		
・事業の雰囲気	簡単な座学の後、チームに分かれて実際にゲームを進めながらルールや審判のやり方を習得していった。		事業の目的・目標が理解できたか		○		
・評価できる点	ゲーム形式で実践していく中で、疑問点があればすぐ質問できたのが良かった。指導者の豊富な経験を聞くことで様々なケーススタディができたと思う。		技術は身についたか		○		
・次回への改善点	審判をするにあたり知っておくべき有意義な内容だったので、当日欠席の委員とも情報共有できればいい。	指導者について	準備・整理運動を理解し実施したか				
・その他			コメント 研修部以外の委員にも多く参加してもらえてよかった				
			説明はわかりやすく適切であったか		○		
			指導方法、内容は適切であったか		○		
		安全について	指導者の数、位置は適切であったか		○		
			参加者に対する配慮は適切であったか		○		
			コメント 指導に慣れていて適切なアドバイスを受けられた				
			企画段階を含め安全について考慮したか			○	
		施設について	既往症・健康状態をチェックしたか				
			参加者の体力にあった活動をさせたか			○	
			気象状況などを考慮したか			○	
			コメント 室内なので雨天でも決行可能なのは安心だった				
		施設・用具について	実施前に施設をチェックしたか			○	
			施設・用具のチェックをしたか			○	
			施設の管理責任者を把握していたか			○	
			施設・用具の破損をチェックしたか			○	
			コメント スペース的に狭いのではと心配したが特に問題なかった				

事業実施報告書

報告者（ 深津 康人 ）

提出日 令和 5年 10月 25日

事業名	ボッチャ教室	事業の評価 (該当欄に○印を記入 該当のない場合は―を記入)					
目的・目標	障がい者スポーツへの理解を深め、障害のあるなしに関わらず一緒にスポーツを楽しんでもらう事を目的とする	所見	項目	十分	やや十分	普通	やや不十分
実施日時	令和5年10月22日午前10時00分～11時30分	企画について	目的・目標は適切だったか		○		
会場	押立体育館		曜日・時間・期間は適切だったか		○		
担当スポーツ推進委員	事業部・深津・吉岡		事前の打ち合わせは十分であったか				○
指導者	石田委員		地域社会との連携は良かったか				○
参加状況	事務局 一般参加者 鈴木委員 中島委員 木村委員	参加者について	コメント チラシの有効活用が出来ていなかった。				
事業の概要	(簡潔に記入)		対象者・人数は適切だったか				○
・事業の雰囲気	分かりやすい解説だった。 参加者が少なかったのが幸し、ゲームを多くできた。		事業の目的・目標が理解できたか		○		
・評価できる点	アットホームな雰囲気だった		技術は身についたか		○		
・次回への改善点	告知方法、告知時期の検討が必要と感じた。 チラシは、置くだけではなくイベントで手渡すことも必要？	安全について	準備・整理運動を理解し実施したか		○		
・その他			コメント 少なかったので戦術話せた				
			説明はわかりやすく適切であったか		○		
			指導方法、内容は適切であったか		○		
		施設・用具について	指導者の数、位置は適切であったか		○		
			参加者に対する配慮は適切であったか		○		
			コメント 丁寧に対応していた。				
			企画段階を含め安全について考慮したか			○	
		施設・用具について	既往症・健康状態をチェックしたか			○	
			参加者の体力にあった活動をさせたか			○	
			気象状況などを考慮したか			○	
			コメント 良好				
		施設・用具について	実施前に施設をチェックしたか			○	
			施設・用具のチェックをしたか			○	
			施設の管理責任者を把握していたか			○	
			施設・用具の破損をチェックしたか			○	
			コメント 問題なし				

事業実施報告書

報告者（元山 薫）

提出日 令和5年12月6日

事業名	令和5年度 コミスポ協力者研修会（ポッチャ研修会）	事業の評価 (該当欄に○印を記入 該当のない場合は―を記入)						
		所見	評価項目	十分	ほぼ十分	普通	やや不十分	不十分
目的・目標	12月2日ポッチャ大会に向けてルール確認と技術、知識を学ぶ	企画について	目的・目標は適切だったか		○			
実施日時	令和5年11月17日（金）19時00分～20時30分		曜日・時間・期間は適切だったか				○	
会場	府中市中央文化センター 会議室		事前の打ち合わせは十分であったか			○		
			地域社会との連携は良かったか			○		
		コメント コミスポ協力者が6名の参加でしたが、夜は厳しかった。						
担当スポーツ推進委員	研修部（元山）	参加者について	対象者・人数は適切だったか		○			
			事業の目的・目標が理解できたか		○			
指導者	千葉県ポッチャ協会 宮坂 昇氏		技術は身についたか		○			
			準備・整理運動を理解し実施したか		○			
参加状況	委員：深津・大竹・石田・小谷田・鈴木・岸・中島・渡邊・元山、コミスポ協力者6名、事務局：目黒課長・塚本課長補佐・山本係長・大久・三枝	指導者について	コメント					
事業の概要	(簡潔に記入)		説明はわかりやすく適切であったか		○			
			指導方法、内容は適切であったか		○			
			指導者の数、位置は適切であったか		○			
		参加者に対する配慮は適切であったか		○				
		コメント						
・評価できる点	座学だけではなく、試合の中で実際にルールの確認ができた。	安全について	企画段階を含め安全について考慮したか			○		
			既往症・健康状態をチェックしたか			○		
			参加者の体力にあった活動をさせたか		○			
			気象状況などを考慮したか		○			
		コメント						
・次回への改善点	ポッチャ大会の前に何回が講習ができれば良いと思いました。実際に大会参加者の技術があがっているので、自信をもって審判をできるようにしたい。	施設について ・ついでに	実施前に施設をチェックしたか			○		
			施設・用具のチェックをしたか			○		
			施設の管理責任者を把握していたか			○		
			施設・用具の破損をチェックしたか			○		
		コメント						
・その他								

事業実施報告書

報告者（濱田 輝之）

提出日 令和6年2月29日

事業名		事業の評価 (該当欄に○印を記入 該当のない場合は―を記入)											
目的・目標	多くの市民が集うけやき並木・フォーリスにて老若男女を問わず、ニュースポーツ(ポッチャ、バグジー、ラダーゲッター、輪投げ、スタッキング)を紹介して体験してもらうことで、スポーツに興味を持ってもらう。	所見	評価項目	十分	ほぼ十分	普通	やや不十分	不十分					
実施日時	令和6年2月3日(土) 10時～15時	企画について	目的・目標は適切だったか		○								
会場	フォーリス前広場、フォーリス内 風の広場		曜日・時間・期間は適切だったか	○									
担当スポーツ推進委員	深津委員、濱田委員		事前の打ち合わせは十分であったか		○								
			地域社会との連携は良かったか		○								
		コメント											
		指導者	スポーツ推進委員：大竹、鴻巣、石田、下島、小谷田 コミスポリーダー・ボランティア：佐藤、五日市、須藤、小川	対象者・人数は適切だったか		○							
事業の目的・目標が理解できたか					○								
技術は身についたか					○								
準備・整理運動を理解し実施したか					○								
参加状況	計：819名	参加者について	コメント 親子(小学生以下)連れが多かった										
事業の概要	(簡潔に記入)		説明はわかりやすく適切であったか		○								
			指導方法、内容は適切であったか		○								
			指導者の数、位置は適切であったか				○						
		参加者に対する配慮は適切であったか			○								
・事業の雰囲気	晴天の中、節分での神社参拝後の親子連れの方を中心に多くの方に参加いただき、どの種目も最初から最後まで盛況だった。	指導者について	コメント 参加者に楽しんでもらう対応ができていた。										
			・評価できる点	通りすがりの方でも気軽に参加でき、いろいろなニュースポーツを楽しんでもらう機会を提供できた。	安全について	企画段階を含め安全について考慮したか		○					
						既往症・健康状態をチェックしたか			○				
						参加者の体力にあった活動をさせたか		○					
気象状況などを考慮したか		○											
・次回への改善点	参加に対する運営側の指導者数が少なく、体力的に厳しい状況であった。今回はスタッキングが加わったが、今後は他の種目の紹介やスポーツ普及の広報活動も織り交ぜていくとさらに充実したイベントになるのではないかと考えられた。	施設について・ついでに	コメント 安全に対する配慮は問題なかった。										
			実施前に施設をチェックしたか		○								
			施設・用具のチェックをしたか		○								
			施設の管理責任者を把握していたか		○								
・その他	特になし	施設について・ついでに	施設・用具の破損をチェックしたか		○								
			コメント 今回新たに加えたスタッキングは好評であった。										

事業実施報告書

報告者（ 岸 優子 ）

提出日 令和6年2月4日

事業名		事業の評価 (該当欄に○印を記入 該当のない場合は―を記入)						
目的・目標	各市スポーツ推進員の交流及びラウンドネットの体験を通して新しいスポーツも広めていく目的	所見	評価項目	十分	ほぼ十分	普通	やや不十分	不十分
実施日時	令和6年2月4日(日) 9時半～12時	企画について	目的・目標は適切だったか	○				
			曜日・時間・期間は適切だったか	○				
			事前の打ち合わせは十分であったか	○				
会場	東京競馬場日吉体育館	参加者について	地域社会との連携は良かったか					○
			コメント 近隣住民と駐車場でトラブルあり。以後気をつける。					
担当スポーツ推進委員	岸、下島	参加者について	対象者・人数は適切だったか	○				
			事業の目的・目標が理解できたか	○				
指導者	ラウンドネットジャパン代表理事 佐藤太一	参加者について	技術は身についたか	○				
			準備・整理運動を理解し実施したか					
参加状況	石田、大竹、木村、下島、鈴木、瀬戸口、古口、濱田、元山、岸、井上、中島、鴻巣、小谷田、目黒課長、山本係長、大久、三枝	指導者について	コメント					
			説明はわかりやすく適切であったか	○				
事業の概要	(簡潔に記入)	指導者について	指導方法、内容は適切であったか	○				
			指導者の数、位置は適切であったか	○				
			参加者に対する配慮は適切であったか	○				
・事業の雰囲気	練習の時に講師の先生が、上手く打てるポイントを要所要所指導してくれたので、皆上達するのが早かった。 練習試合では、ミスしても前向きな気持ちで指導してくれたので、プレッシャーがかからず楽しめた。	安全について	コメント 4人とも明るく元気で好印象だった。					
			企画段階を含め安全について考慮したか		○			
・評価できる点	寒い体育館でも身体が温まるほど運動量はあった。チームは三市混ぜ合わせた編成だったので、そこで他市とのコミュニケーションはとれたと思う。	安全について	既往症・健康状態をチェックしたか			○		
			参加者の体力にあった活動をさせたか		○			
			気象状況などを考慮したか			○		
・次回への改善点	受付の出欠の名簿は担当者が作成する。 全体的な声かけは時間に余裕を持つようにする。 受付の準備に時間がかかってしまい、待たせてしまったので受付担当の人数を増やした方がいいと思った。(2名から4名に)	施設について	コメント 室内なので雨天でも決行可能なのは安心だった					
			実施前に施設をチェックしたか	○				
			施設・用具のチェックをしたか	○				
・その他		施設について	施設の管理責任者を把握していたか	○				
			施設・用具の破損をチェックしたか	○				
			コメント ネットは講師の方たちが持参してくれた					

事業実施報告書

報告者（ 渡辺朋子 ）

提出日 令和6年3月28日

事業名		参加者の健康							
目的・目標		所見	評価項目		十分	ほぼ十分	普通	やや不十分	不十分
年齢や性別を問わず、体力に自信のない方や、運動の苦手な方でも自分のペースで楽しめる、ノルディックウォーキングを通じて参加者の健康増進や体力維持、ストレス解消などの効果を期待する。			目的・目標は適切だったか		○				
実施日時	令和6年3月28日（木） 10時～12時	企画について	曜日・時間・期間は適切だったか		○				
			事前の打ち合わせは十分であったか		○				
会場	市民陸上競技場	参加者について	地域社会との連携は良かったか			○			
			コメント 次回もこの時期に行いたい。						
担当スポーツ推進委員	石田、鴻巣、小谷田、鈴木、濱田、吉岡、渡邊	参加者について	対象者・人数は適切だったか			○			
			事業の目的・目標が理解できたか		○				
指導者	日本ノルディックウォーキング協会上級講師 齋藤由美子	参加者について	技術は身についたか		○				
			準備・整理運動を理解し実施したか		○				
参加状況	府中市民 40～70代の男女19名（申し込み27名）		コメント 当日の欠席が多かった。						
事業の概要（簡潔に記入）	委員の準備や司会、講師の進め方が適格で、初心者にも入りやすい雰囲気作りができ、どなたもしっかりと取り組まれていた。	指導者について	説明はわかりやすく適切であったか		○				
			指導方法、内容は適切であったか		○				
・事業の雰囲気		参加者について	指導者の数、位置は適切であったか		○				
			参加者に対する配慮は適切であったか		○				
・評価できる点	準備体操、用具の使い方から入り、段取り良く、かつ笑いを織り交ぜながら、楽しい講習会を演出出来た点。かけっこ教室とうまくスペースを分けて使えた点。	安全について	コメント 委員の資格保持者のサポート協力が適格で良かった。						
			企画段階を含め安全について考慮したか		○				
・次回への改善点	陸上競技場トラック内までのアクセス、分かりやすい地図があると便利。参加者の名刺は、前もって作成しておけると尚良い、広報の記載、ノルディックウォーキングと言う概念の無い方が読むことも考慮の上、ボールを使ってらくらくウォーキングなど、イメージ出来る表記に。	安全について	既往症・健康状態をチェックしたか			○			
			参加者の体力にあった活動をさせたか		○				
・その他	トラックと芝の境界が段差あり、転倒の危険性も。	安全について	気象状況などを考慮したか		○				
			コメント トラック内の段差が気になり、声掛けを怠らなかった。						
・その他	トラックと芝の境界が段差あり、転倒の危険性も。	施設について	実施前に施設をチェックしたか		○				
			施設・用具のチェックをしたか			○			
・その他	トラックと芝の境界が段差あり、転倒の危険性も。	施設について	施設の管理責任者を把握していたか					○	
			施設・用具の破損をチェックしたか			○			
		施設について	コメント 現状復帰を意識して会場設営するよう心がけた。						

事業実施報告書

報告者（吉岡 大翼）

提出日 令和6年4月1日

事業名	かけっこ教室「走るって楽しい♪」	事業の評価 (該当欄に○印を記入 該当のない場合は―を記入)						
目的・目標	スポーツの基本である走る技術と練習方法を学び、走ることの楽しさを体感してもらい、今後のスポーツ活動に役立てることを目的に実施する	所見	評価項目	十分	ほぼ十分	普通	やや不十分	不十分
実施日時	令和6年3月28日(木) ①10時00分～12時00分 ②13時00分～15時00分	企画について	目的・目標は適切だったか		○			
会場	府中市民陸上競技場		曜日・時間・期間は適切だったか		○			
			事前の打合わせは十分であったか		○			
担当スポーツ推進委員	鴻巣・濱田・吉岡・鈴木・石田・小谷田・渡邊・井上	地域社会との連携は良かったか		○				
		コメント						
指導者	Grow Sports 講師2名(船場・小坪)	参加者について	対象者・人数は適切だったか		○			
			事業の目的・目標が理解できたか		○			
参加状況	募集:①小学3～4年生 ②小学5～6年生 各30名 参加:①24名 ②19名	参加者について	技術は身についたか		○			
			準備・整理運動を理解し実施したか		○			
事業の概要	(簡潔に記入)	指導者について	コメント 参加者同士で協力しながら実施できた					
			説明はわかりやすく適切であったか		○			
・事業の雰囲気	午前中は多少の降雨が見られ、1日を通して気温も例年よりは低かったが子供たちは楽しく身体を動かし、楽しみながら走り方を習得していた	指導者について	指導方法、内容は適切であったか		○			
			指導者の数、位置は適切であったか		○			
・評価できる点	学年別に午前・午後に分かれて実地できたので、学年に合わせた練習内容であった。高学年はより頭を使い考えながらのメニューもあり終始子供たちの笑顔であった	安全について	参加者に対する配慮は適切であったか		○			
			コメント 走る技術だけでなく、楽しみながら体を動かし実施できる内容だった					
・次回への改善点	午前中はノルディックウォーキング教室と同会場での実施だったので導線の確認や注意をした。 年度末のためか新学年での申し込みがあった	安全について	企画段階を含め安全について考慮したか		○			
			既往症・健康状態をチェックしたか		○			
・その他	実施後アンケートなどがあると、もっとフィードバックできると感じた	安全について	参加者の体力にあった活動をさせたか		○			
			気象状況などを考慮したか		○			
		施設について	コメント 雨天の場合は体育館で実施として準備できていた					
			実施前に施設をチェックしたか		○			
		施設について	施設・用具のチェックをしたか		○			
			施設の管理責任者を把握していたか			○		
		用具について	施設・用具の破損をチェックしたか		○			
			コメント 備品はGrow Sports保有の物を使用					

研 修 等 参 加 報 告 書

報告者（ 鴻巣 裕司 ）

提出日 令和5年7月3日

研 修 等 名	関東スポーツ推進委員研究大会群馬大会	参 加 の 評 価 （該当欄に○印を記入）						
目的・テーマ	大会テーマ「群雄であれ」 【パネルディスカッション】 新たな時代における地域スポーツの普及について	所見	評 価 項 目	十分	ほぼ十分	普通	やや不十分	不十分
主 催 ・ 主 管	公社）全国スポーツ推進委員連合・関東スポーツ推進委員協議会、群馬県スポーツ推進委員協議会	事前に前準備	テーマについて事前に学習したか 課題や問題点を持って望んだか 時間に余裕を持って参加したか			○		
開 催 日 時	令和5年6月9日（金）13時30分～16時00分	受講して	十分に理解できたか 課題や問題点は解決できたか 今後の活動に役立つか また参加したいと思えたか			○		
会 場	ALSOKぐんま総合スポーツセンターアリーナ	企画について	時間配分は適切であったか 目的・テーマに沿った展開であったか 資料はわかりやすく用意されていたか 会場、参加人数は適切であったか		○			
全体参加状況	1,573名	その他	他地区の参加者と交流できたか 会場のアクセスは適切であったか		○		○	
参 加 者 名	大竹委員、鴻巣委員	受講所感	内容について、スポーツ推進員のパネリストの方々の話は、テーマに沿っているかどうか今一つ共感できることが少なく、また話が長く理解が難しく、群馬エリアに関する特有の話のように感じてしまった。 プロバスケットチームの話は、もっと深掘して話を広げて活動方法など話を伺えれば、テーマに沿ったパネルディスカッションになったと思われる。					
研修の概要（日程・内容・講師名 など）								
◆パネルディスカッション： コーディネーター：菅谷 美沙都（上武大学 ビジネス情報学部 講師） パネリスト： ・蜂須 聖司（群馬県スポーツ推進委員協議会会長） ・設楽 政江（群馬県スポーツ推進委員協議会副会長） ・大塚俊（3人制プロバスケットチーム MINAKAMI TOWN EXE.） ◆内容： テーマ「新たな時代における地域スポーツの普及について」について ①新たな時代に向けての第一歩として、コロナ前と同じ状態に戻すためには ②スポーツ推進委員の人材不足に対応するためには ③スポーツ推進委員の活動と、市町村行政との連携・協働について ④地域スポーツの定着と活動を通じての地域の活性化について								

研 修 等 参 加 報 告 書

報告者（ 下島 博美 ）

提出日 令和5年6月26日

研 修 等 名	東京都 令和5年度 初任者講習会	参 加 の 評 価 （該当欄に○印を記入）						
目的・テーマ	令和4・5年度の新任及び経験5年程度のスポーツ推進委員に向けて、スポーツ推進委員としての役割や意義など、スポーツ推進委員の基礎を学び、今後の活動に向けての基礎研修。	所見	評 価 項 目	十分	ほぼ十分	普通	やや不十分	不十分
主 催 ・ 主 管	（一社）東京都スポーツ推進委員協議会	事前に前準備	テーマについて事前に学習したか 課題や問題点を持って望んだか 時間に余裕を持って参加したか		○			
開 催 日 時	令和5年6月24日（土）10時00分～12時00分	受講して	十分に理解できたか 課題や問題点は解決できたか 今後の活動に役立つか また参加したいと思えたか		○	○		
会 場	新宿区スポーツセンター（西早稲田）	企画について	時間配分は適切であったか 目的・テーマに沿った展開であったか 資料はわかりやすく用意されていたか 会場、参加人数は適切であったか		○			
全体参加状況	初任者：19区市委員 合計44名、事務局：12名	その他	他地区の参加者と交流できたか 会場のアクセスは適切であったか		○	○		
参 加 者 名	下島	受講所感	スポーツ推進委員の成り立ち・役割を理解する事ができ、立ち位置がどこにあるのか把握できた。また、本来の目的に対してへの課題も、他の地域委員と共有でき、他の地区委員との交流は定期的に必要と感じた。第九ブロック委員の方は、小金井市の三枝研修部長と交流ができました。					
研修の概要（日程・内容・講師名 など）								
1. 講習：スポーツ推移委員ハンドブックに沿って、スポーツ推進委員の意味と役割について研修 （1）スポーツ推進委員の制度（ハンドブックP1～P21） （2）スポーツ推進委員の組織（ハンドブックP50～P69） （3）生涯スポーツ推進とスポーツ推進委員（ハンドブックP72～P86） （4）スポーツにおけるリスクマネジメント（ハンドブックP127～P134） （5）総合型地域スポーツクラブ（ハンドブックP87～P97） 2. ディスカッション：今回の講習会を受けて、グループ毎に話し合い発表 （新宿区：佐藤・荒木・栗原、練馬区：中村、西東京市：片桐、府中市：下島）								

研 修 等 参 加 報 告 書

報告者（ 元山 薫 ）

提出日 令和5年7月3日

研 修 等 名	令和5年度 ニュースポーツ研修会	参 加 の 評 価 （該当欄に○印を記入）							
目的・テーマ	ラウンドネット ネットとボールがあれば屋内・屋外問わず手軽に始められ、体格の差も気にせず楽しめるスポーツ	所見	評 価 項 目	十分	ほぼ十分	普通	やや不十分	不十分	
主 催 ・ 主 管	一般社団法人 東京都スポーツ推進委員協議会・東京都	事前に前つ準備	テーマについて事前に学習したか			○			
			課題や問題点を持って望んだか			○			
			時間に余裕を持って参加したか		○				
開 催 日 時	令和5年7月1日（土）13時00分～15時20分	受講して	十分に理解できたか		○				
会 場	四谷スポーツスクエア B2F 多目的ホール		課題や問題点は解決できたか		○				
	全体参加状況		約50名	今後の活動に役立つか		○			
			また参加したいと思えたか		○				
参 加 者 名	元山	企画について	時間配分は適切であったか		○				
研 修 の 概 要 （日程・内容・講師名 など）	1.開校式 13:00～13:10 (1)あいさつ 東京都 一般社団法人 東京都スポーツ推進委員協議会 島田 康子副会長 (2)スケジュール説明・講師紹介 2.講義・実技 13:10～15:10 ◇全体テーマ「ラウンドネット」 ○ラウンドネットについての基礎知識（歴史・ルール・環境） ○ゲーム進行などについての講義 ○ゲーム体験 ○質疑応答 ◇【講師】ラウンドネットジャパン代表理事 兼 ラウンドネット湘南代表 佐藤 太一 様 補助員 3名 3.閉校式 15:10～15:20 ◇閉会の辞 一般社団法人 東京都スポーツ推進委員協議会 塩崎 智浩副研修委員長		目的・テーマに沿った展開であったか		○				
			資料はわかりやすく用意されていたか		○				
			会場、参加人数は適切であったか		○				
		その他							
		他地区の参加者と交流できたか		○					
		会場のアクセスは適切であったか		○					
		受 講 所 感	アメリカで誕生し、現在日本では500万人がオリンピック競技にすることを目標に活動をしている。ネットとボールがあればどこでもでき、本来は2対2で対戦しますが、3対3でも可能であり、ルールも老若男女が楽しめるようにバリエーションを持たせる事もできるのが魅力。バレーボール、卓球、バトミントンなどの要素もある競技。エンゼルスの大谷翔平選手もウオーミングアップで使用していたそうです。実際に体験をしてみて競技としてハードにもなるし、コミュニケーションもとれるニュースポーツだと感じた。						

研 修 等 参 加 報 告 書

報告者（ 井上 由佳子 ）

提出日 令和5年8月30日

研 修 等 名	令和5年度 課題別研修会	参 加 の 評 価 （該当欄に○印を記入）							
目的・テーマ	全体テーマ 「学校部活動の地域連携・地域以降に関するスポーツ推進委員の関わり方」	所見	評 価 項 目	十分	ほぼ十分	普通	やや不十分	不十分	
主 催 ・ 主 管	一般社団法人 東京都スポーツ推進委員協議会・東京都	事前に前つ準備	テーマについて事前に学習したか				○		
			課題や問題点を持って望んだか			○			
			時間に余裕を持って参加したか		○				
開 催 日 時	令和5年8月26日（土）12時30分～15時40分	受講して	十分に理解できたか		○				
会 場	主婦会館 プラザエフ9F会議室「スズラン」		課題や問題点は解決できたか			○			
	全体参加状況		都スポ協10名 区市町村スポーツ推進委員81名	今後の活動に役立つか		○			
			また参加したいと思えたか		○				
参 加 者 名	元山、濱田、井上	企画について	時間配分は適切であったか		○				
研 修 の 概 要 （日程・内容・講師名 など）	12:30～ 受付 13:00～ 開校式 あいさつ 東京都生活文化スポーツ局 スポーツ総合推進部 地域スポーツ振興担当課長 前原 淳 一般社団法人 東京都スポーツ推進委員協議会 会長 新島 二三彦 スケジュール説明 13:10～ 講演 及び グループワーク 第一部 「公立中学校における部活動の地域連携・地域移行について」 東京都教育庁指導部 主任指導主事（部活動振興担当 大村賢治） 第二部 設定テーマでのグループワーク&発表 第三部 質疑応答 15:30～ 閉校式		目的・テーマに沿った展開であったか		○				
			資料はわかりやすく用意されていたか		○				
			会場、参加人数は適切であったか		○				
		その他							
		他地区の参加者と交流できたか		○					
		会場のアクセスは適切であったか		○					
		受 講 所 感	令和4年12月に、スポーツ庁・文化庁は「学校部活動及び地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を策定し、学校部活動の地域連携や地域活動移行について、令和5年から7年度の3年間を改革推進機関と位置づけ、推進計画を示しているということだった。それを踏まえて、スポーツ推進委員として、早期に、その推進計画を理解し、何ができるのか、課題は何かを考える機会となった。						

研 修 等 参 加 報 告 書

報告者（ 瀬戸口 幸則 ）

提出日 令和5年9月10日

研 修 等 名	令和5年度 東京都スポーツ推進委員研修会 「広域地区別研修会（第9ブロック）」	参 加 の 評 価 （該当欄に○印を記入）						
目的・テーマ	趣 旨 委員活動に関する諸問題の解決の方策を探る、スポーツ推進委員の資質の向上を図と共に、広域的な連携協調を図り、地域スポーツ振興のあり方を考える。 テーマ 「誰でもできる新しい運動」 ～各地域のアイデアを盛り込んだ運動～	所見	評 価 項 目	十分	ほ 十 ぼ 分	普 通	や 不 や 十 分	不 十 分
主 催 ・ 主 管	主催：東京都・（一社）東京都スポーツ推進委員協議会 共催：調布市 主管：調布市スポーツ推進委員会	事前準備	テーマについて事前に学習したか 課題や問題点を持って望んだか 時間に余裕を持って参加したか		○ ○ ○			
開 催 日 時	令和5年9月9日（土）13時30分～18時00分 （開会：13:30～ 第1部:13:45～ 第2部:16:30～ ）	受講して	十分に理解できたか 課題や問題点は解決できたか 今後の活動に役立つか また参加したいと思えたか		○ ○ ○ ○			
会 場	調布市文化会館たづくり 第1部 くすのきホール、第2部 大会議場	企画について	時間配分は適切であったか 目的・テーマに沿った展開であったか 資料はわかりやすく用意されていたか 会場、参加人数は適切であったか		○ ○ ○ ○			
全体参加状況 （申込時点）	武蔵野市:22名、三鷹市:25名、府中市:23名、調布市:23名、小金井市:15名、国分寺市:7名、狛江市:14名（行政を含む）	その他	他地区の参加者と交流できたか 会場のアクセスは適切であったか		○ ○			
参 加 者 名	石田、井上、大竹、岸、木村、鴻巣、古口、小谷田、下島、鈴木、瀬戸口、中川、中島、成田、濱田、深津、元山、吉岡、渡邊 各委員 目黒課長、塚本課長補佐、大久事務職員、三枝事務職員	受 講 所 感 第9ブロックとしては、初めての試みとなる、発表を全て動画にするということで、各市の努力の跡が垣間見える仕上がりだった。動画ならではの表現も随所にあった。動画作成には、時間と労力が必要となるが、同じ場所で同じ物と一緒に見ることができるという利点は大きい。参加者のことを考える、楽しくする、特性に合わせる、そのためにはモノ・ヒト・場所・ルールの工夫が必要という、講師の言葉があった。「誰でもが楽しめる」ということの、前提となる大事な言葉と再認識できた。また、トライ＆エラーにより、ブラッシュアップしていくことが大切であることも再認識できた。						
研 修 の 概 要 （日程・内容・講師名 など）	司会 井 幡 明 男 調布市スポーツ推進委員会副会長 【開会式】挨拶 田 中 健 調布市副市長 岡 田 真由美（一財）東京都スポーツ推進委員協議会副会長 澤 江 幸 則 筑波大学体育系准教授（講師） 【第1部】各市動画発表（動画7分、講評2分、質疑応答5分） テーマ「誰でもできる新しい運動」～各地域のアイデアを盛り込んだ運動～ 小金井市「モルック」、国分寺市「コロナ禍でチャレンジしたこと」、狛江市「自分のペースで ゆっくりと」、武蔵野市「プロジェクトM」、三鷹市「イテオシニュースポーツ」、府中市「府中市30秒チャレンジ」、調布市「からだをうごかそう」 講師講評 澤江 幸則 筑波大学体育系准教授 閉会 原 寿史調布市スポーツ推進委員会副会長 【第2部】情報交換会 司会 加 藤 輝 行 調布市スポーツ推進委員会委員 挨拶 小 柳 邦 法 調布市生活文化スポーツ部スポーツ振興課長 乾杯 岡 田 真由美 都スポ協副会長、7市委員（協議会）会長 引継ぎ式 清水 良夫 調布市スポーツ推進委員会会長 挨拶 長谷川 嘉 子 小金井市スポーツ推進委員会会長 【閉会式】挨拶 西 嶋 大 調布市スポーツ推進委員会副会長							

研 修 等 参 加 報 告 書

報告者（ 石田 宜久 ）

提出日 令和5年11月24日

研 修 等 名	第64回全国スポーツ推進委員研究協議会 青森大会（全体会）	参 加 の 評 価 （該当欄に○印を記入）						
目的・テーマ	スポーツで煌めく笑顔のために ～青い森から縄文の風に乗って全国へ～ をテーマに全国スポーツ推進委員が一堂に会し、スポーツ推進委員の目指す方向や地域スポーツの今日的な課題について研究協議し、スポーツ推進委員の資質向上を図るとともに、生涯スポーツの振興に資する	所見	評 価 項 目	十分	ほ 十 ぼ 分	普 通	や 不 や 十 分	不 十 分
主 催 ・ 主 管	スポーツ庁（公社）全国スポーツ推進委員連合会 青森県教育委員会 青森県スポーツ推進委員協議会 青森市 青森大会実行委員会	事前準備	テーマについて事前に学習したか 課題や問題点を持って望んだか 時間に余裕を持って参加したか		○ ○ ○			
開 催 日 時	令和5年11月16日（木）12時00分～16時55分	受講して	十分に理解できたか 課題や問題点は解決できたか 今後の活動に役立つか また参加したいと思えたか		○ ○ ○ ○			
会 場	リンクステーション青森	企画について	時間配分は適切であったか 目的・テーマに沿った展開であったか 資料はわかりやすく用意されていたか 会場、参加人数は適切であったか		○ ○ ○ ○			○
全体参加状況	2, 839人（参加名簿）	その他	他地区の参加者と交流できたか 会場のアクセスは適切であったか		○ ○			
参 加 者 名	瀬戸口 石田	受 講 所 感 青森駅より徒歩20分程度のアクセスの良い会場にて開催されたが、一部の地域の参加者はサテライト参加となってしまう、会議室から映像を通しての参加となった。講演では福士氏による「なんとなく始まった競技人生」から始まり、陸上競技界にて選手・恩師の存在、そして現役後の活動と様々な立場での経験とその時の考え方を聞いたのは大変勉強になった。シンポジウムでは、コロナ禍によるスポーツの個人化への進みや、総合型スポーツクラブの登録・認証制度や学校運動部活動の地域移行の動きなど、変容しつつある地域スポーツの仕組みをめぐる課題や期待について、考えさせられる内容だった。						
研 修 の 概 要 （日程・内容・講師名 など）	12:00 歓迎アトラクション 青森県立青森工業高等学校 ねぶた部 青森ねぶた囃子 五所川原第一高等学校 津軽三味線部 津軽三味線演奏 12:30 開会式・表彰式 13:40 基調講演 演題「笑って走れば福来たる～私が笑顔で走り続けてきた理由～」 講師 福士加代子 氏（女子陸上競技オリンピック4大会連続出場） 15:20 スポーツ庁からの情報提供 15:35 シンポジウム テーマ「コロナ禍を越えたコミュニティスポーツの新しいかたち」 コーディネーター 石澤伸弘 氏（北海道教育大学札幌校教授） シンポジスト 村山敏夫 氏（新潟大学人文教育科学系准教授） 伊藤恵造 氏（秋田大学教育文化学部准教授） 目澤伸一 氏（青森県スポーツ推進委員協議会会長）							

研 修 等 参 加 報 告 書

報告者（ 瀬戸口 幸則 ）

提出日 令和5年12月6日

研 修 等 名	第 6 4 回全国スポーツ推進委員研究協議会青森大会（第1分科会）	参 加 の 評 価 （該当欄に○印を記入）						
目的・テーマ	大会テーマ 「スポーツで煌く笑顔のために」 ～青い森から縄文の風に乗って全国へ～ 全国のスポーツ推進委員が一同に会し、委員の目指す方向や地域スポーツの今日的な課題について研究協議し、スポーツ推進委員の資質向上を図るとともに、生涯スポーツの振興に資する。	所見	評 価 項 目	十分	ほぼ十分	普通	やや不十分	不十分
主 催 ・ 主 管	主催：スポーツ庁、公益社団法人全国スポーツ推進委員連合、青森県スポーツ推進委員協議会、青森県教育委員会、青森市	事前に前準備	テーマについて事前に学習したか		○			
			課題や問題点を持って望んだか		○			
			時間に余裕を持って参加したか	○				
開 催 日 時	令和5年11月17日（金）9時45分～11時45分	受講して	十分に理解できたか		○			
会 場	リンクステーションホール青森		課題や問題点は解決できたか			○		
全体参加状況	1, 435名（申し込み者数）		今後の活動に役立つか		○			
			また参加したいと思えたか		○			
参 加 者 名	瀬戸口 幸則	企画について	時間配分は適切であったか			○		
			目的・テーマに沿った展開であったか		○			
			資料はわかりやすく用意されていたか			○		
			会場、参加人数は適切であったか		○			
		その他	他地区の参加者と交流できたか			○		
			会場のアクセスは適切であったか			○		
研修の概要（日程・内容・講師名 など） ○第1分科会 テーマ「スポーツが高齢社会で実現できること」 スポーツの実施率の向上による健康寿命の延伸は益々重要な政策課題となっており、第3期スポーツ基本計画の重要な柱となっています。また、人生100年時代における高齢者の健康増進を支える仕組みづくり検討は、高齢者の新しい地域生活の提案でもあります。 そこで、本分科会では、高齢者の豊かな地域生活を支える健康づくりの仕組みや運動・スポーツとのかかわり方について意見交換をするとともに、スポーツ推進委員の取り組むべき課題を探ります。 ○コーディネーター 村山 敏夫 氏（新潟大学人文社会教育化学系 准教授） ○発 表 ・「われ 黄昏に 虹を追う 韋駄天遺伝子 眼を醒ませ！ 60歳からの素人ランナー 30年」 田中 博男 氏（青森マスタース陸上競技連盟顧問） ・「私のスケート人生」 河原木 浩 氏（青森県スケート連盟副会長） ・「老人クラブとスポーツ」 五戸 英樹 氏（公益財団法人青森県老人クラブ連合会 常務理事・事務局長）		受講所感 田中博男氏は、マスタース陸上世界記録保持者、河原木浩氏は、全日本マスターススピードスケート銀メダリストで、ご自身のアスリート人生を語られていました。 五戸英樹氏は、老人会の成り立ちから必要性について説明されていました。シニア・スポーツが、健康のためだけではなく、つながりを持てる機会であることが印象的でした。 私事ですが、全体会の表彰式で、(公社)全国スポーツ推進委員連合より、スポーツ推進委員功労者表彰をいただきました。事務局の皆様感謝申し上げます。						

研 修 等 参 加 報 告 書

報告者（ 石 田 宣 久 ）

提出日 令和5年11月24日

研 修 等 名	第 6 4 回全国スポーツ推進委員研究協議会 青森大会（第2分科会）	参 加 の 評 価 （該当欄に○印を記入）						
目的・テーマ	「地域とスポーツがつながるために」をテーマに、総合型スポーツクラブは登録・認証制度が開始され、学校運動部活動は地域移行の動きがあり、地域スポーツの仕組みが変化してきている中、連絡調整の動きが重要になる場面におけるスポーツ推進委員の役割を探る。	所見	評 価 項 目	十分	ほぼ十分	普通	やや不十分	不十分
主 催 ・ 主 管	スポーツ庁（公社）全国スポーツ推進委員連合会 青森県教育委員会 青森県スポーツ推進委員協議会 青森市 青森大会実行委員会	事前に前準備	テーマについて事前に学習したか		○			
			課題や問題点を持って望んだか		○			
			時間に余裕を持って参加したか	○				
開 催 日 時	令和5年11月17日（金）9時45分～11時45分	受講して	十分に理解できたか	○				
会 場	リンクモア平安閣市民ホール		課題や問題点は解決できたか	○				
全体参加状況			今後の活動に役立つか	○				
			また参加したいと思えたか	○				
参 加 者 名	石田	企画について	時間配分は適切であったか	○				
			目的・テーマに沿った展開であったか	○				
			資料はわかりやすく用意されていたか			○		
			会場、参加人数は適切であったか				○	
		その他	他地区の参加者と交流できたか					○
			会場のアクセスは適切であったか	○				
研修の概要（日程・内容・講師名 など） 9：45 開始 コーディネーター 伊藤恵造 氏（秋田大学教育文化学部 准教授） 事例発表者 「サッカーを通じた地域活性化について」 正木昌宣 氏（青森山田高等学校男子サッカー部 監督） 「地域とスポーツがつながるために」 仲井宗基 氏（八戸学院光星高等学校硬式野球部 監督） 「原点帰郷のチーム運営～火中の栗を拾って、理想の○○を探しに行く話～」 小嶋徹也 氏 （青森スポーツクリエイション株式会社アカデミー事業部 アカデミーディレクター（青森ワッツU-15コーチ）） 11：45 閉会		受講所感 各発表者はこの講演を受託するまで推進委員の事を知らなかったという前置きから始まった第2分科会。各者青森と関わりの深い学校・団体ともあり、「青森を元気にする」きっかけの一つがスポーツでなければいいという点、スポーツを通じた地域活性化には様々な組織の連携が重要な点など興味深い活動内容を知ることができた。 現状の活動の中に、どのように推進委員というシステムが入れるかは、そもそも推進委員という立場の「引き出し」の共有がないのでわからないというのが本音との事。試行錯誤ができる「余白」をデザインし、興味を持ってもらうことがまず最初では？との提案があった。						

研 修 等 参 加 報 告 書

報告者（ 石 田 宜 久 ）

提出日 令和5年11月27日

研 修 等 名	令和5年度東京都市町村ポッチャ大会審判講習会	参 加 の 評 価 （該当欄に○印を記入）						
目的・テーマ	東京2020大会の多摩地域におけるレガシーとして、障害者スポーツも含めたインクルーシブスポーツの普及を図る一環として始まった市町村ポッチャ大会の大会サポーターの審判の質の向上とルール理解を一層深めると共に、各サポーター同士の交流を図る	所見	評 価 項 目	十分	十分 ほぼ	普通	やや 不十分	不十分
主 催 ・ 主 管	東京都市町村ポッチャ大会実行委員会	事前に 前つ 準備	テーマについて事前に学習したか	○				
開 催 日 時	令和5年11月25日（土）13時30分～16時00分		課題や問題点を持って望んだか	○				
会 場	東京ドームスポーツセンター東久留米第一体育室		時間に余裕を持って参加したか	○				
全体参加状況	35名	受講 して			○			
参 加 者 名	石田		十分に理解できたか		○			
研 修 の 概 要 （日程・内容・講師名 など）			課題や問題点は解決できたか		○			
13:30	集合・開会		今後の活動に役立つか	○				
13:40～15:45	講習・実習		また参加したいと思えたか	○				
16:00	片付け・解散							
講師：日本ポッチャ協会公認審判員 田辺多聞 氏（本大会審判長） 日本ポッチャ協会公認審判員 儘田有香里 氏（本大会副審判長）		企画 つに いて	時間配分は適切であったか		○			
			目的・テーマに沿った展開であったか		○			
			資料はわかりやすく用意されていたか	○				
			会場、参加人数は適切であったか	○				
		その他						
			他地区の参加者と交流できたか	○				
			会場のアクセスは適切であったか		○			
		受 講 所 感						
			令和4年度大会からのルール変更点を確認。いくつかの変更点については、当講習会内で審判同士協議の上決定。令和5年度大会から①コートサイズの拡大②打球時の制限時間の導入③新型コロナ対策の排除、の3点が大きな変更となった。いまだに選手側の性善説に頼る部分が多く、一部の委員からは更なる改善を求める声が上がった。各市町村様々な工夫で、本大会のルールを補う形をとっているのだと意見交換できたが、同時にローカルルールの問題が出てくるのでは？と心配にもなった。					

研 修 等 参 加 報 告 書

報告者（ 渡 邊 朋 子 ）

令和6年2月13日

研 修 等 名	令和5年度 地域スポーツ支援研修会（市町村部）	参 加 の 評 価 （該当欄に○印を記入）						
目的・テーマ	「ろう者とのコミュニケーションとデフスポーツの紹介」 ①ろう者が日頃感じているストレスと向き合い、バリアフリーな世の中にするためには、どうしたらよいか ②2025年デフリンピック開催に向けて、早急に取り掛からなくてはならないこと。	所見	評 価 項 目	十分	十分 ほぼ	普通	やや 不十分	不十分
主 催 ・ 主 管	共催：東京都 一般社団法人東京都スポーツ推進委員協議会	事前に 前つ 準備	テーマについて事前に学習したか				○	
開 催 日 時	令和6年2月10日（土） 13時30分～16時35分		課題や問題点を持って臨んだか				○	
会 場	立川市女性総合センター『アイム』		時間に余裕を持って参加したか	○				
全体参加状況	市区町村スポーツ推進委員、スポーツ振興課長他 151名 オリパラ準備局 1名、運営委員9名（都スポーツ協議会）	受講 して			○			
参 加 者 名	瀬戸会長、渡邊委員		十分に理解できたか		○			
研 修 の 概 要 （日程・内容・講師名 など）			課題や問題点は解決できたか				○	
開講式（14:00～14:10） 挨拶 都生活文化スポーツ局スポーツ総合推進部スポーツ課 北嶋唯氏 一般社団法人東京都スポーツ推進委員協議会 会長 新嶋二三彦氏 講義（14:10～16:30）プロフィール紹介 ・講師 学校法人亜細亜大学 障がい学生修学支援質支援コーディネーター 経営学部 特任准教授 橋本一郎氏 デフリンピック 陸上競技メダリスト 山田真樹氏、佐藤奏氏、岡田海緒氏 手話通訳 佐藤晴香氏 「ろう者とのコミュニケーションとデフスポーツの紹介」 ・手話レクチャー、クイズ、ジェスチャーゲーム、 ・ろう者の日常生活って？、子どものクラブ活動断られる。 ・インフラ整備（スタバ、コンビニ、空港のエレベーター） ・2025年デフリンピックに向けて、スタートランプの整備が急務。 ・性とスポーツの課題 L G B T Q + ろう者＝ダブルマイノリティに対する無理解。 開講式（16:30～16:35） 都スポ協企画総務委員副委員長 岡あけみ氏	企画 つに いて	時間配分は適切であったか		○				
			目的・テーマに沿った展開であったか	○				
			資料はわかりやすく用意されていたか	○				
			会場、参加人数は適切であったか	○				
		その他						
			他地区の参加者と交流できたか		○			
			会場のアクセスは適切であったか	○				
		受 講 所 感						
			・手話を習ったり、クイズやゲーム形式を取り入れ、楽しく学べた。 ・パラリンピックには、ろうの障害のみでは出場できず、車椅子など、他の障がいも持っていれば、出場できる。なぜだろう。 ・部活に入りたくても、親がろう者だと、断られてしまう。障がいのある子どもにも、もっといろいろなスポーツを経験できる世の中に。 ・性とスポーツの問題については、進展がみられた。LGBTQに対する理解、ホテルの部屋、お風呂など、選択権が認められてきたようだ。 ・デフリンピックの開催に向けて、スタートランプの整備が急を要する					

研 修 等 参 加 報 告 書

報告者（ 下島 博美 ）
提出日 令和6年3月19日

研 修 等 名	令和5年度 管外研修	参 加 の 評 価 （該当欄に○印を記入）						
目 的 ・ テー マ	障害者スポーツセンターの見学及び体験で「障害のある方」のスポーツ活動や関わり方の理解を深める	所 見	評 価 項 目	十 分	十 分 ほど	普 通	やや 不十分	不十分
主 催 ・ 主 管	府中市スポーツ推進委員会 研修部	事前に 前つ 準備 備て	テーマについて事前に学習したか			○		
開 催 日 時	令和 6年3月16日（土） 10時45分～13時00分		課題や問題点を持って望んだか			○		
会 場	東京都多摩障害者総合スポーツセンター （東京都国立市富士見台2-1-1）		時間に余裕を持って参加したか			○		
全体参加状況	スポーツ推進委員10名・事務局2名	受講 して	十分に理解できたか		○			
参 加 者 名	井上・大竹・鴻巣・小谷田・鈴木・瀬戸口・濱田・元山・吉岡・下島 (事務局：山本・三枝)		課題や問題点は解決できたか		○			
研 修 の 概 要 （日程・内容・講師名 など） 1．施設説明（講師：矢本課長）11:00～11:10第1集会室にて 2．施設内案内（案内：矢本課長）11:10～12:00 ・トイレ（音声案内付）⇒2Fギャラリーより（観客席付）温水プール・体育館見学 ⇒室内温水プール（全長25mで6コース水深両端が1m、プールサイドは車椅子の方でも容易に入りやすい45cm高構造。体を温める採暖室を設置、男女更衣室以外に異性介助でも利用できる家族更衣室も併設） ⇒トレーニング室⇒卓球室 ⇒サウンドテーブルテニス室（防音）⇒男子風呂（車椅子仕様） ⇒調理談話室（車椅子仕様）⇒宿泊施設（洋室・車椅子仕様） ⇒宿泊施設（和室・車椅子仕様） ⇒体育館（さまざまな屋内スポーツにご利用でき、冷暖房設備をはじめ、試合や大会のための電光掲示板、放送設備が有。バスケットコート一面の広さ。ポッチャ正式コート二面あり） 3．車椅子バスケット体験（講師・市川主任）12:00～13:00体育館にて ・通常車椅子とバスケット用車椅子の違い・バスケット用車椅子の操作方法 ・走行練習・ターン練習・走行しながらのボールパス練習・2チームに分かれて試合	今後の活動に役立つか			○				
	また参加したいと思えたか		○					
	企 画 つ い て	時間配分は適切であったか					○	
		目的・テーマに沿った展開であったか		○				
		資料はわかりやすく用意されていたか			○			
	そ の 他	会場、参加人数は適切であったか			○			
		他地区の参加者と交流できたか（無し）						
		会場のアクセスは適切であったか				○		
	受 講 所 感			今回視察した施設のように。スポーツ施設と宿泊施設を併設したものは全国で4か所しかない。施設内の全てが、車椅子仕様で高さ45cmを保っており、廊下には手摺りが完備されている。また視覚・聴覚障害者用に、点字や音声での案内も完備されていた。各施設内には係員が常駐しており、一人で来場した場合にもスポーツを行う事が出来るようになっていた。障害者施設見学を行う事で、障害者への理解を深める事ができた。 車椅子バスケットは初めての経験であり、まずは車椅子バスケット用の車椅子に慣れる事がとても難しく、基本動作の習得に時間がかかった。試合形式まで行い一連の流れは把握出来たが、車椅子体験の時間がもっと多く欲しいところでした。実際に障害者スポーツを行う事で、更に障害者への理解が出来た管外研修でした。				

事業等活動報告書

報告者（ 下島博美 ）

提出日 令和5年5月31日

活動した事業等の名称	明星高等学校ポッチャ交流会	活動の評価（該当欄に○印を記入）							
活動した事業等の目的・テーマ	ポッチャ競技を実施し、一年生・二年生の親睦を深める為のクラス対抗戦の実施する。	所見	評価項目	十分	ほぼ十分	普通	やや不十分	不十分	
活動した事業等の主催・主管及び依頼者	明星高等学校	役割割りにて	テーマについて事前に把握していたか	○					
			役割について事前に把握していたか		○				
			役割に意気込みを持って望んだか	○					
			役割に満足できたか		○				
活動した事業等の開催日時	令和5年5月31日（水）8時00分～12時40分	協力して	積極的に協力できたか		○				
協力した事業等の会場	明星高等学校体育館1F・3F		課題や問題点はなかったか			○			
			今後の活動に役立つか	○					
			また協力したいと思えたか	○					
活動した事業等の全体参加状況	学生：一年生130名・二年生100人・計230人 教職員：数名	その他	参加者と交流できたか		○				
協力した事業等での役割分担	ポッチャ交流会運営サポート・ルール説明		時間配分は適切であったか			○			
			目的・テーマに沿った展開であったか		○				
			会場、参加人数は適切であったか		○				
活動した事業等の協力者氏名	推進委員：石田・小谷田・元山・濱田・吉岡・渡邊・下島 事務局：山本・大久・三枝		会場のアクセスは適切であったか	○					
活動した事業等の概要（日程・内容 など）		協力した所感							
8:00 明星学苑南門集合 8:10～8:40 コート設置の為の採寸とマーク付け 8:40～8:45 朝礼 8:45～9:00 開会式 9:00～9:50 コート設置 9:50～10:00 休憩 10:00～10:30 デモンストレーション・ルール説明 10:30～10:40 休憩・コート移動 10:40～11:30 予選 11:30～11:40 休憩 11:40～12:10 準決勝 12:10～12:20 決勝 12:20～12:40 閉会式 12:40 解散		一年生はポッチャ初心者であるため、基本的なルール説明や進行方法を全体説明以外にも、ゲーム中に個々に指導した。二年生はポッチャ経験者であったが、審判の基本的な行動を省略する場面もあり、注意を促した。学生は勝敗にこだわり、ゲーム中熱心にチーム毎に相談する場面が多く、コミュニケーションも取れ、今回の目的である、親睦を深める事ができていた。 次回開催に向けて、コートの採寸マーク付けの時に、基本となるポイントを決めて置く事。ポイントは体育館の床色や各スポーツのラインとの区別がしやすい濃色のマークを用意する事。また、学校側の用意するラインテープが体育館のラインと異なる色のテープの用意を要望を実施する。 今回新任委員が三名参加、この交流会を体験してポッチャへの理解を深める事が出来た。 （別添：明星高体育館図）							

事業等活動報告書

報告者（ 石田 宜久 ）

提出日 令和5年12月4日

活動した事業等の名称	第5回府中市ポッチャ大会 （令和5年度東京都市町村ポッチャ大会予選）	活動の評価（該当欄に○印を記入）							
活動した事業等の目的・テーマ	東京2020パラリンピックにて一部競技が多摩地区で開催されたことを契機に、地区全体のレガシーとして障害、老若男女関係なく楽しむことのできるポッチャを通じた、交流と普及を図る。	所見	評価項目	十分	ほぼ十分	普通	やや不十分	不十分	
活動した事業等の主催・主管及び依頼者	府中市 東京都市町村ポッチャ大会実行委員会	役割割りにて	テーマについて事前に把握していたか	○					
			役割について事前に把握していたか	○					
			役割に意気込みを持って望んだか	○					
			役割に満足できたか		○				
活動した事業等の開催日時	令和5年12月2日（土）13時30分～16時30分	協力して	積極的に協力できたか	○					
協力した事業等の会場	府中市郷土の森総合体育館第1体育室		課題や問題点はなかったか			○			
			今後の活動に役立つか	○					
			また協力したいと思えたか	○					
活動した事業等の全体参加状況	153名（参加者123名、推進委員14名、コミスボラ10名、市職員6名）		参加者と交流できたか		○				
協力した事業等での役割分担	会場整備、運営協力、審判等	その他	時間配分は適切であったか		○				
			目的・テーマに沿った展開であったか	○					
			会場、参加人数は適切であったか	○					
活動した事業等の協力者氏名	石田、大竹、深津、濱田、中島、小谷田、元山、鴻巣、鈴木（英）、瀬戸口、岸、木村、渡邊、井上		会場のアクセスは適切であったか	○					
活動した事業等の概要（日程・内容 など）		協力した所感							
10:00 集合・設営開始 11:30 昼休憩 12:30 昼休憩終了・最終確認 12:45 受付準備・開始準備 13:00 受付開始 13:30 開会式 13:45 競技開始 16:30 閉会式・表彰式 16:45 撤収開始 17:15 終了		募集していた最大チーム数32チームが集まった。国分寺のチームと家族チームが市町村ポッチャ大会の府中市代表に決まった。 スボレクポッチャ大会も含め、総合体育館にて8コートで開催するのは初めてとなり、加えて直前でコートサイズの変更があったが、大きな混乱や特別反対もなく良かった。リーグ戦の結果の集計にExcelを導入し、決勝トーナメントに向けた集計は以前よりもスムーズにできたと思う。 しかし、観覧席を待機場所にし体育室内にて待機をしたい選手は事前申込制にしていたが、ほとんどのチームが体育室内に留まってしまい、選手と運営側とのコミュニケーションはもっと取るべきだった。 また、市町村大会が投球時間を今年度大会から設けたが、今大会でも一部車椅子チームでは投球に時間がかかる場面もあり、府中市の大会での導入が課題になると感じた。併せて委員に審判員資格を取得した人間が必要だとも感じた。							

事業等活動報告書

報告者（岸 優子）
提出日 令和5年12月10日

活動した事業等の名称	第15回Wai Wai フェスティバル ポッチャ体験会	活動の評価（該当欄に○印を記入）						
活動した事業等の目的・テーマ	年齢や障害の有無にかかわらず誰もが楽しめるポッチャ体験を通じて、障がい者および障がい者スポーツの普及啓発を目的として実施	所見	評価項目	十分	ほぼ十分	普通	やや不十分	不十分
活動した事業等の主催・主管及び依頼者	主催：府中市 第15回Wai Wai フェスティバル実行委員会	役割について	テーマについて事前に把握していたか	○				
活動した事業等の開催日時	令和5年12月10日（日）13時00分～16時00分		役割について事前に把握していたか	○				
協力した事業等の会場	けやき並木通り フォーリス前		役割に意気込みを持って望んだか	○				
活動した事業等の全体参加状況	約301名		役割に満足できたか	○				
協力した事業等での役割分担	ポッチャ指導	協力して	積極的に協力できたか	○				
活動した事業等の協力者氏名	石田、井上、大竹、岸、鴻巣、小谷田、成田、濱田、吉岡、渡邊、各委員、事務局、大久さん、三枝さん、山本係長		課題や問題点はなかったか		○			
活動した事業等の概要（日程・内容 など）	12:30 集合 ・事前打ち合わせ ・会場の設営 動線を考慮し、入口と出口を決定 会場室内の整備 入口側にポッチャボールでの的当て、隣は少し遠くの的当て、出口側はブルーシートで作ったミニコートの三面を用意、セッティング 13:00 ポッチャ体験会開始 ・的当てゲーム体験を二回実施後に、ミニコートでゲーム体験コーナーに移動 16:00 ポッチャ体験会終了 ・会場の原状復帰と資材の撤収 16:30 解散		今後の活動に役立つか	○				
			また協力したいと思えたか	○				
			参加者と交流できたか		○			
		その他	時間配分は適切であったか	○				
			目的・テーマに沿った展開であったか	○				
			会場、参加人数は適切であったか	○				
			会場のアクセスは適切であったか	○				
活動した事業等の概要（日程・内容 など）		協力した所感						
		12月と思えないくらいの暖かい晴天の中、開始時間の前から並んで順番待ちをするくらい盛況なスタートであった。 来場者は親子連れ、障がい者の方がやはり多く、途中車椅子の方がランプがあれば使用したかったらしいが、今年是用意しなかったのも、来年はランプの準備も必要だと感じた。 来場者の流れもスムーズに流れてる感じがして良かったと思う。						

事業等活動報告書

報告者（大竹 ひとみ）
提出日 令和6年1月22日

活動した事業等の名称	けやき教室	活動の評価（該当欄に○印を記入）						
活動した事業等の目的・テーマ	府中市適応指導教室「けやき教室」の体育の授業として実施	所見	評価項目	十分	ほぼ十分	普通	やや不十分	不十分
活動した事業等の主催・主管及び依頼者	依頼団体名 教育部指導室	役割について	テーマについて事前に把握していたか	○				
活動した事業等の開催日時	令和5年11月29日（水）10時～11時30分 令和6年1月17日（水）10時～11時30分		役割について事前に把握していたか	○				
協力した事業等の会場	生涯学習センター体育室（全面）		役割に意気込みを持って望んだか	○				
活動した事業等の全体参加状況	1回目：生徒 6名 教員6名 2回目：生徒13名 教員5名		役割に満足できたか	○				
協力した事業等での役割分担	1回目：ラリーテニス・ポッチャの指導 2回目：ラリーテニス・ポッチャの指導	協力して	積極的に協力できたか	○				
活動した事業等の協力者氏名	石田、成田、元山、濱田、大竹 各委員		課題や問題点はなかったか		○			
			今後の活動に役立つか	○				
			また協力したいと思えたか	○				
		その他	参加者と交流できたか	○				
			時間配分は適切であったか		○			
			目的・テーマに沿った展開であったか	○				
			会場、参加人数は適切であったか	○				
			会場のアクセスは適切であったか	○				
活動した事業等の概要（日程・内容 など）		協力した所感						
		昨年度と違い新型コロナウイルス感染症が5類とはなったものの感染症対策として手指消毒用アルコールやシートを準備したところ何度も消毒をする生徒がいたので予め用意しておいて良かった。 昨年度同様に水曜日午前の1時間半という短時間でラリーテニスとポッチャ指導のルールやフォームより集団でのゲームを楽しむことを重視したが、普段あまり身体を動かさないで1回目終了の翌日疲労で休む生徒が多かったとの報告を受け2回目は休憩時間を十分に取り指導内容を考慮した。また、自己紹介等の表出が苦手な生徒が多数のことだったので感想を発表する時間は設けなかったが、時々生徒の間から「おもしろいね」「この前より上手くなった」という声が漏れ聞こえ、教員からも普段は硬い表情の生徒達が教室の時間中はとても良い顔をしていてどの子も楽しめていたようだったとの感想を頂き、コミュニケーションや感情の表出が苦手な生徒達の心にスポーツの力が響いたようで嬉しい思いの中終了することができた。しかしながらコロナ禍を経て例年に比べ小学生が増えている事が気になった。						

事業等活動報告書

報告者（ 大竹 ひとみ ）

提出日 令和6年1月22日

活動した事業等の名称	令和5年度障がい者成人教室「あすなる学級」ポッチャ体験会	活動の評価（該当欄に○印を記入）							
活動した事業等の目的・テーマ	障がい者の方々が、より良い地域生活を送ることを目的として、ポッチャ体験活動を通し、他者とのコミュニケーションを深め健康増進を図る。	所見	評価項目	十分	ほぼ十分	普通	やや不十分	不十分	
活動した事業等の主催・主管及び依頼者	主催 府中市	役割について	テーマについて事前に把握していたか	○					
活動した事業等の開催日時	令和6年1月21日（日）13時30分～16時00分		役割について事前に把握していたか	○					
			役割に意気込みを持って望んだか	○					
協力した事業等の会場	府中市生涯学習センター体育室		役割に満足できたか	○					
		積極的に協力できたか	○						
		課題や問題点はなかったか	○						
		今後の活動に役立つか	○						
活動した事業等の全体参加状況	・学級生36名・スタッフ14名 計50名	協力して	また協力したいと思えたか	○					
			参加者と交流できたか	○					
			時間配分は適切であったか		○				
協力した事業等での役割分担	ポッチャコート設営、準備体操、ポッチャの説明 試合形式体験の際の各コートの審判と運営	その他	目的・テーマに沿った展開であったか	○					
活動した事業等の協力者氏名	石田・小谷田・鈴木・木村・渡邊・大竹委員 事務局（山本、三枝） 明星高校ボランティア8名・引率教員1名		会場、参加人数は適切であったか	○					
			会場のアクセスは適切であったか	○					
活動した事業等の概要（日程・内容 など）		協力した所感							
12:45 体育室前集合（事務局・スポーツ推進委員） 会場準備（コート3面・的当て1面の設営・音源準備） 13:15 受付開始 13:30 開会、挨拶、準備体操（渡邊） 13:40 体験会開始（説明 石田） 13:50 各コートに分かれ試合形式で体験（8チーム・2エンド全9試合実施） 15:45 閉会 15:55 終了/撤収作業開始 16:10 退館		・全体を通して学級生の方の殆どが、ポッチャに慣れている様子が見られ、楽しそうに一所懸命に体験していて、得点に一喜一憂する場面や仲間を応援する場面もありチームのみんなで盛り上がっていた。 ・昨年同様にゲームを行う際のコート割り当てをアナウンスと同時に各コートの担当者（明星高校生）が紙に書いたチーム番号を明確に示したので、学級生がスムーズに移動することができた。 ・準備体操の際、後半は学級生の中にボディイメージが湧かず混乱している様子や飽きている様子が見受けられた。学級生の中には模倣が苦手な場合も多いので、準備体操は短く解かりやすく、複合的な動きは避け、よりシンプルにする必要があると感じた。 ・明星高校から8名の学生の協力を得られたので、コート表示の担当以外に審判にも参加協力してもらい大変助かった。							

事業等活動報告書

報告者（ 石田宜久 ）

提出日 令和6年1月29日

活動した事業等の名称	令和5年度東京都市町村ポッチャ大会	活動の評価（該当欄に○印を記入）							
活動した事業等の目的・テーマ	障害の有無や年齢、性別などに関わらず、同一ルールの下で楽しめるポッチャを広く多摩地域で実施し、東京2020の多摩地域におけるレガシーとして、インクルーシブスポーツの普及・啓発を図っていく	所見	評価項目	十分	ほぼ十分	普通	やや不十分	不十分	
活動した事業等の主催・主管及び依頼者	東京都市町村ポッチャ大会実行委員会 （事務局：調布市生活文化スポーツ部スポーツ振興課 会場関連：東久留米市教育委員会教育部生涯学習課）	役割について	テーマについて事前に把握していたか		○				
活動した事業等の開催日時	令和6年1月27日（土） 12時30分～17時30分		役割について事前に把握していたか	○					
			役割に意気込みを持って望んだか	○					
協力した事業等の会場	東京ドームスポーツセンター東久留米 第一体育室		役割に満足できたか		○				
		積極的に協力できたか		○					
		課題や問題点はなかったか				○			
		今後の活動に役立つか	○						
活動した事業等の全体参加状況	約270名（全54チーム＋大会サポーター＋従事職員）	協力して	また協力したいと思えたか	○					
			参加者と交流できたか		○				
協力した事業等での役割分担	審判、運営補助	その他	時間配分は適切であったか			○			
活動した事業等の協力者氏名	石田、三枝事務局員		目的・テーマに沿った展開であったか		○				
			会場、参加人数は適切であったか	○					
活動した事業等の概要（日程・内容 など）		協力した所感							
12:30～ 集合・打ち合わせ 13:00～ 開会式、ルール説明 13:30～ 予選リーグ開始 14:30～ 集計・休憩 14:50～ 決勝トーナメント準備 15:00～ 決勝トーナメント開始 17:15～ 表彰式・閉会式 17:30～ 終了・片付け開始		都内市町村から54チームが集結。府中代表の1チームは予選リーグ敗退、もう1チームは予選リーグを通過したが、決勝トーナメント1回戦で敗退。他市の強豪チームは、定例活動をしているクラブや同好会、学生であり、府中も環境を整えていく必要性を感じた。昨年度の優勝チームはリーグ戦敗退、今回の調布市の優勝チームには小学生の女の子が入っており、大変正確な投球に驚かされた。変則的なリーグ戦で、16コートに分かれての4チームのリーグと3チームのリーグと各コートに違いがあり、少ないリーグでの敗退チームは2試合のみで終わってしまうのは改善の余地があると思う。また、審判のレベルも差があるように見え、選手に舐められてしまう場面もあった。運営としては「交流大会」だが、選手にとっての大会とは温度差があるように感じた。投球時間が導入された点も含めて、府中市内大会においても検討項目は多い。来年度は町田市での開催となる。							

事業等活動報告書

報告者（石田 宣久）

提出日 令和6年3月26日

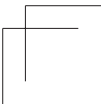
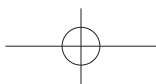
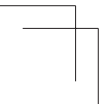
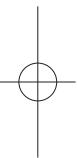
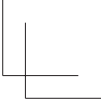
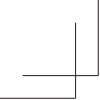
活動した事業等の名称	市民協働事業 第53回府中市民桜まつり	活動の評価（該当欄に○印を記入）						
活動した事業等の目的・テーマ	桜まつり内でのポッチャ体験会	所見	評価項目	十分	ほぼ十分	普通	やや不十分	不十分
活動した事業等の主催・主管及び依頼者	府中市 府中市民桜まつり実行委員会	役割について	テーマについて事前に把握していたか	○				
活動した事業等の開催日時	令和6年3月23・24日（土・日）10時00分～16時00分		役割について事前に把握していたか	○				
協力した事業等の会場	中央文化センター駐車場		役割に意気込みを持って望んだか	○				
活動した事業等の全体参加状況	（ポッチャブース）2日間合計：1590人	協力して	役割に満足できたか	○				
協力した事業等での役割分担	ポッチャ体験会運営		積極的に協力できたか	○				
活動した事業等の協力者氏名	23日：石田、大竹、木村、渡邊 午後：下島 各委員 山本、三枝 24日：石田、大竹、鈴木、中島、濱田、各委員 山本、三枝		課題や問題点はなかったか		○			
		その他	今後の活動に役立つか		○			
			また協力したいと思えたか	○				
			参加者と交流できたか		○			
			時間配分は適切であったか		○			
			目的・テーマに沿った展開であったか	○				
			会場、参加人数は適切であったか			○		
			会場のアクセスは適切であったか	○				
活動した事業等の概要（日程・内容 など）		協力した所感						
23日 9:30 集合、準備開始 10:00 体験会開始 15:30 体験会終了 16:00 解散 24日 9:30 集合、準備開始 10:00 体験会開始 16:00 体験会終了 16:20 解散		2年ぶりの開催も、桜はなく、曇りで寒い中での開催となった今回。1日目は小雨もあり人出が少ないようにも感じられたが、全体的には各ブース売り切れもあり桜まつりとしても大盛況に終わった。 ブルーシートコートと点数的の2コーナーを設置。2年前にアスファルトの上で直に実施した際に、ボールのダメージが大きかったことを考慮して、的の方にもブルーシートを敷いた。企画推進係より、読売ジャイアンツ選手のサインボールや色紙、女子選手のサインカードなどが当たる抽選権、缶バッジをノベルティとして配布。その人気もあり参加人数が増えたこともあり、目的の景品が当たるまで繰り返すうちに、ポッチャの腕が上がる人もいた。目的は違えどポッチャを体験してもらうキッカケ作りにはいいのかと思った。2日間通してとにかく人手不足。センター側の手伝いもあり一概には言えないが、もう少し協力者が増えることも求める。						

編集後記

皆様のご協力により、府中市スポーツ推進委員会会報No.51（令和 5 年度）を無事発行することができました。

お読みいただき忌憚のないご意見・ご感想をお聞かせいただければ幸いです。

スポーツ推進委員会資料



令和5年度委員会の活動概要

定例会

活動日	会場	出席者数	議題
4月6日(木)	府中駅北第2庁舎 3階第3会議室	18人	令和5年度事務局担当について 令和5年度府中市スポーツ推進委員会事業計画について 第48回府中市みんなで楽しむ軽スポーツ大会について ポッチャ教室について 明星高校ポッチャレクリエーションについて スポーツ推進委員ボロシャツ案について
5月11日(木)	府中駅北第2庁舎 3階会議室	16	みんなのスポーツday実行委員会について 新任委員研修について 関東スポーツ推進委員研究大会について 市民スポーツ・レクリエーションポッチャについて
6月1日(木)	府中駅北第2庁舎 3階会議室	14	年間事業実施に係るタイムスケジュールについて ボールふれあいフェスタについて みんなのスポーツday第1回実行委員会について 広域地区別研修会(第9ブロック)の発表案について
7月6日(木)	府中駅北第2庁舎 3階会議室	17	かけっこ教室について 第32回府中市市民スポーツ・レクリエーションポッチャについて 広域地区別研修会(第9ブロック)の発表案について
8月3日(木)	中央文化センター 第3会議室	15	来年度予算編成に向けた各部・PTの部会開催について 広域地区別研修会(第9ブロック)の出欠について 市民協働まつりへの出展について 広域地区別研修会(第9ブロック)の発表について
9月7日(木)	府中駅北第2庁舎 3階会議室	17	Wa i Wa i フェスティバルについて 「いっしょに、府中」について 広域地区別研修会(第9ブロック)について
10月5日(木)	府中駅北第2庁舎 3階会議室	17	第27回みんなのスポーツdayについて 令和6年度事業案について
11月2日(木)	中央文化センター 第3会議室	15	令和5年度推進委員会活動スケジュールについて 令和5年度スポーツ推進委員会会報について 令和5年度ポッチャ大会について
12月7日(木)	府中駅北第2庁舎 3階会議室	14	第5回府中市ポッチャ大会について 第15回Wa i Wa i フェスティバルについて 三市交流研修について ちょこっとスポーツ体験・府中寒歩について
2月1日(木)	中央文化センター 第3会議室	18	スポーツ推進委員会会報の作成について ちょこっとスポーツ体験・府中寒歩について 三市交流研修会・管外研修について ポッチャを楽しむ会について
3月7日(木)	府中駅北第2庁舎 3階会議室	14	ちょこっとスポーツ体験について かけっこ教室・ウォーキング術について 令和5・6年度府中市スポーツ推進委員追加公募の進捗について 「令和6年度能登半島地震」被災地への義援金のお願い 桜まつりについて
合 計	11 回		175 人

常 任 委 員 会

活 動 日	会 場	出席者数	議 題
4月20日(木)	府中駅北第2庁舎 3階小会議室	7人	明星高校ボッチャ出前講座について 東京都スポーツ推進委員協議会 正会員の選出について 市民スポ・レクボッチャについて 各部会報告
5月18日(木)	府中駅北第2庁舎 3階小会議室	4	広域地区別研修会(第9ブロック)について 各部会報告
6月13日(木)	府中駅北第2庁舎 3階小会議室	5	市民スポーツ・レクリエーションの申込状況について 第27回みんなのスポーツday第1回実行委員会について みんなのスポーツdayの協力団体について 広域地区別研修会(第9ブロック)発表について 各部会報告
7月20日(木)	府中駅北第2庁舎 3階小会議室	7	来年度予算に向けた部会の開催について 内部研修の実施内容等について 広域地区別研修会(第9ブロック)発表資料について 各部会報告
8月17日(木)	府中駅北第2庁舎 7階打合せ室	7	全国スポーツ推進委員連合協議会の表彰について 各部会報告
9月21日(木)	府中駅北第2庁舎 7階打合せ室	7	広域地区別研修会(第9ブロック)について 10月ボッチャ教室について 障害者・児の運動習慣定着支援事業について 令和5年度事業計画(案)について 各部会報告
10月19日(木)	府中駅北第2庁舎 7階打合せ室	7	府中市ボッチャ大会について 令和5年度スポーツ推進委員会会報について 各部会報告
11月22日(木)	府中駅北第2庁舎 3階小会議室	6	ちょこっとスポーツ体験について 府中寒歩について 各部会報告
12月21日(木)	府中駅北第2庁舎 7階打合せ室	6	かけっこ教室・ウォーキング術について みんなのスポーツdayについて 各部会報告
1月18日(木)	府中駅北第2庁舎 7階打合せ室	7	府中寒歩について あすなろ学級ボッチャ体験について ボッチャを楽しむ会について 第28回みんなのスポーツdayについて ボールふれあいフェスタ実行委員の選出について 各部会報告
2月15日(木)	府中駅北第2庁舎 3階小会議室	5	ちょこっとスポーツについて あすチャレ!イベントについて 第28回みんなのスポーツdayについて 府中市スポーツ推進委員会ロゴについて 各部会報告
3月21日(木)	府中駅北第2庁舎 7階打合せ室	7	次年度年間事業について 第28回みんなのスポーツdayについて 新任委員配属案について 各部会報告
合 計		12 回	75 人

研 修 部 会

活 動 日	会 場	議 題
4月21日(火)	府中駅北第2庁舎	副部長決め
9月8日(金)	府中駅北第2庁舎	令和5年度事業計画決め
合 計		2回

事 業 部 会

活 動 日	会 場	議 題
4月6日(木)	府中駅北第2庁舎	年間事業担当決め ボッチャ教室について
8月30日(水)	府中駅北第2庁舎	令和5年度事業進捗確認 令和6年度事業について
合 計		2回

総 務 部 会

活 動 日	会 場	議 題
4月25日(火)	府中駅北第2庁舎	副部長決め 歓送迎会について
7月5日(水)	府中駅北第2庁舎	スポーツ推進委員会会報校正
7月24日(月)	府中駅北第2庁舎	スポーツ推進委員会会報校正
8月31日(金)	府中駅北第2庁舎	令和6年度事業内計画について
1月16日(火)	府中駅北第3庁舎	歓送迎会について
合 計		5回

パラスポーツプロジェクトチーム

活 動 日	会 場	議 題
4月6日(水)	府中駅北第2庁舎	年間事業計画決定、担当決め
合 計		1回

令和5年度実施事業の結果一覧

社会体育指導者育成事業

講習会・研修会名	実施日程	会場	講師・出席者数
コミスポ協力者交流会（兼）スポーツ推進委員会内部研修会			
府中コミスポ協力者研修会	11月17日（金） 19:00～20:30	中央文化センター 第3会議室	宮坂 昇 氏 （関東ボッチャ協会） 20 人
市民スポーツ公開講座			
「今日から始める フィジカルトレーニング講座」	3月13日（水） 19:00～21:00	市民活動セン タープラッツ 第2会議室	寺田 健太郎 氏 （株式会社LIFE BUILDING） 23 人
ジュニアスポーツ指導者講習会			
「自ら考えて主体的に行動する 力を育むボトムアップ理論」	1月25日（水） 17:00～19:00	ルミエール府中 2階レクリエー ションルーム	畑 喜美夫 氏 （一般社団法人 ボトムアップパーソンズ協会） 34 人
「ジュニア期のスポーツ栄養学 ～豊かな成長を支える食と栄養～」	3月8日（金） 10:00～12:00	オンライン	阿部 菜奈子 氏 （Office LAC-U） 37 人
合 計	4事業		延114 人

市民スポーツ教室事業

事業名	日 時	会 場	対 象	指導者及び協力者、参加延人数
ボ ッ チ ャ 教 室	5月28日（日）	栄町体育館	市民	石田、井上、大竹、岸、木村、鴻巣、小谷田、下島、中島、濱田、本山、吉岡、渡邊（スポーツ推進委員） 11 人
か け っ こ 教 室 1	8月24日（水） 10：00～12：00 13：00～15：00	白糸台体育館	小学 3～6年生	鴻巣、濱田、吉岡、小谷田、渡辺、吉岡、石田、成田、鈴木（スポーツ推進委員） 35 人
ら く ら く 歩 こ う ウォーキング術 1	9月22日（金） 10：00～12：00	府中市民陸上 競 技 場	市 民	鴻巣、小谷田、石田 （スポーツ推進委員） 7 人
か け っ こ 教 室 2	3月28日（木） 10：00～12：00 13：00～15：00	府中市民陸上 競 技 場	小 学 3～6年生	鴻巣、濱田、吉岡、鈴木、石田、小谷田、渡邊、井上（スポーツ推進委員） 一般社団法人Grow Sports 43 人
府 中 寒 歩 ノルディックウォーキン グ	2月17日（土） 10：00～12：00	都立府中の森 公 園	市 民	鴻巣、石田、渡邊、小谷田（スポーツ推進委員）吉松久美子（日本ノルディックウォーキング協会公認インストラクター） 19 人
ら く ら く 歩 こ う ウォーキング術 2	3月28日（木） 10：00～12：00	市 民 陸 上 競 技 場	市 民	齋藤 （日本ノルディックウォーキング協会上級インストラクター） 石田・鴻巣・小谷田・鈴木・ 濱田・吉岡・渡邊 委員 （スポーツ推進委員） 19 人
合 計	6 教室			延134 人

受 託 事 業（レクリエーション事業）

事 業 名	期 日	会 場	参 加 延 人 数
第32回市民スポーツ・レクリエーションフェスティバル ボッチャ	7月8日（土）	総 合 体 育 館	83 人
第27回みんなのスポーツday	10月9日（月）	各 地 域 体 育 館 （押立・白糸台・栄町 ・日吉・本宿・四谷）	986 人
合 計	2 事業		1,069 人

その他事業

事業名	日 時	会 場	対 象	指導者及び協力者、参加延人数
市 民 桜 ま つ り	3月23・24日（土・日） 10：00～16：00	中央文化センター 駐車場	一 般 参 加 者	石田、大竹、木村、渡邊、下島、鈴木、中島、濱田（スポーツ推進委員） 1590 人
明 星 高 等 学 校 ボ ッ チ ャ 交 流 会	5月31日（水） 8：00～12：40	明星高等学校	1、2 年 生	石田、小谷田、元山、濱田、吉岡、渡邊、下島（スポーツ推進委員） 230 人
2023ボールふれあいフェスタ ボ ッ チ ャ 体 験	雨天のため中止			0 人
第 5 回府中市ボ ッ チ ャ 大 会	12月2日（土） 13：30～16：30	総合体育館第1 体 育 室	市 民	石田、大竹、深津、濱田、中島、小谷田、元山、鴻巣、鈴木(英)、瀬戸口、岸、木村、渡邊、井上（スポーツ推進委員）、コムスボボランティア10名 153 人
第 1 5 回WaiWaiフェ スティバルボ ッ チ ャ 体 験	12月10日（日） 13：00～16：00	け や き 並 木 フ ォ ー リ ス 前	一 般 参 加 者	石田、井上、大竹、岸、鴻巣、小谷田、成田、濱田、吉岡、渡邊（スポーツ推進委員） 301 人
ちょこっとスポーツ 体 験 会	2月3日（土） 10：00～15：00	け や き 並 木 フ ォ ー リ ス 前	一 般 参 加 者	大竹、鴻巣、石田、下島、小谷田（スポーツ推進委員）コムスポリーダー・ボランティア4名 819 人
合 計	5 教室			延3,093 人

ス ポ ー ツ の 生 活 化 推 進 事 業

指導者派遣事業

団 体 名	実 施 日	会 場	派 遣 者
府中市地区学校五日制連絡会	5月13日(土)	白糸台体育館	安藤・本田・本村 [コムスポリーダー] 3人
	9月9日(土)		
	10月14日(土)	押立体育館	
	2月4日(土)		
け や き 教 室	11月29日(水) 1月17日(水)	生涯学習センター 体 育 室	石田・大竹・濱田・元山 [スポーツ推進委員] 4人
府 中 八 小 PTA	6月27日(火)	押立体育館	本村・小島・本田 [コムスポリーダー] 3人
地域生活支援センターあけぼの	10月29日(日)	市民活動センター プ ラ ッ ツ	五日市 [コムスポリーダー] 1人
合 計	4事業	指導者延数	11人

スポーツ推進委員派遣等事業

実 施 日	事 業 名	会 場	出 席 委 員
6月9日（水）	関東スポーツ推進委員研究大会	高 崎 市	大竹・鴻巣 委員 2 人
6月24日（土）	令和 5 年度新任者講習会	新 宿 区	下島 委員 1 人
7月1日（土）	令和 5 年度ニュースポーツ研修会	新 宿 区	元山委員 1 人
8月26日（土）	令和 5 年度課題別研修会	千 代 田 区	井上・濱田・元山委員 3 人
9月9日（土）	令和 5 年度東京都スポーツ推進委員研修会「広域地区別研修会（第 9 ブロック）」	調 布 市	石田・井上・大竹・岸・ 木村・鴻巣・古口・ 小谷田・下島・鈴木・ 瀬戸口・中川・中島・ 成田・濱田・深津・ 元山・吉岡・渡邊 委員 19 人
11月16日（水） ～ 11月17日（木）	令和 5 年度全国スポーツ推進委員研究協議会	青 森 市	石田・瀬戸口 委員 2 人
2月4日（日）	三市交流研修会	府 中 市	石田・大竹・木村・岸・ 下島・鈴木・瀬戸口・ 古口・小谷田・濱田・ 元山・井上・中島・鴻巣 委員 14 人
2月10日（土）	令和 5 年度東京都地域スポーツ支援研修会	立 川 市	瀬戸口・渡邊 委員 2 人
合 計		6 件	44 人

府中市における市民スポーツの普及経過

昭和

- 【53 年度】・「スポーツの生活化」を市の施策として打ち出す。
 - ・ゲートボールに取り組み始める。
- 【54 年度】・「スポーツの生活化」プロジェクト答申。
 - ・「スポーツ指導員制度」発足。
 - ・「ゲートボール」
大会を春・秋 2 回行い、ゲートボールの普及に積極的に取り組む。
審判員講習会で体育指導委員資格取得 = 4 人
- 【55 年度】・インディアカに取り組む。
 - レクリエーション協会より講師を招き、体育指導委員中心に行う。
 - ・「ゲートボール」
高齢者の間に普及し、第 1 回大会を行う。
地区での事業 = 11 回
大 会 = 437 人 63 チーム
- 【56 年度】・体育指導委員の内部講習でインディアカ研修会を行い、各地域で普及活動に入る。
 - 地区での事業 = 4 回 延べ 148 人
 - ・「ゲートボール」
大 会 = 585 人 81 チーム
地区での事業 = 6 回 延べ 752 人
- 【57 年度】・「インディアカ」
 - 審判講習会 ~ 教室 ~ 大会の流れをつくる。
講 習 会 = 41 人
審判講習会 = 53 人
レクリエーション協会より講師を招き、講習会及び審判講習会を行う。
地区での事業 = 5 回 延べ 249 人
第 1 回インディアカ大会 = 201 人 37 チーム
 - ・「ゲートボール」
各地で自主的な活動が浸透する。
大 会 = 1,547 人 180 チーム
- 【58 年度】・大会を春・秋 2 回行い、インディアカの普及に積極的に取り組む。
 - 地区での事業 = 5 回 延べ 428 人
大 会 = 288 人 54 チーム
 - ・「ゲートボール」
自主的に行う大会等も多くなり、市の大会は 1 回とする。
大 会 = 1,026 人 113 チーム
- 【59 年度】・各協会より講師を招き体育指導委員、スポーツ指導員を中心に講習会を行う。
 - さらに、教室を通してニュースポーツの活動の幅を広げる。
 - ・バウンドテニス指導者講習会 = 44 人 協会より講師を招き行う。
 - ・グラウンドゴルフ講習会 = 57 人 協会より講師を招き行う。
 - ・ユニホッケー・ペタンク・チュックボール講習会 = 28 人
レクリエーション協会より講師を招き行う。
 - ・四半的和弓を中央文化センター事業として行う。
- 【60 年度】・体育指導委員を講師に各種目の講習会を実施するなど、普及のための体制を整えると共に、ニュースポーツを集めたイベント「ニュースポーツ 85」を実施する。
 - ・インディアカ指導者講習会 = 46 人 協会より講師を招き行う。
 - ・バウンドテニス指導者講習会 = 42 人 協会より講師を招き行う。
 - ・グラウンドゴルフ指導者講習会 = 28 人体育指導委員が講師になり行う。
 - ・四半的和弓 1 日教室を紅葉丘で実施 = 10 人
- 【61 年度】・ペタンクリーダー講習会を行い、ペタンクの普及の体制を整える。
 - ・三世代交流を目的にファミリーゲートボール大会を実施する。
 - ・ペタンク講習会 = 5 回 延べ 192 人 ペタンク連盟より講師を招き体育指導委員、スポーツ指導員を中心とした講習会と各地域でリーダー講習会を行う。

- 【62年度】・各地域でペタンクの普及を図り、第1回ペタンク大会を実施する。
 - ・四半的和弓を住吉、新町文化センターで実施。
- 【63年度】・ダーツ・ユニバーサルホッケーなども取り上げ、より幅広い普及活動を行う。
 - ・ゲートボールの愛好者の層を広める目的で教室を実施する。
 - ・ダーツ講習会 = 2回 延べ46人
ダーツ協会より講師を招き体育指導委員を中心とした講習会を行う。
 - ・「インディアカ」
大会の自主運営を目指して、大会参加者が相互審判ができるように体育指導委員が講師となり教室を行う。

平成

- 【元年度】・ニュースポーツを中心にした健康まつりスポーツ広場を始める。(NHK全国放映される)
 - ・新しい種目としてユニカールを取り上げる。
講習会 ユニカール講習会 = 1回 19人
協会より講師を招き体育指導委員を中心とした講習会を行う。
- 【2年度】・ニュースポーツの普及とそのための指導者養成を目的に、スポーツ指導員を中心に指導者講習会を行う。
 - ・府中市独自のニュースポーツとして「ラリーテニス」の開発に取り組む。
 - ・第1回市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルを開催する。
- 【3年度】・ラリーテニスの普及元年として指導者講習会、教室、集いなどを積極的に行う。
 - ラリーテニス教室 一般市民対象 = 7コース 延べ672人
 - ・「第2回市民スポーツ・レクリエーションフェスティバル」を開催する。
 - ・指導委員内部研修会で、体育指導委員、事務局が講師になり「普及と指導の確認」「指導技術の確認」を行う。
- 【4年度】・ラリーテニスの充実として指導者育成及び、既存クラブの活性化などを積極的に行う。
 - ・「第3回市民スポーツ・レクリエーションフェスティバル」を開催する。
- 【5年度】・ラリーテニスを地域に紹介することを目的に短期コースを新たに設定し、教室を行う。
 - ・各地域に短期でラリーテニスの紹介と、クラブ化を目的に分けてラリーテニス教室を行う。
内容 短期 = 7コース (延べ12回) = 333人
クラブ化 = 2コース (延べ12回) = 236人
 - ・全国レクリエーション大会東京大会 ラリーテニス = 210人
- 【6年度】・ラリーテニスの実技の内容充実を目的に、プロジェクトメンバーを中心に『技術向上研修会』(対象：体育指導委員・スポーツ指導員)や『リーダーのためのラリーテニス講習会』(対象：既存クラブ)などを行う。
 - ・各地域に、短期ラリーテニスの紹介とクラブ化を目的に分けて、ラリーテニス教室を実施する。
内容 短期 = 5コース (延べ5回) = 134人
クラブ化 = 2コース (延べ10回) = 175人
 - ・インディアカ大会はインディアカ交流協会に、四半的弓道のつどいは四半的弓道連盟に委託して行う。
 - ・「ラリーテニスのつどい」を「大会」と名称を変更し、実施する。
 - ・ニュースポーツ研究会(東京都体育指導委員協議会主催)においてラリーテニスの講習を行う。
- 【7年度】・ラリーテニスプロジェクトが中心となって、ルール集の見直しを行い新たにラリーテニスルール集を作成した。スポーツ教室事業では、パターゴルフ、フライングディスクゴルフなどのニュースポーツを市民に紹介した。
- 【8年度】・ラリーテニスルールに付則とし、交互打ち(卓球形式)を加える。
スポーツ教室事業では、泳げない中高年を対象に水慣れ教室を実施、また学校校庭の夜間開放を利用し、ソフトボール教室を実施した。
- 【9年度】・10月10日、地域体育館(白糸台、押立、栄町、本宿、四谷)でスポーツになじみの浅い市民にも、スポーツに親しんでもらうことを目的に、各体育館に指導員を配置して、“みんなのスポーツday”を実施した。
345名の参加者があった。

- 【10 年度】・ラリーテニスのルール中、ラケットの規定を長さのみの規定とし、55 cm以下とした。
・「みんなのスポーツ day」を体育指導委員への委託事業として、地域体育館（白糸台、押立、栄町、本宿、四谷、日吉）で実施し 667 名の参加を得た。
- 【11 年度】・ニュースポーツルール集（ラリーテニス、ソフトバレーボール、インディアカ、ユニバーサルホッケー、ユニカール、ペタンク、グラウンドゴルフ、パークゴルフ、四半的弓道）を作成した。
・ラリーテニスルールの検討とガイドブックの作成を行った。
- 【12 年度】・第 1 回ラリーテニス代表者会議を開催し、各代表者に自主的な交流等を行うよう訴えた。また、その参考とする為、各クラブの活動状況がわかる冊子を作成した。
- 【13 年度】・第 2 回ラリーテニス代表者会議を開催し、ラリーテニスクラブの組織化を提案し、体育指導委員主導でクラブ代表者の協力を受け組織化を図ることとした。
- 【14 年度】・ラリーテニス協会が設立され、市立総合体育館において記念大会を開催し、交流会、競技会を実施した。
- 【15 年度】・白糸台体育館健康クラブが 152 名の会員数で設立され、白糸台体育館を主に様々な事業を展開した。
・「市民の健康」を柱とし、ふだん運動不足の方に家庭でも簡単にできる体操を実施するために市民スポーツ指導員・体育指導委員等を派遣し、健康体操の出前指導を行う。
- 【16 年度】・市民スポーツ指導員の呼称を市民スポーツリーダーと改める。
・市内を活動場所の拠点とするトップリーグ 5 団体（東芝ラグビー部・サントリーラグビー部・トヨタ男子バスケットボール部・NEC 男子バレーボール部・FC 東京）の協力を得て、市制施行 50 周年を記念し味の素スタジアムにおいて「ボールふれあいフェスタ」を開催した。
- 【17 年度】・府中市スポーツ振興計画策定協議会の報告を受け、合せて市民意見の募集を行い、スポーツ振興推進計画を策定し、スポーツタウン府中の実現をめざす。
- 【18 年度】・第 38 回市政世論調査が行われ、週 1 回以上スポーツをする市民は 33.3%、まったくスポーツをしない市民は 29.3%とスポーツに対する市民の 2 極化が明らかになる。
・府中市スポーツ振興推進計画では、週 1 回 30 分以上スポーツをする市民の割合を平成 25 年度までに 50%以上を数値目標として定め、目標達成に向けた取組みを進める。
・府中市スポーツ振興推進計画を受けて府中市体育施設整備計画構想を策定する。
- 【19 年度】・平成 19 年度東京都体育指導委員広域地区別研修会（第 9 ブロック）を、府中市を会場市として開催した。
・「各市が誇る特色ある事業への取り組み」をテーマに各市が事例を発表し、講師から講評を受けた。
・市民体育大会が 50 回を迎え、記念大会を開催した。
・府中市体育協会が特定非営利活動法人（NPO 法人）を取得し、平成 20 年 1 月 10 日に法人登記を完了した。
- 【20 年度】・ターゲットバードゴルフ協会の加盟により、NPO 法人府中市体育協会の加盟団体が 32 団体となる。
・競技スポーツの人口拡大を目的として、スポーツ体験講習会を実施した。
・競技スポーツ指導者の資質向上を目的として、スポーツ団体指導者講習会を実施した。
・スポーツになじみが浅い市民の参加しやすいよう、地域に密着した事業とするため、地域体育館運営協議会の協力を得て、「みんなのスポーツ day」を実施した。
- 【21 年度】・高齢者の体力維持や健康増進を促すとともに、地域交流の場として日ごろの活動成果を発表する機会のため、第 1 回高齢者スポーツ大会（軟式野球競技）を開催した。
・新型インフルエンザの感染拡大防止のため、屋内で実施する予定であったジュニアスポーツ大会の一部と、不特定多数の市民が参加するみんなのスポーツ day、長距離のバス移動を伴うジュニアスキースクールを中止とした。
- 【22 年度】・「高齢者スポーツ大会」の名称を「シニアスポーツ大会」と改め、還暦軟式野球競技を実施した。
・平成 25 年開催の「スポーツ祭東京 2013」において、「デモンストレーションとしてのスポーツ行事」として府中市で実施されるダブルダッチ等の PR のため、市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルや市民体育大会秋季大会の開会式で公開演技を行った。

- 【23 年度】・スポーツ基本法施行に伴い、「体育指導委員」の職務として、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整を規定上追加するとともに、名称をスポーツ推進委員に変更した。
- ・市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルや市民体育大会秋季大会の開会式等で「スポーツ祭東京2013」のPRを行った。
- 【24 年度】・地域体育館自主事業に、「元気一番！！ふちゅう体操」を取り入れた。
- ・子どもの体力向上を目的とした「子ども体力チャレンジ」を実施した。
- ・市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルや市民体育大会秋季大会の開会式等で、「スポーツ祭東京2013」のPRを行った。
- 【25 年度】・「スポーツ祭東京2013」が開催され、国民体育大会の正式競技として卓球、サッカー、軟式野球が、デモンストレーションとしてのスポーツ行事としてダブルダッチとフォークダンスが、また、全国障害者スポーツ大会の正式競技としてサッカーが、オープン競技として手のひら健康バレーとスポーツチャンバラが、市内体育施設で実施された。
- 【26 年度】・「スポーツタウン府中」の発展を目指し、平成19年から25年を計画期間とする「府中市スポーツ振興推進計画」の次期計画として、「府中市スポーツ推進計画」を策定した。
- ・平成26年度東京都スポーツ推進委員研修会広域地区別研修会（第9ブロック）を、府中市を会場市として開催した。「各市が誇る特色ある事業への取り組み（7年経った今）」をテーマに各市が事例を発表した。
- ・市制施行60周年記念事業として、「ウォーキング・ウォークラリー『歩いて知ろうわがまち府中！』」を開催した。
- 【27 年度】・府中市内を拠点に活動する府中アスレティックFC、トヨタ自動車アルバルク東京との協働によるスポーツ教室を開催した。
- ・ラグビーを通じたスポーツ参加機会の提供とラグビーワールドカップ日本開催に向けた気運醸成を目的として、府中市内を活動拠点とするサントリーサンゴリアスの連携・協力のもと、ラグビー教室を開催した。
- 【28 年度】・スポーツの振興、青少年の健全育成を目的とし、府中市内を活動拠点とするサントリーサンゴリアスのスタッフ業務体験イベントをキッズ向けに開催した。
- ・特定非営利活動法人府中市体育協会が府中駅北第2庁舎4階に移転した。
- 【29 年度】・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成、スポーツを通じたにぎわいの創出及びスポーツ人口の拡大を目的として、府中駅伝競走大会のコースを、市民陸上競技場を中心とする市街地を周回するコースへ変更した。
- ・障害者スポーツの認知向上、実施率向上、共生社会の実現を目的としてボッチャの普及啓発活動を展開した。
- ・オーストラリア野球連盟との、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた事前キャンプに関する覚書の締結に伴い、野球オーストラリア代表が、市内で初の事前キャンプを開催した。
- 【30 年度】・「学校施設の更なる活用と地域プールの見直しに係る基本方針」に基づき、地域プールを廃止した際の代替施設として学校プールを活用するにあたり、そのモデル事業として第十中学校においてプール開放を実施した。
- ・東京2020オリンピック・パラリンピックの気運醸成及び大会開催を契機とした普段スポーツを実施していない層へのスポーツ実施の機会拡大を目的とし、オリンピック・パラリンピック種目についての体験会・講習会・講演会等の事業の企画・実施をする「スポーツ機会拡大事業」を体育協会へ委託し実施した。
- ・朝日サッカー場の施設名称を、「府中朝日フットボールパーク」に改称した。
- ・ラグビーワールドカップ2019におけるイングランドとフランス、及び決勝トーナメントの公認チームキャンプ地に決定した。
- ・市内の福祉作業所を対象としたボッチャ大会を開催した。

令和

- 【元年度】・ボッチャの普及啓発活動の一環として、子どもから大人まで、障害の有無に関わらず誰もが参加できる第1回ボッチャ大会を開催した。また、東京都市町村ボッチャ大会の予選会も兼ねた。
- ・オーストラリア卓球連盟及びオーストラリアオリンピック委員会と東京2020オリンピック等に係る覚書を締結した。

- ・野球及び車いすバスケットボールオーストラリア代表の事前キャンプを受け入れた。
 - ・東京 2020 オリンピック自転車競技ロードレースが市内を通過することに伴い、東京 2020 オリンピック自転車競技ロードレーステストイベント「READY STEADY TOKYO-自転車競技（ロード）」を開催した。
 - ・ラグビーワールドカップ 2019 公認チームキャンプを受け入れた。（イングランド代表・フランス代表・南アフリカ代表）
 - ・ラグビーワールドカップ 2019 をラグビーのまち府中から盛り上げるとともに、本市の来訪者をもてなすため、開催期間中を「FUCHU RUGBY WEEK」と題し、パブリックビューイングと市内飲食店等による飲食販売を行う「FUCHU STREET BAR」を開催した。
- 【2年度】・新型コロナウイルス感染症の影響により、一堂に会する事業は概ね中止となったが、動画配信や非対面で行うオンライン形式での事業を実施した。
- 【3年度】・新型コロナウイルス感染症の影響により、大半の事業は中止となったが、感染対策を講じて一部事業が再開した。
- ・延期されていた東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、東京競馬場でのオリンピック聖火リレーの点火セレモニーの様子がライブ中継された。また、パラリンピック聖火リレーの採火に多くの市民に関わってもらい、その後行った聖火ビジットにも多くの市民が来場した。
 - ・卓球オーストリア代表とラグビー日本代表の事前キャンプを受け入れ、各施設の整備及び競技用備品を準備し、良好な練習環境を提供した。
 - ・東京 2020 オリンピック・パラリンピックが開催され、自転車競技ロードレースの選手が市内を通過することに伴い、モニュメントを設置して気運醸成を図った。
- 【4年度】・「スポーツタウン府中」のさらなる発展を目指し、令和4年度から令和11年度を計画期間とする「第2次府中市スポーツ推進計画」を策定した。
- ・組織改正により課名を「スポーツ振興課」から「スポーツタウン推進課」に変更した。
 - ・女子野球を通じた地域活性化を図る自治体として、全日本女子野球連盟から都内で初めて女子野球タウンに認定された。
 - ・令和4年度東京都スポーツ推進委員研修会広域地区別研修会（第9ブロック）を、府中市を会場市として開催した。「コロナ禍におけるスポーツ推進委員の活動について」～変わったもの・変わらなかったもの・変えられなかったもの～をテーマに各市が事例を発表した。
 - ・WBC（ワールド・ベースボール・クラシック）が開催され、本市がホストタウンである野球オーストラリア代表チームの同大会に向けた事前キャンプを受け入れた。
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた事業を、感染対策を講じて概ね再開した。
- 【5年度】・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が第5類に移行したため、中止や規模を縮小していた事業を以前同様に再開した。
- ・日本郵政株式会社と『スポーツ振興による地域活性化に関する協定』を締結した。
 - ・FIBA バスケットボールワールドカップ 2023 の開催に伴い、ルミエール府中にてパブリックビューイングを実施した。
 - ・令和5年6月15日から9月12日の90日間クラウドファンディングを実施し、市民球場のトイレ及び更衣室の改修工事を行った。
 - ・ラグビーワールドカップ 2023 の日本代表選手によるパレード及びトークショーを実施した。
 - ・THE ROAD RACE TOKYO TAMA 2023 にてけやき並木通りを含む府中市の道路を選手が通過した。

府中市スポーツ推進委員に関する規則

府中市体育指導委員に関する規則（昭和 37 年 3 月府中市教育委員会規則第 2 号）の全部を改正する。

（趣旨）

第 1 条 この規則は、スポーツ基本法（平成 23 年法律第 78 号）第 32 条第 2 項の規定に基づくスポーツ推進委員の職務その他スポーツ推進委員に関し、必要な事項を定めるものとする。

（職務）

第 2 条 スポーツ推進委員は、市民のスポーツの推進に関し、その分担する地域又は事項について、次の職務を行う。

- (1) スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整を行うこと。
- (2) 市民の求めに応じて、スポーツの実技指導を行うこと。
- (3) 市民のスポーツ活動の促進のための組織の育成を図ること。
- (4) 学校、公民館等の教育機関その他行政機関の行うスポーツの行事又は事業に関し協力すること。
- (5) スポーツ団体その他の団体の行うスポーツに関する行事又は事業に関し、求めに応じ協力すること。
- (6) 市民に対し、スポーツについての理解を深めること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、市民のスポーツの推進のための指導及び助言を行うこと。

2 前項の規定によりスポーツ推進委員が分担する地域又は事項は、教育長が定める。

（定数）

第 3 条 スポーツ推進委員の定数は、25 人以内とする。

（任期）

第 4 条 スポーツ推進委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠のスポーツ推進委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 教育委員会は、前項の規定にかかわらず、特別の事由があるときは、前項の期間中においてもスポーツ推進委員を免職することができる。

（報酬及び費用弁償）

第 5 条 スポーツ推進委員の報酬及び費用弁償については、非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例（昭和 31 年 12 月府中市条例第 28 号）の定めるところによる。

（服務）

第 6 条 スポーツ推進委員は、相互に密接に連絡し、協力しなければならない。

2 スポーツ推進委員は、その職務を遂行するに当たって、法令、条例並びに

教育委員会の定める規則及び規程に従わなければならない。

- 3 スポーツ推進委員は、その職の信用を傷つけ、又はその職全体の不名誉となるような行為をしてはならない。

(研修)

第7条 スポーツ推進委員は、常に、その職務を行ううえで必要な知識及び技術の修得に努めなければならない。

(委任)

第8条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

付 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成23年8月24日から施行する。

(経過措置)

- 2 スポーツ基本法の施行の際現に体育指導委員である者で同法附則第4条の規定によりスポーツ推進委員とみなされたものの任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、同法の施行の日における体育指導委員としての任期の残任期間と同一の期間とする。

府中市スポーツ推進委員会規約

(名称及び事務所)

第1条 この会は、府中市スポーツ推進委員会（以下「委員会」という。）と称し、事務所を府中市文化スポーツ部スポーツタウン推進課におく。

(目的)

第2条 委員会は、府中市の体育及びレクリエーションの振興をはかるための研究協議及び事業を行い、並びに委員相互の研修及び親睦をはかることを目的とする。

(構成)

第3条 委員会は、府中市スポーツ推進委員（以下「委員」という。）をもって構成する。

(役員)

第4条 委員会は、委員の互選により次の役員をおく。

会 長 1名、副会長 2名、会計 1名、監事 1名

(役員の職務)

第5条 役員の職務は次のとおりとする。

- (1) 会長は、委員会を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときはその職務を代行する。
- (3) 会計は、委員会の経理をつかさどる。
- (4) 監事は、経理を監査する。

(専門部)

第6条 委員会に次の各号に掲げる専門部をおき、委員はいずれかの部に属する。

(1) 研修部 (2) 事業部 (3) 総務部

2 専門部に部長及び副部長を1名おく。部長は役員の選出に合わせて委員の互選により、また副部長は部員の互選により選出する。ただし、役員は部長及び副部長と兼ねることができない。

(地区担当)

第7条 委員会は地区担当制をとり、委員は次のいずれかの文化センター地区を担当する。

(1) 中央地区 (2) 白糸台地区 (3) 西府地区 (4) 武蔵台地区
(5) 新町地区 (6) 住吉地区 (7) 是政地区 (8) 紅葉丘地区
(9) 押立地区 (10) 四谷地区 (11) 片町地区

2 各地区に代表者をおく。

(常任委員会)

第8条 委員会に常任委員会をおき、年間計画及び活動予定の調整ならびに各専門部の連携をはかる。

2 常任委員会は、会長・副会長・会計及び専門部の部長をもって構成する。

(役員等の任期)

第9条 委員会の役員ならびに専門部の部長及び副部長の任期は2年とする。
ただし、再任を妨げない。

(会 議)

第10条 委員会の会議は、次の各号に掲げるとおりとし、その開催は当該各号に定めるところによる。

- (1) 定 例 会 原則として毎月1回会長の招集により開催する。ただし、必要に応じて臨時会を開催することができる。
- (2) 常任委員会 必要に応じて会長の招集により開催する。
- (3) 専門部会 必要に応じて部長の招集により開催する。

2 委員会の全ての会議の議事は、出席委員の過半数をもって決する。

(経 理)

第11条 委員会の経理は、会費その他の収入をもってあてる。

(会計年度)

第12条 委員会の会計年度は、毎年4月1日にはじまり翌々年3月31日で終わる。

(規約改定)

第13条 この規約は、過半数の委員が出席する定例会又は臨時会で改正することができる。

(雑 則)

第14条 この規約は、細部の運用については、別に定める。

付 則

この規約は、昭和48年4月1日から施行する。

府中市体育指導委員連絡協議会規約（昭和37年12月）は廃止する。

付 則

この規約は、昭和57年4月1日から施行する。

付 則

この規約は、昭和62年7月17日から施行する。

付 則

この規約は、平成17年3月3日から施行する。

付 則

この規約は、平成20年4月1日から適用する。

付 則

この規約は、平成23年10月11日から施行する。

付 則

この規約は、平成28年4月7日から施行し、平成27年4月1日から適用する。

付 則

この規約は、平成 2 9 年 5 月 1 1 日から施行し、平成 2 9 年 4 月 1 日から適用する。

付 則

この規約は、令和 4 年 4 月 7 日から施行し、令和 4 年 4 月 1 日から適用する。

府中市スポーツ推進委員会規約細則

(目 的)

第1条 この細則は、府中市スポーツ推進委員会規約の運用について、必要な事項を定めることを目的とする。

(会長の選出)

第2条 会長の選出方法は、定例会において以下の順序により選出する。

(1) 立候補による

立候補者の所信表明の基づく無記名投票とし、得票数の最も多い者を選出する。

立候補者が1名の時は、信任投票とし過半数の信任で選出する。

(2) 推薦に基づく選出（立候補者がいない場合若しくは信任されない場合）

推薦人は1名以上で可とするが、被推薦者の承諾を必要とする。無記名とし、推薦による候補者が複数あった場合は、得票数の最も多い者を選出する。

推薦による候補者が1名の時は過半数の信任で選出する。

(3) (1)及び(2)により選出されない場合は、個別に調整を行い選出する。

(専門部の職務)

第3条 専門部の主な職務内容は、次のとおりとする。

(1) 研修部 研修部は、市民のスポーツ活動の質的向上をはかるため、スポーツ推進委員（以下「委員」という。）をはじめ、市民スポーツに関わる指導者の資質向上をはかり、指導者間の有機的な活動を助けるために次の職務を行う。

ア 委員及び市民スポーツ指導者の研修に関すること。

イ スポーツリーダー制度に関すること。

ウ スポーツ・レクリエーション指導者の連携と組織化に関すること。

エ その他研修部として必要と思われること。

(2) 事業部 事業部は、スポーツ人口の拡大をめざし、市民のスポーツ・レクリエーション活動を普及するために、潜在層の掘り起こし並びにスポーツグループ育成に必要な次の各種事業の計画に関することを職務とする。

ア スポーツ教室に関すること。

イ 新しいスポーツ・レクリエーションの種目の開発と普及に関すること。

ウ スポーツ・レクリエーションの行事及び大会等に関すること。

エ 体力測定等運動適正診断と処方のための事業に関すること。

オ その他事業部として必要と思われること。

(3) 総務部 総務部は、市民がスポーツに対する意識を高めるための啓蒙・啓発、並びにスポーツを浸透させるための広報・公聴に関することを主な職務とする。

また、委員会の円滑な運営を助けるための庶務的事項を処理する。

- ア 市民スポーツの啓蒙・啓発に関すること。
- イ スポーツ・レクリエーションについての広報・公聴に関すること。
- ウ スポーツ推進委員会会報の編集を行うこと。
- エ スポーツグループ等の動向について調査・把握すること。
- オ 委員の派遣等に関すること。
- カ その他委員会の庶務的事項に関すること。

(プロジェクト)

第4条 各専門部間にわたる課題達成のため、プロジェクトを編成することができる。なお、課題達成後はその編成をとく。

2 プロジェクトの編成に関しては、常任委員会が提議する。

(分科会)

第5条 各専門部は課題達成のため、分科会を組織することができる。なお、課題達成後はその編成をとく。

(地区担当の職務)

第6条 地区担当は、地区でのスポーツ活動を推進するため、次の職務を行なうと共に、地区をこえた広域的な活動をあわせて行なう。

- (1) スポーツの生活化をすすめるため、地区組織及び地区内のスポーツグループを育成・援助すること。
- (2) 地区内の各種組織との連携をはかるとともに、指導者の発掘を行なうこと。
- (3) 地区内に潜在するスポーツ人口の開発をすすめるため、事業を行なうこと。
- (4) 地区内住民の各種スポーツ相談に応じること。
- (5) その他地区内のスポーツ振興に関わること。

(議長)

第7条 委員会の各会議の議長は、次のとおりとする。

- (1) 定例会及び臨時会 議長団
- (2) 常任委員会 会長
- (3) 専門部会 部長

(会費)

第8条 委員会の会費は、年額 12,000 円とし、会計が徴収する。

付 則

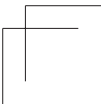
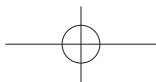
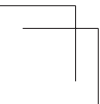
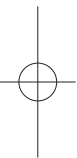
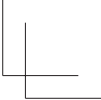
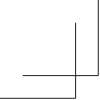
この細則は、平成 17 年 3 月 18 日から施行する。

付 則

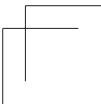
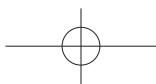
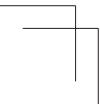
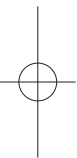
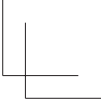
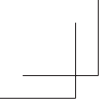
この細則は、平成 23 年 10 月 11 日から施行する。

令和5年度府中市スポーツ推進委員名簿

	氏 名	住 所	役 職	所属部	担当地区
1	イシダ 石田 ヨシヒサ 宜久	府中市府中町	総務部長	総務部	中央
2	イノウエ 井上 ユカコ 由佳子	府中市緑町		総務部	白糸台
3	オオタケ 大竹 ヒトミ ひとみ	府中市宮西町	副会長	総務部	片町
4	キシ 岸 ユウコ 優子	府中市本町		研修部	中央
5	キムラ 木村 ケンジ 健二	府中市晴見町		研修部	武蔵台
6	コウノス 鴻巣 ヒロシ 裕司	府中市白糸台		事業部	押立
7	コグチ 古口 トキハル 時治	府中市新町		事業部	新町
8	コヤタ 小谷田 エリ 恵理	府中市武蔵台	事業部長	事業部	武蔵台
9	シモジマ 下島 ヒロミ 博美	府中市寿町		研修部	片町
10	スズキ 鈴木 ヒデトシ 英俊	府中市南町		研修部	住吉
11	セトグチ 瀬戸口 ユキノリ 幸則	府中市四谷	会長	総務部	四谷
12	ナカガワ 中川 イチロウ 一郎	府中市八幡町	監事	研修部	白糸台
13	ナカジマ 中島 ジュンコ 順子	府中市小柳町		研修部	是政
14	ナリタ 成田 フサイ フサイ	府中市四谷	会計	総務部	住吉
15	ノグチ 野口 モモ もも	府中市分梅町		事業部	四谷
16	ハマダ 濱田 テルユキ 輝之	府中市浅間町		事業部	紅葉丘
17	フカツ 深津 ヤスト 康人	府中市是政	副会長	事業部	是政
18	モトヤマ 元山 カオル 薫	府中市本宿町	研修部長	研修部	西府
19	ヨシオカ 吉岡 ダイ スケ 大翼	府中市白糸台		事業部	押立
20	ワタナベ 渡邊 トモコ 朋子	府中市府中町		事業部	新町



資料



社 会 体 育 奨 励 事 業

事 業 名		期 日	会 場	内 容	
都 民 体 育 大 会	第 7 6 回 春 季 大 会	4月30日～6月17日	武 蔵 野 の 森 総合スポーツプラザ他	陸上競技他 21競技 ※第76回大会総合成績 男子 13位 女子 11位	延322 人
	第 7 7 回 夏 季 大 会	7月17日～10月11日	東京アクアティクスセ ンター他	水泳競技 ゴルフ競技	延14 人 延5 人
	第 7 7 回 冬 季 大 会	2月23日～3月3日	都立武蔵野の森公園他	スキー競技 駅伝競走	延12 人 延9 人
第 5 5 回 東京都市町村総合体育大会		7月8日～8月5日	羽村市生涯学習セン ター プリモホールゆとりぎ 大 ホ ー ル 他	陸上競技他 13競技 総合4位（男子4位・女子6位）	延221 人
令和 5 年度 都民生涯スポーツ大会		8月19日～12月2日	駒沢オリンピック公園 総 合 運 動 場 他	陸上競技他 15競技	延174 人
第 3 5 回 都民スポレクふれあい大会		9月2日～10月11日	駒沢オリンピック公園 総 合 運 動 場 他	ターゲットバードゴルフ競技他 3競技	延61 人
合 計					延818 人

市 民 体 育 大 会

事 業 名	期 日	会 場	内 容	
第 6 4 回 夏 季 大 会	8月19日・20日・27日	郷土の森総合プール他	一般・中学校対抗、少年の部 水泳競技他1競技	延 508 人
第 6 4 回 秋 季 大 会	10月1日～11月12日	市民陸上競技場他	一般・中学校対抗、少年の部 陸上競技他24競技	延 11,640 人
第 6 4 回 冬 季 大 会	1月20・21日	スノーリゾートロマンス の 神 様 ス キ ー 場	一般対抗、少年の部 スキー競技	101 人
合 計	3	事業	延	12,249 人

ス ポ ー ツ 大 会

事 業 名	期 日	会 場	内 容
ジュニアスポーツ大会	第62回 少年・少女野球大会	5月6日～7月16日	府 中 市 民 球 場 郷 土 の 森 第 一 野 球 場 学 童 35 チーム 中 学 14 チーム 計 49 チーム 714 人
	第47回 少年サッカー大会	5月13日～8月24日	調布基地跡地暫定少年 サ ッ カ ー 場 小学生 104チーム 中学生 12チーム 計 116 チーム 1,412 人
	第43回 ジュニア バレーボール大会	9月18日	総 合 体 育 館 第 2 体 育 館 室 3チーム 34 人
	第43回 少年剣道大会	12月10日	総 合 体 育 館 第 1 体 育 館 室 18チーム 123 人
	第42回 ジュニア卓球大会	1月22日	総 合 体 育 館 第 1 体 育 館 室 団体戦 9チーム 30 人 個人戦 107 人 計 延参加者数 137 人
	第42回 ジュニア バスケットボール大会	2月3日～2月23日	総 合 体 育 館 第 1 体 育 室 他 計 58チーム 614 人
	小 計		3,034 人
第55回 壮年ソフトボール大会	5月28日	是 政 ソフトボール場	40歳以上の男子 10チーム 138 人
第77回 府 中 駅 伝 競 走 大 会	2月11日	府中市民陸上競技場 市街地他	一般 209 チーム、高校男子 15 チーム 一般女子 12 チーム、中学男子 15 チーム 中学女子 8 チーム 計 259 チーム 1,295 人
第12回シニアスポーツ大会 還 暦 軟 式 野 球 競 技	11月11日・18日	郷 土 の 森 第 二 野 球 場	60歳以上（女性40歳以上） 7チーム 127 人
合 計		9 事業	4,594 人

レ ク リ エ ー シ ョ ン 事 業 等

事 業 名	期 日	会 場	内 容
第42回インディアカ大会	5月21日	郷 土 の 森 総 合 体 育 館 第 1 体 育 館 室	50 人
第32回市民スポーツ・ レクリエーションフェスティバル	6月18日～7月28日	郷土の森総合体育館ほか	15種目（演技種目含） 1,396 人
第27回 みんなの ス ポ ー ツ d a y	10月9日	地域体育館（押立・白 糸台・栄町・日吉・本 宿 ・ 四 谷 ）	986 人
第32回ラリーテニス大会	11月5日	郷 土 の 森 総 合 体 育 館 第 1 体 育 館 室	51 人
第34回四半的弓道の集い	11月5日	郷 土 の 森 総 合 体 育 館 第 2 体 育 館 室	86 人
歩いて知ろうわがまち府中！ （ ウ ォ ー キ ン グ ）	10月1日～10月31日	府 中 市 内	1,089 人
合 計		6 事業	3,658 人

トップチーム等連携事業

事業名	期 日	会 場	内 容
ラグビーのまち府中推進事業	パブリックビューイング 9月10日 10月8日	けやき並木通り	ワールドカップ日本代表戦 延1,000 人
	府中ダービープレシーズン マッチ市民等招待 11月18日	朝日フットボールパーク	1,027 人
	東芝・サントリー 練習試合市民等招待 1月21日 2月18日 3月24日	朝日フットボールパーク	延2,013 人
	ラグビーのまち 府 中 デ ー 11月26日	けやき並木通り及び フォーリス前	選手トークショー、体験コーナー PRブース出展等 700 人
	ラグビーワールドカップ 日本代表報告会 11月12日	けやき並木通り	パレード、トークショー 3,000 人
ラグビーのまち府中推進事業等	東芝・サントリー ホストゲーム等市民招待 12月9日 12月17日 3月23日	味の素スタジアム・ 秩父宮ラグビー場	延3,063 人
	東芝・サントリー ホストゲーム 観戦バスツアー 2月24日 3月23日	秩父宮ラグビー場	80 人
	ボールふれあいフェスタ 6月9日	けやき並木通り及び フォーリス光と風の広場	雨天中止
トップチーム連携事業等	トップチーム連携 スポーツイベント 8月5日 2月10日 3月10日、31日	FC東京パーク府中・ 朝日フットボールパーク・ 都立府中の森公園	延2,201 人
	パブリックビューイング 8月27日 3月16日 3月30日	けやき並木通り・ ミッテン府中	サッカー男子日本代表戦 延724 人
合 計			10 事業 13,808 人

スポーツタウン府中発展事業

事業名	期 日	会 場	内 容
府中スポーツ発展事業	スポーツタウン府中 推進月間 10月1日 ～ 10月31日	市内体育施設等	スタンプラリー、パネル展示等 延2,000 人
	ヨガイベント YOGA FOR MOM & KIDS 7月23日 10月8日 11月11日	郷土の森総合体育館	延122 人
	海外プロサッカー チームキャンプ 7月28日 ～ 8月1日	朝日フットボールパークほか	サッカークリニック、試合市民招待等 85 人
女子野球タウン推進事業	女子野球タウン認定1周年 セレモニー（ヴィーナス リーグ同時開催） 5月20日	府 中 市 民 球 場	1,000 人
	ヴィーナスリーグ 5月21日 7月2日 9月16日 10月21日	府 中 市 民 球 場	延2,000 人
	女子野球タウン府中杯 8月19日 ～ 8月27日	府 中 市 民 球 場	350 人
	コンディショニング講座 1月14日	中央文化センター	27 人
	読売ジャイアンツ 女子チームキャンプ 3月20日 ～ 3月22日	府 中 市 民 球 場	練習公開、プレベースボール体験等 延577 人
合 計			8 事業 6,161 人

パラスポーツ普及推進事業

事業名	期 日	会 場	内 容
あすチャレ！運動会	10月14日 3月9日	郷土の森総合体育館 ・生涯学習センター	延129 人
パラスポーツ体験会	12月10日	けやき並木通り	701 人
ポッチャ普及啓発事業	12月2日ほか	郷土の森総合体育館ほか	10回 延2,351 人
合 計			3 事業 3,181 人

郷土の森総合体育館スポーツ活動運営事業

事 業 名			期 間	回数	参加延人数	活 動 日 と 対 象
ジュニアスポーツ教室	新 体 操		5月～2月	20	236	水曜日15時30分～16時45分 小学生・中学生の女子市民
	剣 道		5月～2月	20	98	日曜日9時～10時30分 小学生・中学生の市民
	柔 道		4月～3月	20	92	土曜日15時30分～17時 小学生・中学生の市民
	相 撲		4月～2月	20	35	日曜日10時～12時 小学生・中学生の市民
	バ ド ミ ン ト ン		夏休み期間	3	43	10時～11時30分 小4～小6年生の市民
	卓 球		春休み期間	2	40	15時30分～17時 小学生の市民
	体 操		夏休み期間	3	45	10時～11時30分 小1～小3年生の市民
幼 児 体 育			5月～2月	11	21	水曜日10時～11時30分 3・4歳児 遊びを通しての基礎運動
協働	ベビトレヨガ・親子体操		春休み期間	1	15	10時30分～11時30分 2か月～2歳未満 親子体操・ヨガ
府中アスレ	フットサル	低 学 年	4月～3月	34	503	金曜日16時～16時50分 小1・2年生の市民
		中 学 年	4月～3月	17	249	金曜日17時～17時55分 小3・4年生の市民
		高 学 年	4月～3月	34	437	金曜日18時～19時 小5・6年生の市民
		初 心 者	4月～3月	34	517	金曜日19時15分～20時45分 16歳以上の市民
成人のためのトレーニング教室	ヨ ガ ・ 女 性 コ ー ス		4月～3月	30	999	月曜日の9時30分～10時40分・10時50分から正午 火・木・金・日曜日の10時～11時30分 月・水曜日の13時30分～15時 月曜日の19時～20時30分 16歳以上の市民 ストレッチ・エアロビクス・ジャズダンス・ヨガ リズム体操・トレーニングなど
	ヨ ガ ・ 一 般 コ ー ス		4月～3月	14	304	
	エ ア ロ ビ ク ス ・ 月 曜 コ ー ス		4月～3月	30	782	
	サーキットトレーニングコース		4月～3月	30	258	
	リズム体操・火曜コース		4月～2月	30	1,108	
	ソフトエクササイズコース		4月～3月	30	873	
	リズム体操・木曜コース		4月～3月	30	847	
	ジャズダンスコース		4月～3月	30	724	
	エアロビクス・日曜コース		4月～2月	30	708	
60歳からの健康づくり教室	火 曜 コ ー ス		4月～2月	30	448	火・水曜日15時30分～17時 金曜日13時30分～15時 60歳以上の市民 リズム体操・太極拳
	水 曜 コ ー ス		4月～3月	30	621	
	金 曜 コ ー ス		4月～3月	30	831	
軽スポーツ教室	水 曜 コ ー ス		5月～2月	20	244	水・土曜日10時～11時30分
	土 曜 コ ー ス			20	323	16歳以上の市民 ストレッチ・軽スポーツ
	卓 球		春休み期間	1	19	16歳以上の市民 卓球
夏のスポーツ教室	火 曜 コ ー ス		夏休み期間	4	92	火曜日10時～11時15分 木曜日13時30分～14時45分
	木 曜 コ ー ス			4	146	16歳以上の市民 ストレッチ・リズム体操
合 計 8種 30コース				612 回		11,658 人

郷土の森総合体育館指導者付き一般公開

一般公開指導	な ん だ	5月～6月	6	20	土曜日10時～12時 小学生以上の市民
合 計 1種 1コース			6 回		20 人

地域体育館スポーツ活動事業

自主事業の概要

	事業名	期間	回数	参加延人数	対象・内容など
朝日	60歳からの健康づくり教室A・B	4月～3月	27	671	60歳以上・リズム体操、練功十八法
白糸台	60歳からの健康づくり教室	4月～3月	27	1,799	60歳以上・ストレッチ体操、腰痛予防体操
	小学生体操教室	4月～3月	27	707	小学生・集団ゲーム、トランポリンなどの器械運動
	お気軽エアロ教室	4月～3月	27	361	16歳以上・エアロビクス、筋力トレーニング、ストレッチ
	シェイプアップ教室	4月～3月	27	1,538	18～60歳・ソフトエアロビクス、ストレッチ、筋力トレーニング
	ストレッチ&軽スポーツ教室	4月～3月	27	422	18～60歳・ストレッチ、リズム体操、軽スポーツ
	成人軽スポーツ教室	4月～3月	27	413	18歳以上・ストレッチ、リズム体操、軽スポーツ
押立	60歳からの健康づくり教室 月・火	4月～12月	32	2,024	60歳以上・腰痛予防体操、ストレッチ（2コース）
	リズム体操教室	4月～12月	15	635	18～60歳・ソフトエアロビクス、ストレッチ、筋力トレーニング
	Enjoyスポーツ教室	4月～12月	18	115	18歳以上・ニュースポーツ、ストレッチ（2コース）
	エアロビクス教室	4月～12月	16	236	16歳以上・エアロビクス、筋力トレーニング、ストレッチ
	ジュニアスポーツ教室	4月～12月	15	550	小学生・トランポリン運動、ニュースポーツ
	リズム体操&トレーニング教室	4月～12月	18	187	18歳以上・ソフトエアロビクス、ストレッチ、筋力トレーニング
	ヨガ教室	3月	3	38	18歳以上・ヨガ
栄町	60歳からの健康づくり教室A・B・金	4月～3月	81	2,858	60歳以上・腰痛予防体操、ストレッチ（3コース）
	シェイプアップ教室	4月～3月	27	1,082	18～60歳・ソフトエアロビクス、ストレッチ、筋力トレーニング
	ウォーキング&トレーニング教室	4月～3月	27	791	18～60歳・健康づくり体操、肩凝り・腰痛予防体操
	成人体力づくり教室	4月～3月	27	408	18歳以上・体力づくり体操、軽スポーツ
	こどもチャレンジスポーツ教室	4月～3月	27	548	小学生・トランポリン、手具を使った運動、集団ゲーム
日吉	60歳からの健康づくり教室 午前・午後	4月～3月	54	1,865	60歳以上・ストレッチ、練功十八法（2コース）
	リズム体操&ストレッチ教室	4月～3月	27	705	18～60歳・音楽を使った体操、ソフトエアロビクス
	小学生ニュースポーツ教室	4月～3月	27	656	小学生・トランポリン、ニュースポーツ
本宿	60歳からの健康づくり教室A・B	4月～3月	36	733	60歳以上・柔軟体操、腰痛予防体操（2コース）
	リズムダンス教室	4月～3月	18	378	18～60歳の女性・リズムダンス、ストレッチ
	エアロビクス教室	4月～3月	42	248	16歳以上・簡単なエアロビクス、筋力トレーニング
	ジュニアスポーツ教室	4月～3月	33	342	小学生・基礎体力向上を目的とした運動、レクゲーム
	シェイプアップ教室	4月～3月	33	502	18～60歳・リズム体操、筋力トレーニング、ストレッチ
四谷	60歳からの健康づくり教室	4月～12月	15	677	60歳以上・練功十八法、ストレッチ体操
	ソフトエアロビクス教室	4月～12月	17	631	18～60歳・ソフトエアロビクス、筋力トレーニング
	成人体力づくり教室	4月～12月	18	120	18歳以上の方・リズム体操、ストレッチ、筋力トレーニング
	小学生体力づくり教室	4月～12月	18	694	小学生・トランポリン、手具を使った運動、集団ゲーム
	リズム体操&ストレッチ教室	4月～12月	16	590	18歳～60歳・リズム体操、筋力トレーニング、ストレッチ
	ヨガ教室	3月	3	34	18歳以上・ヨガ
合 計 33事業 39コース			852回	23,558人	

夏休み指導者付き一般公開

体育館名	事業名	期間	回数	参加延人数	対象
白糸台	サマーストレッチ広場	7月6日～7月20日	3	138	地域住民
日吉	サマーストレッチ広場	6月23日～7月7日	3	94	地域住民
押立	サマーストレッチ広場	6月20日～7月11日	3	132	地域住民
栄町	サマーストレッチ広場	7月3日～7月17日	3	138	地域住民
本宿	サマーストレッチ広場	7月10日～7月24日	3	223	地域住民
四谷	サマーストレッチ広場	7月5日～7月19日	3	47	地域住民
合 計		6事業	18回	772人	

指導者付き一般公開

体育館名	事業名	期間	回数	参加延人数	対象
白糸台	ファミリースポーツ広場	4月～3月	40	250	地域住民
	成人スポーツ広場	4月～3月	47	724	地域住民
押立	ファミリースポーツ広場	4月～11月	26	298	地域住民
栄町	ファミリースポーツ広場	4月～3月	30	350	地域住民
	成人スポーツ広場	4月～3月	39	579	地域住民
本宿	ファミリースポーツ広場	4月～3月	46	556	地域住民
	成人スポーツ広場	4月～3月	40	924	地域住民
四谷	ファミリースポーツ広場	4月～11月	19	184	地域住民
	成人スポーツ広場	4月～11月	11	62	地域住民
合 計		9事業	298回	3,927人	

運営協議会委託事業

体育館名	事業名	実施日	参加延人数	対象
白糸台	ニューススポーツのつどい	6月10日(土)	68人	地域住民
押立	レクリエーションのつどい	3月3日(日)	47人	地域住民
栄町	ニューススポーツのつどい	3月10日(日)	237人	地域住民
日吉	地域運動会とラリーテニスのつどい	9月9日(土)	141人	地域住民
本宿	地域レクリエーションのつどい	10月9日(祝)	85人	地域住民
四谷	レクリエーションのつどい	3月9日(土)	174人	地域住民
合 計		6事業	752人	

体育関係団体主催事業（補助事業）

事業名	実施日	会場	内容
陸上競技協会 第58回府中市陸上競技選手権兼野口栄治杯 争奪中学校対抗陸上競技大会	7月2日	市民陸上競技場	49チーム 429人
野球連盟 府中市軟式野球競技大会	4月1日～3月31日	市民球場他	122チーム 2,221人
学童野球連盟 令和5年度学童野球府中選手権大会	4月2日～5月7日	郷土の森第一野球場	33チーム 470人
ソフトボール連盟 令和5年度春季ソフトボール大会	4月2日～5月7日	是政ソフトボール場	23チーム 2020人
中学生軟式野球連盟 第40回府中市市長杯春季大会	4月2日～7月17日	郷土の森第一野球場他	9チーム 186人
サッカー連盟 府中市サッカーリーグ	4月9日～3月3日	郷土の森サッカー場他	48チーム 1,400人
ソフトテニス連盟 2023年度連盟個人戦	4月9日	郷土の森庭球場	54人
ゲートボール協会 第38回府中市ゲートボール親善大会	4月10日	市民陸上競技場	12チーム 69人
ターゲットバードゴルフ協会 第15回ターゲットバードゴルフ市民フェスタ	5月20日	郷土の森サッカー場	73人
弓道連盟 初心者弓道体験教室	5月14日～7月30日	郷土の森総合体育館 弓道場	19人
グラウンドゴルフ協会 府中市民グラウンド・ゴルフ親善大会	5月9日	郷土の森サッカー場	266人
府中市総合型fスポーツクラブ 第16回fカップ玉入れ選手権大会	11月23日	白糸台体育館	10チーム 60人
バレーボール連盟 第45回連盟加入チームリーグ戦	11月19日～12月3日	地域体育館	22チーム 375人
フットサル協会 第38回府中市フットサル大会	1月6日～1月8日	地域体育館他	191チーム 3,000人
ダンススポーツ連盟 新春ダンスの集い	1月7日	市民活動センターブラッ パルトホール	120人
少年サッカー連盟 府中カップ少年サッカー大会	1月21日～2月17日	調布基地跡地 暫定少年サッカー場他	109チーム 1,116人
卓球連盟 第62回府中市市長杯争奪卓球大会	2月4日	郷土の森総合体育館 第1体育室	77チーム 154人
剣道連盟 令和5年度府中市剣道個人優勝大会	5月28日	郷土の森総合体育館 第1体育室	375人
水泳連盟 第39回府中市水泳記録会	7月17日	郷土の森総合プール	79人
バスケットボール連盟 府中市夏季オープン大会・審判講習会	5月28日～6月25日	地域体育館他	10チーム 150人
スキー連盟 府中市スキー講習会	1月5日～1月7日	菅平高原スキー場	23人
バドミントン連盟 第56回府中市バドミントン総合選手権大会	2月18日	郷土の森総合体育館 第1体育室	216人
綱引連盟 初心者綱引き教室	1月20日	本宿体育館	12人
庭球連盟 近隣市親善試合	2月18日	平和の森庭球場	2チーム 33人
ライフル射撃協会 第41回ビームライフル初心者夏季無料講習会	8月20日	郷土の森総合体育館	17人
ジュニアスポーツ振興会バスケットボール部 第48回府中市ジュニアバスケット ボール選手権大会	6月25日～7月9日	地域体育館他	38チーム 400人
むさし府中青年会議所 第40回わんぱく相撲府中場所	5月21日	国司館と家康御殿史跡広場	471人
ハンドボール連盟 ハンドボール体験会（ミニ・ハンドボール教室）	7月16日～2月12日	地域体育館他	45人
クレ射撃連盟 府中市クレ射撃連盟選手権	9月23日	大月クレ射撃場	28人
ゴルフ連盟 府中市民オープンゴルフ大会	7月13日	相模湖カントリークラブ	20人
合計	30事業		延 13,901人

全国大会等出場補助事業

事業名	実施日	会場	内容
MIZUNO BASEBALL DREAM CUP J r . Tournament2023 全国大会1st Stage 熊本ラウンド	7月28日 ～ 31日	熊本県	市民 (小学生・男子) 20 人
第36回全国小学生ハンドボール大会	8月2日 ～ 6日	京都府	市民 (小学生・男子) 25 人
全国ホープス東日本ブロック卓球大会	8月5日 ～ 6日	三重県	市民 (小学生・男子) 4 人
第65回小学生・中学生全国空手道選手権大会	8月5日 ～ 6日	福岡県	市民 (小学生・男子) 1 人
第65回小学生・中学生全国空手道選手権大会	8月5日 ～ 6日	福岡県	市民 (中学生・男子) 1 人
第65回小学生・中学生全国空手道選手権大会	8月5日 ～ 6日	福岡県	市民 (中学生・男子) 1 人
第65回小学生・中学生全国空手道選手権大会	8月5日 ～ 6日	福岡県	市民 (中学生・女子) 1 人
第65回小学生・中学生全国空手道選手権大会	8月5日 ～ 6日	福岡県	市民 (中学生・女子) 1 人
2023年第13回全日本少年軟式野球クラブチーム選抜大会 (びわこカップ)	8月12日 ～ 14日	滋賀県	市民 (中学生・男子) 27 人
第63回全国中学校水泳競技大会	8月17日 ～ 18日	香川県	市民 (中学生・女子) 1 人
第63回全国中学校水泳競技大会	8月17日 ～ 18日	香川県	市民 (中学生・女子) 1 人
第39回関東少年少女ハンドボール大会	10月21日 ～ 22日	千葉県	市民 (小学生・男子) 24 人
第47回関東地区空手道選手権大会	10月29日	群馬県	市民 (中学生・女子) 1 人
2023年全日本卓球選手権大会 カデットの部	11月3日 ～ 5日	徳島県	市民 (中学生・女子) 1 人
第12回関東少年少女空手道選手権大会	11月11日 ～ 12日	千葉県	市民 (小学生・男子) 1 人
第47回関東地区空手道選手権大会	10月29日	群馬県	市民 (小学生・女子) 1 人
第47回関東地区空手道選手権大会	10月29日	群馬県	市民 (中学生・男子) 1 人
第32回U-15 ジュニアセレクトカップハンドボール大会	12月23日 ～ 27日	徳島県	市民 (中学生・男子) 1 人
第32回U-15 ジュニアセレクトカップハンドボール大会	12月23日 ～ 27日	徳島県	市民 (中学生・男子) 1 人
合 計	19 回		延 114 人

表彰関係

月 日	表 彰 名	被 表 彰 者	表 彰 者
5月7日	東京都体育協会表彰 (生涯スポーツ功労者)	岩 間 和 男	(公財) 東京都体育協会
5月7日	東京都体育協会表彰 (生涯スポーツ優良団体)	府中市剣道連 連	(公財) 東京都体育協会
7月8日	東京都市町村体育協会連合会表彰 (功 労 者 表 彰)	曾 我 祥 信	東京都市町村体育協会連合会
11月3日	東京都スポーツ功労賞 (ス ポ ー ツ 功 労 者)	山 中 久	東京都
11月3日	東京都スポーツ功労賞 (ス ポ ー ツ 功 労 団 体)	府中市なぎなた連 連	東京都

体 育 施 設 の 利 用 状 況

1 野 球 場

施 設 名	開 設 期 間	利用時間数	利用者概数	利用率	市内率	面 数
市 民 球 場	4月 1日～12月28日 3月20日～ 3月31日	1,200	28,918	88.4	50.7	1
同 上 ナ イ タ ー	4月 1日～12月28日	419	15,098	98.4	63.7	-
府中市民第一野球場	4月 1日～12月28日 2月 18日～ 3月31日	4,326	60,762	44.4	85.0	4
同 上 ナ イ タ ー	4月 1日～11月30日	680	5,664	23.5	89.7	-
府中市民第二野球場	4月 1日～12月28日	3,789	38,031	39.7	82.3	4
	1月 4日～ 1月 8日					
	2月 3日～ 3月31日					
是 政 地 区 ソフトボール場	4月 1日～ 3月31日	881	11,432	15.4	100	2
是政地区一般野球場	4月 1日～ 3月31日	2,325	15,437	40.8	100	2
調布基地跡地暫定 少年野球場	4月 1日～ 3月31日	11,046	146,399	54.9	100	7
住 吉 地 区 野 球 場	全期間休場	0	0	0.0	0	2
合 計		24,666 h	321,741 人	44.4 %	91.4 %	22 面

2 サ ッ カ ー 場

施 設 名	開 設 期 間	利用時間数	利用者概数	利用率	市内率	面 数
府 中 市 民 サ ッ カ ー 場	4月 1日～ 3月31日	3,001	46,595	77.6	93.0	2
調布基地跡地暫定 少 年 サ ッ カ ー 場	4月 1日～ 3月31日	6,696	91,570	58.3	100	4
府中朝日フットボールパーク (旧：朝日サッカー場)	4月 1日～ 3月31日	535	21,350	89.2	55.5	1
合 計		10,232 h	159,515 人	67.9 %	96.5 %	7 面

※府中朝日フットボールパークはグラウンドのみ

3 陸 上 競 技 場

施 設 名	開 設 期 間	総利用者 概 数	個 人 利用者数	貸切件数・時間 (延)		貸切利用者概数	貸切市内率
				団体件数	時間 (延)	団体利用者概数	団体市内率
市民陸上競技場	4月1日～12月28日 1月4日～3月31日	71,582 人	40,625 人 (市内)13,355 (市外)27,270	262 件	1,249 h	30,957 人	81.5 %
				0 件	0 h	0 人	- %

4 庭 球 場

施 設 名	開 設 期 間	利用時間数	利用者概数	利用率	市内率	構造・面数
寿 町 庭 球 場	4月 1日～ 3月31日	4,948	15,835	96.7	99.3	砂入り人工芝 2 面
府中市民庭球場	4月 1日～ 3月31日	14,243	38,286	91.0	98.5	砂入り人工芝 4 面
同 上 ナ イ タ ー	4月 1日～ 3月31日	4,090	12,298	84.1	98.4	砂入り人工芝 4 面
武蔵台庭球場	4月 1日～ 2月29日	4,923	17,488	69.3	96.1	ク レ ー 3 面
同 上 ナ イ タ ー	4月 1日～11月30日	701	941	39.1	96.6	ク レ ー 3 面
小 柳 庭 球 場	4月 1日～ 3月31日	12,161	60,707	92.8	98.8	砂入り人工芝 5 面
同 上 ナ イ タ ー	4月 1日～ 3月31日	3,191	4,279	75.7	94.0	砂入り人工芝 4 面
押 立 庭 球 場	4月 1日～ 3月31日	4,793	15,842	94.6	98.7	砂入り人工芝 2 面
四 谷 庭 球 場	4月 1日～ 3月31日	4,699	14,032	90.4	99.0	砂入り人工芝 2 面
栄 町 庭 球 場	4月 1日～ 3月31日	5,416	36,670	97.3	99.6	砂入り人工芝 2 面
同 上 ナ イ タ ー	4月 1日～ 3月31日	2,082	3,813	94.4	99.4	砂入り人工芝 2 面
住 吉 庭 球 場	4月 1日～3月31日	4,589	17,626	88.6	99.1	砂入り人工芝 2 面
若 松 庭 球 場	4月 1日～ 3月31日	4,817	14,187	96.2	98.3	砂入り人工芝 2 面
西 府 庭 球 場	4月 1日～ 3月31日	3,976	10,474	77.3	96.6	ハ ー ド 2 面
紅葉丘庭球場	4月 1日～ 3月31日	4,721	13,974	93.0	98.6	砂入り人工芝 2 面
日新第二庭球場	4月 1日～ 3月31日	4,741	15,541	91.2	99.3	砂入り人工芝 2 面
紅葉丘第二庭球場	4月 1日～ 3月31日	2,547	7,314	99.1	98.4	砂入り人工芝 1 面
平和の森庭球場	4月 1日～ 3月31日	5,450	21,366	98.2	99.5	砂入り人工芝 2 面
同 上 ナ イ タ ー	4月 1日～ 3月31日	2,161	3,910	94.0	99.1	砂入り人工芝 2 面
合 計		94,249 h	324,583 人	89.0 %	98.5 %	14ヶ所33面（ナイター15面）

テニスクラブ登録数 …… 263クラブ（会員数2,882人）

テニス個人登録者数 …… 21,382人（うち、市外 3,017人）

5 プール等

施設名	開設期間	開催 日数	利用者数			利用者総数	市内率
			おとな	高校生	子ども		
市民プール	7月15日～8月27日	38	4,276	45	3,125	7,446	92.4
同上ナイター	8月1日～8月20日	17	688	13	417	1,118	94.5
美好水遊び広場	7月15日～8月27日	38	3,556	3	3,510	7,069	72.1
総合プール	7月15日～8月31日	48	30,709	843	37,562	69,114	59.7
西府プール	7月15日～8月27日	38	1,686	27	2,789	4,502	91.5
合 計		179 日	40,915 人	931 人	47,403 人	89,249 人	65.5 %

6 ゲートボール場

施設名	クラブ数	利用回数	利用 時間数	利用者 概数	面数
西府ゲートボール場	1	287	897	1,899	1
白糸台北公園ゲートボール場	3	34	103	225	2
新町ゲートボール場	4	288	1,152	1,982	2
合 計	8 クラブ	609 回	2,152 h	4,106 人	5 面

7 運動広場

施設名	開設期間	利用時間	利用者概数	利用率	市内率
是政運動広場	4月1日～3月31日	1,603	18,199	56.3	100
小柳町運動広場	4月1日～3月31日	4,172	32,292	48.3	100
合 計		5,775 h	50,491 人	52.3 %	100 %

8 体 育 館

(1) 総合体育館

利用者数

施 設 名	利用者総数	一般公開	貸 切	自主事業	一 般 公 開 内 訳	
					お と な	こ ど も
第 1 体 育 室	57,408	13,343	42,271	1,794	9,605	3,738
第 2 体 育 室	38,479	129	37,488	862	63	66
第 1 武 道 場	15,878	1,032	14,754	92	581	451
第 2 武 道 場	15,519	1,440	13,981	98	1,251	189
卓 球 室	10,653	10,653	0	—	9,074	1,579
相 撲 場	1,287	790	462	35	201	589
弓 道 場	11,487	2,719	8,768	—	2,549	170
ラ イ フ ル 場	1,091	777	314	—	756	21
レクリエーション ホ ー ル	18,454	513	9,200	8,741	406	107
ト レ ー ニ ン グ 室	19,082	19,082	—	—	19,082	—
幼 児 室	2,584	1,868	680	36	898	970
第1会議室・研修室	8,901	—	8,901	—	—	—
第 2 会 議 室	3,847	—	3,847	—	—	—
ミーティング室	9,499	—	9,499	—	—	—
合 計	214,169 人	52,346 人	150,165 人	11,658 人	44,466 人	7,880 人

(2) 地域体育施設スポーツ利用状況

地域体育館

施設名	利用者総数	一般公開	(おとな) (子ども)	貸切			自主事業
				合計	体育室	会議室	
白糸台	41,334	11,886	8,513 3,373	24,217 1,568	15,346 743	8,871 825	5,231
押立	28,591	9,335	6,216 3,119	15,426 1,259	7,017 381	8,409 878	3,830
栄町	32,459	15,562	10,604 4,958	11,224 1,006	7,818 490	3,406 516	5,673
日吉	22,254	5,233	3,645 1,588	13,784 604	12,931 543	853 61	3,237
本宿	38,952	14,478	10,994 3,484	17,660 1,341	9,980 479	7,680 862	6,814
四谷	20,059	8,287	4,935 3,352	8,993 732	4,343 283	4,650 449	2,779
合計	183,649 人	64,781 人	44,907 人 19,874 人	91,304 人 6,510 件	57,435 人 2,919 件	33,869 人 3,591 件	27,564 人

学校開放利用状況

1 校庭

学 校 名	ク ラ ブ 数	延 べ 開 放 日 数	延 べ 利 用 人 数	1 日 平 均 利 用 人 数
府中第一小学校	2	201	6,805	33.9
府中第二小学校	2	162	8,106	50
府中第三小学校	2	165	7,951	48.2
府中第四小学校	2	129	5,426	42.1
府中第五小学校	2	228	10,470	45.9
府中第六小学校	3	415	17,270	41.6
府中第七小学校	2	149	5,770	38.7
府中第八小学校	2	117	4,760	40.7
府中第九小学校	2	100	4,166	41.7
府中第十小学校	1	107	5,310	49.6
武蔵台小学校	2	52	1,079	20.8
住吉小学校	2	238	5,840	24.5
新町小学校	2	176	8,878	50.4
本宿小学校	2	111	5,232	47.1
白糸台小学校	2	153	6,118	40
矢崎小学校	3	231	8,018	34.7
若松小学校	2	107	3,108	29
小柳小学校	2	167	9,175	54.9
南白糸台小学校	3	134	6,541	48.8
四谷小学校	2	157	6,508	41.5
南町小学校	2	170	5,847	34.4
日新小学校	5	295	8,142	27.6
府中第一中学校	6	123	2,760	22.4
府中第二中学校	6	229	12,730	55.6
府中第七中学校	12	284	5,435	19.1
府中第九中学校	1	48	2,600	54.2
合計（26校）	74	4,448	174,045	39.1

（種目別クラブ数）

サッカー	46 クラブ
フットサル	1 クラブ
野球	24 クラブ
ソフトボール	1 クラブ
グラウンドゴルフ	1 クラブ
陸上	1 クラブ
合計	74 クラブ

2 体育館・武道場

(1) 小学校

学 校 名	ク ラ ブ 数	延 べ 開 放 日 数	延 べ 利 用 人 数	1 日 平 均 利 用 人 数
府中第一小学校	9	379	5,997	15.8
府中第二小学校	14	483	6,955	14.4
府中第三小学校	6	315	7,890	25
府中第四小学校	9	253	5,099	20.2
府中第五小学校	7	472	9,590	20.3
府中第六小学校	10	485	10,267	21.2
府中第七小学校	8	367	7,799	21.3
府中第八小学校	14	602	10,862	18
府中第九小学校	13	208	2,215	10.6
府中第十小学校	12	472	5,785	12.3
武蔵台小学校	6	240	3,840	16
住吉小学校	6	470	16,214	34.5
新町小学校	5	440	11,265	25.6
本宿小学校	8	421	11,315	26.9
白糸台小学校	6	337	10,636	31.6
矢崎小学校	7	355	9,462	26.7
若松小学校	8	358	10,258	28.7
小柳小学校	6	351	6,502	18.5
南白糸台小学校	5	333	8,571	25.7
四谷小学校	11	512	10,549	20.6
南町小学校	8	370	11,293	30.5
日新小学校	11	441	12,155	27.6
小計（22校）	189	8,664	194,519	22.5

(2) 中学校

学 校 名	ク ラ ブ 数	延 べ 開 放 日 数	延 べ 利 用 人 数	1 日 平 均 利 用 人 数
府中第一中学校	12	478	5,081	10.6
府中第二中学校	10	308	3,686	12
府中第三中学校	13	513	6,168	12
府中第四中学校	14	401	4,014	10
府中第五中学校	6	267	4,045	15.1
府中第六中学校	12	515	7,512	14.6
府中第七中学校	14	530	8,558	16.1
府中第八中学校	11	507	6,493	12.8
府中第九中学校	6	279	4,106	14.7
府中第十中学校	11	309	3,652	11.8
浅間中学校	11	434	6,322	14.6
小計（11校）	120	4,541	59,637	13.1

【体育館・武道場合計】

開 放 校 数	ク ラ ブ 数	種 目 数	延 べ 開 放 日 数	延 べ 利 用 人 数	1 日 平 均 利 用 人 数
33	309	28	13, 205	254, 156	19. 2

<種目別クラブ数>

フットサル	72 クラブ
サッカー	9 クラブ
野球	1 クラブ
バスケットボール	33 クラブ
ミニバスケットボール	13 クラブ
バレーボール	62 クラブ
ソフトバレーボール	5 クラブ
バドミントン	26 クラブ
インディアカ	5 クラブ
ラリーテニス	4 クラブ
テニス	1 クラブ
ネオホッケー	1 クラブ
ハンドボール	1 クラブ
フロアボール	1 クラブ
軽スポーツ	4 クラブ
新体操	6 クラブ
体操	2 クラブ
器械体操	1 クラブ
ダンス(チア含む)	2 クラブ
卓球	13 クラブ
剣道	29 クラブ
空手道	12 クラブ
太極拳	1 クラブ
合気道	1 クラブ
居合道	1 クラブ
相撲	1 クラブ
なぎなた	1 クラブ
トレーニング	1 クラブ
合計	309 クラブ

※1クラブで複数種目のところがあるので合計が一致しない

3 プール

学校名	延べ開放日 数	延べ利用人 数	1日平均利 用人数
府中第十小学校	17	785	46
府中第十中学校	20	818	41
合計	37	1603	43

府中市体育施設等整備の経過

竣 工 年 月	施 設 名 称	設 置 内 容 ・ 規 模 等
(1950年) 昭和25年11月	町 営 野 球 場	敷地18,804㎡、両翼91m、中堅112m
11月	町 営 陸 上 競 技 場	敷地13,263㎡、3種公認
(1954年) 昭和29年 4月	市 営 野 球 場	昭和29年市制施行により改称
4月	市 営 陸 上 競 技 場	市制施行により市営陸上競技場と改称
4月	市 営 プ ー ル	市制施行により市営プールと改称
(1955年) 昭和30年 6月	市 営 庭 球 場	敷地1,424.50㎡ クレーコート2面
(1961年) 昭和36年 7月	市 営 徒 渉 プ ー ル	敷地1,130㎡ 幼児子供用プール
(1968年) 昭和43年10月	市民健康センター野球場	敷地17,298㎡、一般4面、多摩川河川敷内
(1969年) 昭和44年 6月	市民健康センター少年野球場	敷地12,423㎡、4面、河川敷内
7月	市民健康センター庭球場	3,840㎡クレーコート4面 バレーボール兼用、河川敷内
10月	市民健康センターサッカー場	面積14,944㎡、陸上競技場(400m)兼用、河川敷内
(1970年) 昭和45年 7月	武蔵台公園庭球場	面積2,045.67㎡、クレーコート3面
7月	市 営 プ ー ル 夜 間 照 明	照明燈6基
(1971年) 昭和46年 4月	市 営 野 球 場 夜 間 照 明	照明燈6基
6月	市 立 総 合 体 育 館	延建築面積5,827.3㎡、主競技場1,512㎡ 観客席952、柔・剣道場375㎡、弓道場438㎡
6月	市 立 総 合 体 育 館	トレーニング場87㎡
7月	健康センター総合プール	9,050㎡、競泳用50m公認プール、流水、幼児プール併設
(1972年) 昭和47年 2月	市 営 庭 球 場	全天候型、改修、2面
5月	市 立 朝 日 体 育 館	延床面積415.589㎡、体育室、指導室
(1973年) 昭和48年 4月	美好町公園児童プール	市営徒渉プールを美好町公園プールと改称
4月	い こ い の 森	面積21,600㎡、管理所、休憩所、便所等設置
6月	多摩川緑地野球場	8,112㎡、主としてソフトボール場に使用、2面、河川敷内
9月	多摩川緑地運動場	3,168㎡、当初の運動場をゲートボールに転用その自由広場、河川敷内
9月	市 営 グ ラ ウ ン ド 管 理 所	会議室、和室、更衣室
(1976年) 昭和51年 4月	旧関東村・調布飛行場暫定使用グラウンド	都有地借用、少年野球場兼ソフトボール場、面積76,433㎡
7月	小 柳 公 園 プ ー ル	昭和57年小柳プールと改称、1,164㎡、水深1m、昭和58年幼児プール併設
8月	旧 関 東 村 飛 行 場 暫 定 使 用 グ ラ ウ ン ド	面積1,268㎡、1面
(1977年) 昭和52年 4月	小 柳 公 園 庭 球 場	面積3,430㎡、オールウェザー2面
11月	旧 関 東 村 飛 行 場 跡 地 暫 定 使 用 A 地 区	少年野球場、少年サッカー場
(1979年) 昭和54年 3月	市 営 プ ー ル	面積278.373㎡、管理所改築工事
4月	押 立 公 園 庭 球 場	面積1,389.48㎡、オールウェザー2面
(1980年) 昭和55年 4月	住 吉 野 球 場	面積13,870.94㎡ 2面
4月	是 政 地 区 野 球 場	面積14,548.40㎡ 2面
5月	四 谷 公 園 庭 球 場	面積1,785.97㎡、オールウェザー2面
(1981年) 昭和56年 3月	市 営 庭 球 場	面積1,424.50㎡、オールウェザー2面
5月	小柳公園庭球場(ナイター)	面積3,430㎡、オールウェザー4面、夜間照明設置
(1982年) 昭和57年 4月	小 柳 庭 球 場	小柳庭球場と改称
4月	四 谷 庭 球 場	四谷庭球場と改称
4月	押 立 庭 球 場	押立庭球場と改称

竣 工 年 月	施 設 名 称	設 置 内 容 ・ 規 模 等
(1982年) 昭和57年 4月	美 好 児 童 プ ー ル	美好児童プールと改称
4月	寿 町 庭 球 場	市営庭球場を寿町庭球場と改称
4月	武 蔵 台 庭 球 場	武蔵台公園庭球場を武蔵台庭球場と改称
4月	市 民 陸 上 競 技 場	市営陸上競技場を市民陸上競技場と改称
5月	栄 町 庭 球 場	面積1,150㎡、オールウェザー 2 面
7月	市 民 球 場	全面改修、内外野スタンド、収容約 1 万人
7月	浅 間 庭 球 場	面積2,714㎡、オールウェザー 2 面
7月	武 蔵 台 庭 球 場	ナイター用照明設置
10月	清水が丘地区ゲートボール場	面積828㎡ 1 面
11月	旧関東村C地区ゲートボール場	面積1,508㎡ 1 面、クラブ室
(1983年) 昭和58年 3月	西 府 ゲ ー ト ボ ー ル 場	面積909.40㎡ 1 面
4月	浅 間 第 二 庭 球 場	面積2,169㎡ オールウェザー 2 面
4月	浅 間 少 年 野 球 場	面積12,521㎡ 少年野球場 2 面
6月	小 柳 庭 球 場 E コ ー ト	小柳公園北西 1 面
10月	四 谷 地 区 ゲ ー ト ボ ー ル 場	面積921.20㎡
11月	栄 町 体 育 館	延床面積1,365.271㎡、体育室826㎡、会議室、クラブ室
(1984年) 昭和59年 7月	西 府 プ ー ル	面積1,440.96㎡ 幼児用プール併設
7月	白 糸 台 プ ー ル	面積1,400㎡ 幼児用プール併設
7月	武 蔵 台 プ ー ル	面積1,400.58㎡ 幼児用プール併設
10月	市 民 陸 上 競 技 場	全面改修、全天候型トラック (300m) 鉄筋コンクリート (約1,000人収容)
(1985年) 昭和60年 3月	是 政 地 区 野 球 場	一般野球場 2 面
3月	白糸台北公園ゲートボール場	面積1,119㎡、クラブ室
4月	住 吉 庭 球 場	面積1,481.99㎡、オールウェザー 2 面
4月	片 町 ゲ ー ト ボ ー ル 場	面積1,348㎡ 1 面
7月	新 町 プ ー ル	面積1,513.84㎡、幼児用プール併設
9月	東 京 競 馬 場 日 吉 体 育 館	競馬場施設、維持管理、地域体育館に準ずる施設として 市民が利用
10月	四 谷 体 育 館	延床面積1,398.470㎡、体育室825㎡、クラブ室、会議室
12月	若 松 庭 球 場	面積2,624.88㎡ オールウェザー 2 面
12月	紅葉丘地区ゲートボール場	面積1,130㎡ (自由広場)
(1986年) 昭和61年 4月	白 糸 台 体 育 館	延床面積1,399.306㎡、体育室826.258㎡、クラブ室、会議室
4月	小 柳 庭 球 場	オールウェザー 4 面人工芝に改修
4月	四 谷 庭 球 場	オールウェザー 2 面クレーコートに改修
7月	市 民 球 場	スコアボード自動化 (一部)
7月	押 立 体 育 館	延床面積1,396.436㎡、体育室、会議室、クラブ室
11月	西 府 庭 球 場	面積2,051㎡ オールウェザー 2 面
(1987年) 昭和62年 1月	日 新 庭 球 場	面積2,088.07㎡ オールウェザー 2 面
3月	紅 葉 丘 庭 球 場	面積2,002.59㎡ オールウェザー 2 面
3月	健 康 セ ン タ ー 第 一 野 球 場	全面改修12,423㎡を20,083㎡に増設し、健康センター 少年野球場を第1野球場に改称 4 面
4月	日 新 第 二 庭 球 場	面積2,265㎡ 人工芝 2 面
4月	市 民 球 場	防球ネット新設

竣 工 年 月	施 設 名 称	設 置 内 容 ・ 規 模 等
(1987年) 昭和62年 4月	日 新 ゲ ー ト ボ ー ル 場	面積646㎡ 1面
6月	紅 葉 丘 第 二 庭 球 場	面積1,856.83㎡ 人工芝2面
6月	健 康 セ ン タ ー 第 二 野 球 場	面積17,298㎡ 4面 一般野球場を第二球場と改称
7月	健 康 セ ン タ ー 第 一 野 球 場	ナイター照明設置
7月	健 康 セ ン タ ー 庭 球 場	ナイター照明設置
10月	本 宿 体 育 館	延床面積1,399.626㎡、体育室827.458㎡、クラブ室、会議室
(1988年) 昭和63年 3月	南 白 糸 台 ゲ ー ト ボ ー ル 場	面積575.95㎡ 1面
5月	総 合 体 育 館	増改築により第2体育室、ライフル場、相撲場、レクリエーション等一部開設
6月	美 好 ゲ ー ト ボ ー ル 場	面積392㎡ 1面
10月	総 合 体 育 館	延建築面積5,827.3㎡が13,226㎡、第1体育室の改修終わり全館完成
10月	浅 間 庭 球 場	廃止
10月	浅 間 第 二 庭 球 場	廃止
10月	浅 間 少 年 野 球 場	廃止
(1989年) 平成元年 4月	是 政 運 動 広 場	面積10,181.28㎡
4月	平 和 の 森 庭 球 場	面積1,885㎡ 砂入り人工芝2面
4月	矢 崎 ゲ ー ト ボ ー ル 場	面積2,191㎡ 2面
8月	寿 町 庭 球 場	砂入り人工芝2面
(1990年) 平成2年 4月	栄 町 庭 球 場	ナイター照明設置
(1991年) 平成3年 7月	美 好 水 遊 び 広 場	美好児童プールを美好水遊び広場と改称1,130㎡
8月	四 谷 庭 球 場	砂入り人工芝2面
10月	若 松 庭 球 場	砂入り人工芝2面
12月	矢 崎 ゲ ー ト ボ ー ル 場	廃止
(1992年) 平成4年12月	市 民 ア イ ス ス ケ ー ト 場	総合プール内流水プール上に組立式、リンカー周142m 面積1,805㎡
(1993年) 平成5年 4月	市 民 球 場	スコアボード全面自動化
4月	是 政 ゲ ー ト ボ ー ル 場	面積1,493㎡ 2面
(1994年) 平成6年 3月	健 康 セ ン タ ー サ ッ カ ー 場	1面を2面に改修
4月	平 和 の 森 庭 球 場	ナイター照明設置
4月	小 柳 庭 球 場	A面、B面 砂入り人工芝
(1995年) 平成7年 4月	小 柳 庭 球 場	C面、D面 砂入り人工芝
11月	日 新 小 校 庭 (学 校 開 放)	ナイター照明設置
(1996年) 平成8年 3月	市 民 プ ー ル	スロープ部段差、スロープ化手摺設置
3月	栄 町 庭 球 場	砂入り人工芝2面に改修
3月	日 新 第 二 庭 球 場	砂入り人工芝2面に改修
3月	紅 葉 丘 庭 球 場	砂入り人工芝2面に改修
8月	一 中 ・ 二 中 校 庭 (学 校 開 放)	ナイター照明設置
12月	栄 町 ・ 押 立 体 育 館	高天井用器具昇降装置を設置
(1997年) 平成9年 2月	市 民 陸 上 競 技 場	市民陸上競技場を福祉の整備計画に基づき階段手摺設置
2月	市 民 球 場	市民球場を福祉の整備計画に基づき階段手摺設置
3月	小 柳 プ ー ル	プールサイドのコンクリート平板を撤去し、ウレタン防水(ノンスリップ)に改修
6月	市 民 陸 上 競 技 場	走り幅跳び用助走路ウレタン切削改修

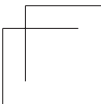
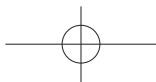
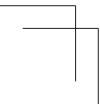
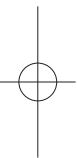
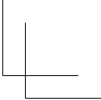
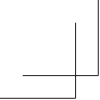
竣 工 年 月	施 設 名 称	設 置 内 容 ・ 規 模 等
(1997年) 平成 9年 6月	市 民 球 場	グラウンドの既存倉庫及び選手出入口扉 3ヶ所取替改修
6月	プール（市民、白糸台、新町、小柳、武蔵台、西府）	ろ過機整備 西府、新町プールを除く他のプールの配管をフランジ式配管に交換
8月	本宿、白糸台、四谷体育館	高天井用器具昇降装置を設置
8月	七中校庭（学校開放）	ナイター照明設置
(1998年) 平成10年 1月	市 民 球 場 駐 車 場	市民球場の北西側に駐車場を整備
1月	本宿、押立体育館	本宿体育館西側サッシュまわりのコーキング 押立体育館北側ガラスブロックまわりのコーキング
2月	押 立 庭 球 場	砂入り人工芝に改修
3月	市 民 球 場	キュービクル式高圧受電盤及び高圧基電盤内の真空遮断機（2台）更新
3月	市 民 球 場	放送室にワイヤレスマイク設備を新設壁付け形ラックマウントを新設
3月	栄 町 体 育 館	1階体育室倉庫内既設露出配管を分岐し、屋外露出配管を南側まで新設し、地中にて既設屋内消火栓に接続
3月	調布基地跡地運動施設（野球場）	野球場2面（A16－A17）の新設
3月	調布基地跡地運動施設（サッカー場・野球場）	サッカー場2面（A12、A13）、 野球場2面（A14、A15）の新設工事
3月	調布基地跡地運動施設	調布基地跡地運動施設新設に伴う防球ネットの新設工事
7月	調布基地跡地暫定運動施設（第1工区）	調布基地跡地暫定運動施設の駐車場整備に伴う、フェンス設備、舗装碎石他
8月	調布基地跡地暫定運動施設（負担金）	調布基地跡地暫定運動施設の入口変更に伴う、看板設置、入口新設、舗装改修
10月	調布基地跡地暫定運動施設	調布基地跡地暫定運動施設の駐車場整備及び路面段差舗装他
(1999年) 平成11年 1月	市 民 球 場 駐 車 場	市民球場ライト後方の駐車場の陥没段差改修工事
2月	調布基地跡地暫定運動施設（第3工区）	調布基地跡地暫定運動施設防球ネット及びダックアウト新設他
3月	市 民 陸 上 競 技 場	平成11年度の公認検査認定に向けて、トラックの一部整備及びフィールド内施設の改修他
3月	市 民 球 場	市民球場スタンド内階段等に設置してある避難誘導灯が老朽化したため交換
3月	紅 葉 丘 第 二 庭 球 場	人工芝コートが傷んでいるため、砂入り人工芝に改修する（コート2面の全面張替）
3月	日 新 庭 球 場	全天候型（ウレタン）コートが傷んでいるため、砂入り人工芝に改修する（コート2面の全面張替）
5月	美 好 水 遊 び 広 場	美好水遊び広場のろ過器のろ材交換工事
12月	朝日サッカー場（仮称） （債務負担行為解消分）	調布基地跡地内にサッカー等のできる運動施設を新設する
12月	市 民 球 場	人工芝、ウレタンオーバーレイ、バックネット、セーフティーカバー他改修
(2000年) 平成12年 1月	朝日サッカー場（仮称）	朝日サッカー場（仮称）に便所、休憩室を新設する
1月	朝日サッカー場（仮称）	朝日サッカー場（仮称）に便所、休憩室の給排水衛生設備工事
1月	朝日サッカー場（仮称）	朝日サッカー場（仮称）に便所、休憩室の電気設備工事
6月	白 糸 台 プ ー ル	プール循環ろ過器のろ材交換工事
(2001年) 平成13年 3月	市 民 球 場	外灯（18台）の配線引き直し工事
5月	市 民 球 場	スコアボード設備改修工事
6月	市 民 球 場	散水用揚水ポンプ交換工事
7月	市 民 球 場	空調設備（冷却塔）交換工事
7月	美 好 水 遊 び 広 場	床部放水改修工事
7月	武 蔵 台 プ ー ル	ろ過器ろ材及び循環ポンプモーター交換工事
7月	新 町 プ ー ル	ろ過器ろ材交換工事

竣 工 年 月	施 設 名 称	設 置 内 容 ・ 規 模 等
(2001年) 平成13年11月	市 民 陸 上 競 技 場	審判室・会議室空調設備工事
12月	市 民 球 場	バックネット支柱塗装工事
(2002年) 平成14年 3月	市 民 球 場	防球ネット（府中街道側）・観客席防球フェンス改修工事
3月	平 和 の 森 庭 球 場	砂入り人工芝（2面）の張替改修工事
7月	西 府 プ ー ル	ろ過器ろ材交換工事
7月	市 民 プ ー ル	ろ過器ろ材交換工事
12月	若 松 庭 球 場	砂入り人工芝（2面）の張替及び時計塔設置工事
(2003年) 平成15年 3月	四 谷 体 育 館	外壁装及び屋上防水工事
3月	市 民 球 場	防球ネット（陸上競技場側）改修工事
3月	陸 上 競 技 場	走路及び跳躍場等舗装部の改修工事
7月	四 谷 体 育 館	空調設備改修工事
7月	押 立 体 育 館	空調設備改修工事
7月	小 柳 プ ー ル	ろ過機ろ材交換工事
(2004年) 平成16年 3月	小 柳 庭 球 場	人工芝張替工事
3月	寿 庭 球 場	人工芝張替工事
3月	栄 町 体 育 館	屋根防水工事及び外壁等補修工事
9月	四 谷 庭 球 場	人工芝張替工事
12月	調布基地跡地暫定運動広場 （ サ ッ カ ー 場 ）	雨水排水設備改修工事
(2005年) 平成17年 3月	栄 町 庭 球 場	人工芝張替工事
3月	市 民 球 場	防球ネット増設工事
7月	新 町 プ ー ル	改修工事
8月	日 新 第 二 庭 球 場	人工芝張替工事
(2006年) 平成18年 3月	調布基地跡地暫定運動施設	防球ネット設置工事
5月	住 吉 庭 球 場	人工芝張替工事
6月	市 民 球 場	スコアボード入力機改修工事
6月	美 好 水 遊 び 広 場	ろ過機ろ材交換工事
(2007年) 平成19年 3月	是 政 地 区 一 般 野 球 場 住 吉 地 区 野 球 場	雨水排水設備改修工事
3月	紅 葉 丘 庭 球 場	北側フェンス改修工事
3月	調布基地跡地暫定運動施設	防球ネット設置工事及び避雷針設置工事
3月	小 柳 プ ー ル	改修工事
5月	朝 日 サ ッ カ ー 場	管理棟シャワー設置工事
5月	西 府 庭 球 場	全天候型コート改修工事
6月	市 民 プ ー ル	改修工事
10月	四 谷 体 育 館	屋根改修工事
10月	住吉地区・是政地区体育施設	災害復旧整備工事
(2008年) 平成20年 1月	紅 葉 丘 庭 球 場	人工芝張替工事
4月	総 合 プ ー ル	外周フェンス及び幼児用プール改修工事
5月	押 立 庭 球 場	改修工事
6月	市 民 陸 上 競 技 場	放送設備改修工事
6月	市 民 陸 上 競 技 場	フィールド内改修工事
6月	白 糸 台 プ ー ル	濾過機濾材交換工事
9月	朝 日 体 育 館	改修工事

竣 工 年 月	施 設 名 称	設 置 内 容 ・ 規 模 等
(2009年) 平成21年 3月	市 民 第 二 野 球 場	防球フェンス設置工事
3月	西 府 プ ー ル	改修工事
3月	西 府 プ ー ル	給排水衛生設備工事
3月	西 府 プ ー ル	電気設備工事
6月	武 蔵 台 プ ー ル	ろ過機ろ材交換工事
6月	新 町 プ ー ル	ろ過機ろ材交換工事
6月	総 合 プ ー ル 地 域 プ ー ル (5 か 所)	量水器設置工事
6月	紅 葉 丘 第 二 庭 球 場	人工芝張替工事
7月	総 合 プ ー ル	水栓整備工事
7月	四 谷 体 育 館	床改修工事
(2010年) 平成22年 6月	美 好 水 遊 び 広 場	シャワー改修工事
6月	小 柳 町 運 動 広 場	門扉等設置工事
(2011年) 平成23年 3月	市 民 庭 球 場	コート舗装等改修工事
3月	市 民 球 場	便所改修工事
3月	市 民 球 場	スタンド改修工事及びバックネット改修工事
6月	小 柳 プ ー ル	ろ過機濾材交換工事
8月	総 合 体 育 館	第2体育室床改修工事
11月	総 合 体 育 館	放送設備改修工事
11月	日 新 庭 球 場	改修工事
12月	小 柳 庭 球 場	夜間照明制御盤改修工事
(2012年) 平成24年 2月	市 民 球 場	空気調和設備改修工事
2月	総 合 体 育 館	トイレ改修工事
3月	朝 日 サ ッ カ ー 場	施設撤去及び側溝布設、給排水及び浸透井戸設置、 受水槽設置、散水設備設置工事
7月	朝 日 サ ッ カ ー 場	基盤造成及び防球フェンス設置工事
8月	総 合 体 育 館	第1体育室床面改修工事
9月	朝 日 サ ッ カ ー 場	付帯施設設置工事
9月	朝 日 サ ッ カ ー 場	フィールド内芝張り工事、会議室・便所・更衣室棟新築 工事
(2013年) 平成25年 2月	市 民 球 場	判定表示灯改修工事
2月	総 合 体 育 館	レクリエーションホール空気調和設備改修工事
3月	平 和 の 森 庭 球 場	人工芝張替工事
3月	市 民 球 場	ラバー改修工事、グラウンド等改修工事
8月	総 合 体 育 館	屋上改修工事
8月	市 民 球 場 駐 車 場	駐車場拡張整備
9月	白 糸 台 体 育 館	空気調和設備改修工事
(2014年) 平成26年 7月	市 民 陸 上 競 技 場	フィールド内改修工事
7月	総 合 体 育 館	第1体育室空気調和設備設置工事
(2015年) 平成27年 3月	総 合 体 育 館	受変電設備改修工事
3月	栄 町 庭 球 場	人工芝張替工事
7月	総 合 体 育 館	第2体育室空気調和設備設置工事
7月	総 合 プ ー ル	ウォータースライダー改修工事
(2016年) 平成28年 2月	小 柳 庭 球 場	人工芝張替等改修工事
10月	栄 町 体 育 館	空気調和設備改修工事
12月	押 立 体 育 館	外壁及び屋上防水等改修工事

竣 工 年 月	施 設 名 称	設 置 内 容 ・ 規 模 等
(2017年) 平成29年 3月	若 松 庭 球 場	人工芝張替等改修工事
3月	グ ラ ウ ン ド 管 理 所	廃止
9月	白 糸 台 体 育 館	天井等改修工事
9月	本 宿 体 育 館	天井等改修工事
10月	朝 日 サ ッ カ ー 場	芝生改良、フェンス等設置、グラウンド外周路整備工事
(2018年) 平成30年 3月	総 合 体 育 館	第2体育室天井等改修工事
6月	日 新 庭 球 場	廃止
7月	府中朝日フットボールパーク	朝日サッカー場から府中朝日フットボールパークに改称
7月	紅 葉 丘 第 二 庭 球 場	人工芝張替等改修工事（改修後2面から1面に縮小）
9月	押 立 体 育 館	天井等改修工事
9月	四 谷 体 育 館	天井等改修工事
9月	南 白 糸 台 ゲ ー ト ボ ー ル 場	廃止
12月	総 合 体 育 館	サウナ廃止
(2019年) 平成31年 3月	府中朝日フットボールパーク	夜間照明設備設置工事
3月	市 民 球 場	スコアボード維持改修工事
3月	市 民 庭 球 場	砂入り人工芝コートへの改修工事
(2019年) 令和元年 5月	総 合 体 育 館	武道場空気調和設備設置工事
8月	市 民 陸 上 競 技 場	フィールド内改修工事
9月	日 新 第 二 庭 球 場	人工芝張替等改修工事
(2020年) 令和 2年 1月	栄 町 体 育 館	天井等改修工事
1月	総 合 体 育 館	令和元年東日本台風に伴う仮設電源引込み及び電気設備仮復旧工事
2月	是 政 ソ フ ト ボ ー ル 場 是 政 地 区 一 般 野 球 場 是 政 運 動 広 場	令和元年東日本台風被害に伴う復旧工事
3月	寿 町 庭 球 場	人工芝張替等改修工事
3月	総 合 体 育 館	第1体育室棟耐震改修工事
3月	白 糸 台 体 育 館	外壁及び屋上防水等改修工事
3月	四 谷 体 育 館	外壁及び屋上防水等改修工事
3月	総 合 プ ー ル	令和元年東日本台風被害に伴う電気設備改修工事
3月	総 合 プ ー ル	令和元年東日本台風被害に伴う起流ポンプ等修繕
9月	四 谷 庭 球 場	人工芝張替等改修工事
11月	市 民 第 二 野 球 場	令和元年東日本台風被害に伴う復旧修繕
12月	総 合 体 育 館	令和元年東日本台風被害に伴う電気設備復旧工事
12月	総 合 体 育 館	令和元年東日本台風被害に伴う空気調和設備復旧工事
(2021年) 令和 3年 2月	本 宿 体 育 館	外壁及び屋上防水等改修工事
3月	市 民 サ ッ カ ー 場	令和元年東日本台風被害に伴う復旧修繕
3月	総 合 体 育 館	令和元年東日本台風被害に伴う電源設備架台設置等工事
3月	総 合 体 育 館	令和元年東日本台風被害に伴う給排水衛生設備復旧工事
3月	総 合 体 育 館	第1体育室床修繕
3月	市 民 陸 上 競 技 場	受変電設備及び夜間照明等改修工事
3月	市 民 球 場	受変電設備及び夜間照明等改修工事
9月	総 合 体 育 館	第1武道場畳交換修繕
10月	府中朝日フットボールパーク	一般供用に向けての改修

竣 工 年 月	施 設 名 称	設 置 内 容 ・ 規 模 等
(2022年) 令和 4年 1月	市 民 陸 上 競 技 場	外壁及びスタンド床等改修工事
2月	栄 町 体 育 館	外壁及び屋上防水等改修工事
3月	住 吉 庭 球 場	人工芝張替等改修工事
3月	市 民 球 場	レフト側外壁及び通路等改修工事
3月	朝 日 体 育 館	廃止
3月	小 柳 プ ー ル	廃止
3月	白 糸 台 プ ー ル	廃止
3月	武 蔵 台 プ ー ル	廃止
3月	新 町 プ ー ル	廃止
9月	市 民 陸 上 競 技 場	2階通路等改修工事
(2023年) 令和 5年 1月	旧 白 糸 台 プ ー ル	解体工事
1月	旧 新 町 プ ー ル	解体工事
2月	旧 朝 日 体 育 館	解体工事
3月	白 糸 台 体 育 館	空気調和設備設置工事
3月	本 宿 体 育 館	空気調和設備設置工事
3月	旧 武 蔵 台 プ ー ル	解体工事
3月	西 府 庭 球 場	ハードコート改修工事
3月	市 民 球 場	バックネット及びライト側通路等改修工事
3月	旧 小 柳 プ ー ル	解体工事、防球ネット設置工事
3月	総 合 体 育 館	雨樋改修工事
(2024年) 令和 6年 2月	小 柳 庭 球 場	照明改修工事
2月	四 谷 体 育 館	空気調和設備設置工事
2月	押 立 体 育 館	空気調和設備設置工事
3月	市 民 球 場	1階トイレ等改修工事
3月	市 民 球 場	1階トイレ等改修に伴う設備工事
3月	市 民 球 場	バックネット及びライト側外壁等改修工事



府中市スポーツ推進委員会会報

No.51（令和5年度）

令和6年9月発行

府中市文化スポーツ部スポーツタウン推進課

府 中 市 ス ポ ー ツ 推 進 委 員 会



① ほっとするね 緑の府中

府中市